

注3

大学番号：私004

[平成27年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本医療大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学生・教員サポートグループ

職名・氏名 サンヨ ツルタ ヒデト
参与・鶴田 秀人

電話番号 011-885-7711

（夜間） 011-885-7711

FAX 011-885-5757

e-mail h_tsuruta@nihoniryo-c.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

＜リハビリテーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	34

＜リハビリテーション学科 理学療法学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	36
2. 授業科目の概要	40
3. 施設・設備の整備状況、経費	49
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	51
5. 教員組織の状況	52
6. 留意事項等に対する履行状況等	65
7. その他全般的事項	69

＜リハビリテーション学科 作業療法学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	71
2. 授業科目の概要	75
3. 施設・設備の整備状況、経費	84
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	86
5. 教員組織の状況	87
6. 留意事項等に対する履行状況等	100
7. その他全般的事項	104

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人日本医療大学

(2) 大 学 名 日本医療大学

(3) 大学の位置

〒061-1373
北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号
(〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツシマ ノリアキ) 対 馬 徳 昭 (平成5年4月)		
学長代行	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年4月)	(30) 傳野学長が平成30年3月31日に退任のため、島本総長が学長を代行
学 部 長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年4月)	(30) 傳野学長が平成30年3月31日に退任のため、島本総長が学部長を代行
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 公 美 (平成27年4月)	(27) 設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 学士 (リハビリテーション学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	4年	80人	—	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	—	80人 (-) [-]	人	80人 (-) [-]	—	80人 (-) [-]	—	0.73倍	
志願者数	99人 (-) [-]	— (-) [-]	145人 (-) [-]	— (-) [-]	117人 (-) [-]	— (-) [-]	402 (-) [-]	— (-) [-]		
受験者数	98人 (-) [-]	— (-) [-]	140人 (-) [-]	— (-) [-]	116人 (-) [-]	— (-) [-]	388 (-) [-]	— (-) [-]		
合格者数	82人 (-) [-]	— (-) [-]	101人 (-) [-]	— (-) [-]	89人 (-) [-]	— (-) [-]	327 (-) [-]	— (-) [-]		
B 入学者数	53人 (-) [-]	— (-) [-]	69人 (-) [-]	— (-) [-]	46人 (-) [-]	— (-) [-]	68 (-) [-]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.66倍		0.86倍		0.57倍		0.85倍			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	53人 [-] (-)	- [-] (-)	70人 [-] (1人)	- [-] (-)	48人 [-] (2人)	- [-] (-)	70人 [-] (2人)	- [-] (-)	
2 年次			52人 [-] (-)	- [-] (-)	69人 [-] (3人)	- [-] (-)	45人 [-] (1人)	- [-] (-)	
3 年次					48人 [-] (-)	- [-] (-)	65人 [-] (2人)	- [-] (-)	
4 年次							44人 [-] (-)	- [-] (-)	
計							224人 [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成27年度	53 人	0 人	平成27年度	0 人	- 人	
平成28年度	122 人	3 人	平成27年度	2 人	- 人	一身上の都合(1人) 他の教育機関への入学(1人)
			平成28年度	1 人	- 人	一身上の都合(1人)
平成29年度	165 人	9 人	平成27年度	4 人	- 人	一身上の都合(4人)
			平成28年度	2 人	- 人	進路変更(2人)
			平成29年度	3 人	- 人	一身上の都合(2人) 進路変更(1人)
平成30年度	224 人	0 人	平成27年度	0 人	- 人	
			平成28年度	0 人	- 人	
			平成29年度	0 人	- 人	
			平成30年度	0 人	- 人	
合 計	564 人	12 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{53} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{122} = 2.45 \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{165} = \boxed{5.45} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{224} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 礎 教 育 科 目	心理学	1前	1									1
	発達心理学	1後		1								1
	生物学	1前		2								1
	物理学	1後		2								1
	生活科学	1後		1								1
	環境科学	1前		1								1
	生活と運動	1後	1									1
	健康とスポーツ	1後		1								1
	統計学	1後		1								1
	情報科学	1前	1									1
	情報科学演習	1前		1					1			1
	人間発達学	2後	2									1
	倫理学	1前	1									1
	生命倫理	1後	1									1
	哲学	1後		1								1
	論理学	1前		1								1
	宗教と思想	2前		1								1
	人間関係論	1後		1								1
	文化人類学	1後		1								1
	社会学	1後		1								1
	音楽	2後		1								1
	法学	1前		1								1
	教育学	1前		1								1
	北海道史	1前		1								1
	ボランティア活動	2後		1								1
日本語表現	1前	1									1	
英語Ⅰ	1前	1									1	
英語Ⅱ	1後	1									1	
英語Ⅲ	2前		1								1	
英語Ⅳ	3前		1								1	
中国語	1後		1								1	
韓国語	2前		1								1	
専 門 基 礎 教 育 科 目	解剖学	1前	4									1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2									1
	解剖学演習(神経)	1後	1									1
	体表解剖学	1前	1									1
	機能解剖学	1後	1									1
	生理学	1前	4									1
	生理学演習	2前	1		1							1
	運動学	2前	4		1							1
	運動学演習	2後	1		1			3				1
	病理学	1後	2									1
	栄養学	1前		2								1
	臨床心理学	2前		2								1
	カウンセリング論	2後		2								1
	教育心理学	2前		2								1
	内科学	2前	2									1
	整形外科	2前	2									1
	神経内科学	2前	2									1
	精神医学	2後	2									1
	小児科学	2前	1									1
	障害学特論	2後		2								3
	リハビリテーション論	1後	2			1						4
	チーム医療論	3前	1			1						1
	保健医療論	2後		1								1
	社会福祉学	1後		1								1
	健康政策論	4後		1								3
	理学療法概論	1前		1								1
	理学療法概論演習	1後		1								1
	理学療法セミナーⅠ	1後		1								1
	理学療法セミナーⅡ	2後		1								1
	理学療法セミナーⅢ	3前		1								1
	作業療法概論	1前		1		1						1
	作業療法概論演習	1後		1		1		1				2
	基礎作業学演習 (基礎作業分析)	1前		1								2
	基礎作業学演習 (応用作業分析)	1後		1								1

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数				専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
			修 得	得	得	授 任	授 任	任	任	任		
基 礎 教 育 科 目	心理学	1前	1									1
	発達心理学	1後		1								1
	生物学	1前		2								1
	物理学	1前		2								1
	生活科学	1後		1								1
	環境科学	1前		1								1
	生活と運動	1後	1									2
	健康とスポーツ	1後		1								2
	統計学	1後		1								1
	情報科学	1前	1									1
	情報科学演習	1前		1					1			1
	人間発達学	2後	2									1
	倫理学	1前	1									1
	生命倫理	1後	1									1
	哲学	1後		1								1
	論理学	1前		1								1
	宗教と思想	2前		1								1
	人間関係論	1後		1								1
	文化人類学	1後		1								1
	社会学	1後		1								1
	音楽	2後		1								1
	法学	1前		1								1
	教育学	1前		1								1
	北海道史	1前		1								1
	ボランティア活動	2後		1								1
日本語表現	1前	1									1	
英語Ⅰ	1前	1									1	
英語Ⅱ	1後	1									1	
英語Ⅲ	2前		1								1	
英語Ⅳ	3前		1								1	
中国語	1後		1								1	
韓国語	2前		1								1	
専 門 基 礎 教 育 科 目	解剖学	1前	4									1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					2				1
	解剖学演習(神経)	1後	1									1
	体表解剖学	1前	1					1	1			0
	機能解剖学	1後	1					1				1
	生理学	1前	4									1
	生理学演習	2前	1			1						1
	運動学	2前	4			1						1
	運動学演習	2後	1			1			3			1
	病理学	1後	2									1
	栄養学	1前		2								1
	臨床心理学	2前		2								1
	カウンセリング論	2後		2								1
	教育心理学	2前		2								1
	内科学	2前	2									1
	整形外科	2前	2									1
	神経内科学	2前	2									1
	精神医学	2後	2									1
	小児科学	2前	1									1
	障害学特論	2後		2								3
	リハビリテーション論	1後	2			1						4
	チーム医療論	3前	1			1						1
	保健医療論	2後		1								1
	社会福祉学	1後		1								1
	健康政策論	4後		1								3
	理学療法概論	1前		1								1
	理学療法概論演習	1後		1								1
	理学療法セミナーⅠ	1後		1					1			1
	理学療法セミナーⅡ	2後		1				1				1
	理学療法セミナーⅢ	3前		1				1				1
	作業療法概論	1前		1		1						1
	作業療法概論演習	1後		1		1	1		1			2
	基礎作業学演習(基礎作業分析)	1前		1			0			1		3
	基礎作業学演習(応用作業分析)	1後		1			0			1		2

6

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	
基礎教育科目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								1
	健康とスポーツ	1後		1							1
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前	1								1
	情報科学演習	1前		1					1		1
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
専門基礎教育科目	日本語表現	1前	1								1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					1			1
	解剖学演習(神経)	1後		1							1
	体表解剖学	1前	1								1
	機能解剖学	1後	1					1			1
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1			1		1			1
	運動学	2前	4			1					1
	運動学演習	2後	1			1			3		1
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2前	2								1
	整形外科	2前	2								1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学	2後	2								1
	小児科学	2前	1								1
	障害学特論	2後		2						3	1
	リハビリテーション論	1後	2			1					3
	チーム医療論	3前	1			1					4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
基礎教育科目	理学療法概論	1前		1							1
	理学療法概論演習	1後		1							1
	理学療法セミナーⅠ	1後		1							1
	理学療法セミナーⅡ	2後		1							1
	理学療法セミナーⅢ	3前		1							1
	作業療法概論	1前		1		1					1
	作業療法概論演習	1後		1		1			1		1
	基礎作業学演習(基礎作業分析)	1前		1							2

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	
基礎教育科目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								2
	健康とスポーツ	1後		1							2
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前	1								1
	情報科学演習	1前		1					1		1
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
専門基礎教育科目	日本語表現	1前	1								1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2						2		1
	解剖学演習(神経)	1後		1							1
	体表解剖学	1前	1						1		1
	機能解剖学	1後	1						1		1
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1			1		1			1
	運動学	2前	4			1					1
	運動学演習	2後	1			1			3		1
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2前	2								1
	整形外科	2前	2								1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学	2後	2								1
	小児科学	2前	1								1
	障害学特論	2後		2							3
	リハビリテーション論	1後	2			1					3
	チーム医療論	3前	1			1					4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
基礎教育科目	理学療法概論	1前		1							1
	理学療法概論演習	1後		1							1
	理学療法セミナーⅠ	1後		1							1
	理学療法セミナーⅡ	2後		1							1
	理学療法セミナーⅢ	3前		1							1
	作業療法概論	1前		1		1					1
	作業療法概論演習	1後		1					1		1
	基礎作業学演習(基礎作業分析)	1前		1					1		3

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 礎 教 育 科 目	心理学	1前	1									1
	発達心理学	1後		1								1
	生物学	1前		2								1
	物理学	1前		2								1
	生活科学	1後		1								1
	環境科学	1前		1								1
	生活と運動	1後	1									2
	健康とスポーツ	1後		1								2
	統計学	1後		1								1
	情報科学	1前	1									1
	情報科学演習	1前		1					1			
	人間発達学	2後	2									1
	倫理学	1前	1									1
	生命倫理	1後	1									1
	哲学	1後		1								1
	論理学	1前		1								1
	宗教と思想	2前		1								1
	人間関係論	1後		1								1
	文化人類学	1後		1								1
	社会学	1後		1								1
	音楽	2後		1								1
	法学	1前		1								1
	教育学	1前		1								1
	北海道史	1前		1								1
	ボランティア活動	2後		1								1
	日本語表現	1前	1									1
英語Ⅰ	1前	1									1	
英語Ⅱ	1後	1									1	
英語Ⅲ	2前		1								1	
英語Ⅳ	3前		1								1	
中国語	1後		1								1	
韓国語	2前		1								1	
専 門 基 礎 教 育 科 目	解剖学	1前	4									1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					2				
	解剖学演習(神経)	1後	1									1
	体表解剖学	1前	1					1	1			0
	機能解剖学	1後	1					1				
	生理学	1前	4									1
	生理学演習	2前	1			1		1				
	運動学	2前	4			1						
	運動学演習	2後	1			1			3			
	病理学	1後	2									1
	栄養学	1前		2								1
	臨床心理学	2前		2								1
	カウンセリング論	2後		2								1
	教育心理学	2前		2								1
	内科学	2後	2									1
	整形外科	2前	2									1
	神経内科学	2前	2									1
	精神医学	2後	2									1
	小児科学	2前	1									1
	障害学特論	2後		2								3
	リハビリテーション論	1後	2			1						
	チーム医療論	3前	1			1						4
	保健医療論	2後		1								1
	社会福祉学	1後		1								1
	健康政策論	4後		1								3
		理学療法概論	1前		1							
理学療法概論演習		1後		1								1
理学療法セミナーⅠ		1後		1				1				
理学療法セミナーⅡ		2後		1				1				
理学療法セミナーⅢ		3前		1				1				
作業療法概論		1前		1		1						
作業療法概論演習		1後		1		1	1		1			
基礎作業学演習(基礎 作業分析)		1前		1			0		1			3
基礎作業学演習(応用 作業分析)		1後		1			0		1			2
作業療法セミナーⅠ		1後		1			1					
作業療法セミナーⅡ		2後		1		1						
作業療法セミナーⅢ		3前		1			1					

専 門 教 育 科 目	理学療法評価学(運動器系)	2通	1				1			1
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通	2					1		1
	理学療法評価学(神経系)	2通	1							2
	理学療法評価学演習(神経系)	2通	2							2
	臨床判断学(基礎編)	2後	1				1			
	臨床判断学(応用編)	3後	1				1			
	作業療法評価学	2前	1	1						
	作業療法評価学演習(基礎評価)	2前	1					1		1
	作業療法評価学演習(骨・関節系)	2前	1		1	1		1		1
	作業療法評価学演習(神経・筋力系)	2後	2		1	2		2		1
	作業療法評価学演習(中枢神経系)	2後	2					2		1
	運動療法学	2前	1	1						
	運動療法学演習	2後	1				1			
	運動器障害理学療法学	3前	1	1						
	運動器障害理学療法学演習	3前	1							1
	神経障害理学療法学	3前	1				1			
	神経障害理学療法学演習	3前	1				1			
	呼吸・循環器障害理学療法学	3後	1	1						
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前	1							2
	発達障害理学療法学	3後	1				1			
	高齢期障害理学療法学	3後	1	1						
	物理療法学	3前	1	1						1
	物理療法学演習	3前	1	1						1
	義肢装具学	3前	1	1			1			
	義肢装具学演習	3前	1	1			1			
	日常生活活動基礎学	3前	1				1			
	神経筋促進治療学	3後	1	1						
	高次脳機能障害学	3後	1							1
	徒手関節治療学	3後	1							1
	スポーツ理学療法学	3後	1							1
	身体障害作業治療学(中枢神経障害系)	3通	2		1					
	身体障害作業治療学(運動器・内部障害系)	3前	1	1						1
	精神障害作業治療学	3通	2							3
	発達障害作業治療学	3通	2	1						
	高齢期障害作業治療学	3通	2		1					0
	高次脳機能障害作業治療学	3前	1							1
	義肢装具作業療法学	3後	1	1						1
	義肢装具作業療法学演習	3後	1	1						
	日常生活活動学(ADL)	3前	2	0	1					
	日常生活活動学(動作分析)	3後	2		1					
	福祉用具学	3後	1	1						
	就労支援作業療法学	3後	1	1						
	作業療法治療学特論(治療理論)	3後	1							1
	作業療法治療学特論(シーティング)	3後	1	1						
	作業療法治療学特論(ハンドセラピー)	3後	1	1						0
	地域理学療法学	3前	1	1				1		2
	生活環境学	3後	1	1						
	地域作業療法学	3前	1							1
	福祉住環境論	3後	1		1					
	臨床実習Ⅰ(理学療法)	2後	1	3			5	1		
	臨床実習Ⅱ(理学療法)	3後	3	3			5	2		
	臨床実習Ⅲ(理学療法)	4前	16	3			5	2		
	臨床実習Ⅰ(作業療法)	2後	2	2	2			2		
	臨床実習Ⅱ(作業療法)	3後	3	2	2			2		
	臨床実習Ⅲ(作業療法)	4前	16	2	2			2		
	リハビリテーション管理学	4後	1			1	1			
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1							1
	応急処置法	3前	1							2
	軟部組織治療学	3前	1							1
	ウィメンズヘルスクエ論	3前	1							2
	災害リハビリテーション	3前	1							2
	地域リハビリテーション学	2前	1		1					
	地域リハビリテーション学演習	2前	1					1		2
	研究法	3前	1		1					
	卒業研究Ⅰ	3後	1		5	2	5			
	卒業研究Ⅱ	4通	2		5	2	5			

- (注)・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - ・その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1)一②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

物理学について 担当教員の都合により、「1後」から「1前」へ配当学期を変更
解剖学演習(骨・筋)について 27年1月教員審査済
機能解剖学について 27年1月教員審査済
生理学演習について 27年1月教員審査済
病理学について 担当教員の都合により、「1後」から「1前」へ配当学期を変更
理学療法セミナーⅠについて H27年3月教員審査中
理学療法セミナーⅡについて H27年3月教員審査中
理学療法セミナーⅢについて H27年3月教員審査中
作業療法セミナーⅠについて 27年1月教員審査済
理学療法評価学(運動器系)について 教員未定のため変更書提出予定
臨床判断学(基礎編)について 教員未定のため変更書提出予定
臨床判断学(応用編)について 教員未定のため変更書提出予定
運動器障害理学療法について 教員未定のため変更書提出予定
代謝・免疫系障害理学療法について 兼任講師追加
義肢装具学について 教員未定のため変更書提出予定
義肢装具学演習について 教員未定のため変更書提出予定
日常生活活動基礎学について H27年3月教員審査中
福祉住環境論について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅰ(理学療法)について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅱ(理学療法)について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅲ(理学療法)について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 27年1月教員審査済
地域リハビリテーション学について 27年1月教員審査済
卒業研究Ⅰについて 27年1月教員審査済
卒業研究Ⅱについて 27年1月教員審査済

【平成28年度】

生活と運動について 兼任講師追加(28)
健康とスポーツについて 兼任講師追加(28)
解剖学演習(骨・筋)について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
体表解剖学について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
病理学について 担当教員の都合により、「1前」から「1後」へ配当学期を変更(28)
作業療法概論演習について 教員変更(28) 担当 八田達夫(教授) 平成28年3月教員審査中
基礎作業学演習(基礎作業分析)について 兼任講師追加(28)
基礎作業学演習(応用作業分析)について 兼任講師追加(28)
理学療法評価学(運動器系)について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
臨床判断学(基礎編)について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
臨床判断学(応用編)について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
作業療法評価学演習(骨・関節系)について 教員変更(28) 担当 坪田貞子(教授) 平成28年3月教員審査中
作業療法評価学演習(神経・筋力系)について 教員変更(28) 担当 大堀具視(准教授) 平成28年3月教員審査中
義肢装具学について 教員追加(28) 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
義肢装具学演習について 教員追加(28) 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
日常生活適応学(ADL)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
臨床実習Ⅰ(理学療法)について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
臨床実習Ⅱ(理学療法)について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年2月教員審査済 判定可 担当 西山徹(講師) 平成28年2月教員審査済 判定可
臨床実習Ⅲ(理学療法)について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
卒業研究Ⅰについて 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
卒業研究Ⅱについて 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可

【平成29年度】

内科学について 学習効果を高めるため、「2前」から「2後」へ配当学期を変更(29)
作業療法概論演習について 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
基礎作業学演習(基礎作業分析)について 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加(29) 担当 合田 央志(助教) H29.03変更書提出済
基礎作業学演習(応用作業分析)について 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加(29) 担当 清本 憲太(助教) H29.03変更書提出済
作業療法評価学演習(骨・関節系)について 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
作業療法評価学演習(神経・筋力系)について 担当科目追加(29) 担当 大堀 具視(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
作業療法評価学演習(中枢神経系)について 担当教員を変更するため、担当科目追加(29) 担当 清本 憲太(助教) H29.03変更書提出済
運動器障害理学療法について 教員未定の補充として、担当科目追加(29) 担当 乾 公美(教授) H29.02 教員審査済 判定 可
呼吸・循環器障害理学療法について 学習効果を高めるため、「3前」から「3後」へ配当学期を変更(29)
神経筋伝導治療学について 学習効果を高めるため、「3前」から「3後」へ配当学期を変更(29)
精神障害作業治療学について 兼任講師変更・追加(29)
高齢期障害作業治療学について 兼任講師が辞退したため、担当科目追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H29.02 教員審査済 判定 可
義肢装具作業療法について 学習効果を高めるため、「3前」から「3後」へ配当学期を変更(29)
義肢装具作業療法演習について 学習効果を高めるため、「3前」から「3後」へ配当学期を変更(29)
日常生活適応学(ADL)について 澤田雄二教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
作業療法治療学特論(ハンドセラピー)について 兼任講師が辞退したため、担当科目追加(29) 担当 坪田 貞子(教授) H29.02 教員審査済 判定 可
福祉住環境論について 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加(29) 担当 大堀 具視(准教授) H29.03変更書提出済
臨床実習Ⅰ(理学療法)について 担当教員充実のため、担当科目追加(29) 担当 松田 智恵(講師) H29.03変更書提出済
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可 担当教員充実のため、担当科目追加(29) 担当 清本 憲太(助教) H29.03変更書提出済
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
応急処置法について 兼任講師追加(29)
卒業研究Ⅰについて 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
卒業研究Ⅱについて 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可

【平成30年度】

小児科学について 学習効果を高めるため、「2前」から「2後」へ配当学期を変更(30)
 作業療法評価学演習(骨・関節系)について 教員変更(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
 義肢装具作業療法学について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
 義肢装具作業療法学演習について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
 福祉用具学について 教員変更(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
 臨床実習Ⅰ(作業療法)について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
 臨床実習Ⅱ(作業療法)について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
 臨床実習Ⅲ(作業療法)について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
 卒業研究Ⅰについて 清田直恵講師の後任として、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
 卒業研究Ⅱについて 清田直恵講師の後任として、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可

- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	103 科目	0 科目	135 科目	32 科目	103 科目	0 科目	135 科目	
[0]	[0]	[0]	[0]					

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{135} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地)運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり		
	校 舎 敷 地	29,831㎡ 8,886㎡ 0㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	29,831㎡ 20,945㎡			
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡			
	小 計	43,541㎡ 22,506㎡ 13,710㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	43,541㎡ 34,655㎡			
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡			
	合 計	46,599㎡ 25,654㎡ 16,768㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡ 37,713㎡			
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり(校舎の総面積の減少については、体育館及び講堂の面積を除いたためであり、建築等設置計画に変更なし)			
	16,060.03㎡ 11,175.86㎡ 5,167.31㎡	0㎡ 3,179.52㎡	0㎡ 2,463.58㎡	16,060.03㎡ 16,818.96㎡ 10,810.41㎡				
	(5,623.13㎡) (4,273.46㎡) (3,055.87㎡)	(8,630.68㎡) (8,386.92㎡) (4,658.96㎡)	(1,806.22㎡) (4,158.58㎡) (3,095.58㎡)	(16,060.03㎡) (16,818.93㎡) (10,810.41㎡)				
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	11室	11室	10室	1室 (補助職員0人)	情報処理室と共用 (補助職員0人)			
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	保健医療学部 リハビリテーション学科			15 室				
(5)図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	(27)図書、学術雑誌、 機械・器具、標本に変更あり (28)図書、学術雑誌、 変更あり (29)図書、学術雑誌 (総冊数から種に変更)、 機械・器具に変更あり (30)図書、学術雑誌、 変更あり
	保健医療学部 リハビリテーション学科	9,140 [237] (8,640[173]) (8,484[172]) (8,789[170]) (8,345[163]) (8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [653] (137[31]) (145[40]) (2,158[695]) (2,006[646]) (1,966 [633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (961) (960)	30 (32) (30)	
	計	9,140 [237] (8,640[173]) (8,484[172]) (8,789[170]) (8,345[163]) (8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [653] (137[31]) (145[40]) (2,158[695]) (2,006[646]) (1,966 [633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (960)	30 (32) (30)	
(6)図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	206.61㎡	50席		14,640冊				
(7)体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	556.1㎡	テニスコート1面						

(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	9,994千円 ~~10,102千円~~	3,000千円	3,000千円
		共 同 研 究 費 等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	29,520千円 ~~33,438千円~~	3,383千円 ~~2,000千円~~	2,000千円
	学生 1 人 当り納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称		日 本 医 療 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	理学と作業の合算
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	平成26年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
リハビリテーション学科	4	80	-	320	学士 (リハビリテーション学)	0.73	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
理学療法専攻	4	40	-	160	学士 (理学療法)	0.97	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
作業療法専攻	4	40	-	160	学士 (作業療法)	0.49	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
診療放射線学科	4	50	-	200	学士 (診療放射線学)	1.08	平成28年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
大学 の 名 称		〇 〇 短 期 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	該当なし
	年	人	年次 人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜保健医療論学部 リハビリテーション学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成27年度】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼任	教授 (学長)	デノ リョウ 傳野 隆一 (64) ＜平成27年4月＞ 保健医療論 チーム医療論	兼任	教授 (学長)	デノ リョウ 傳野 隆一 (64) ＜平成27年4月＞ 保健医療論 チーム医療論	兼任	教授 (学長)	デノ リョウ 傳野 隆一 (66) ＜平成27年4月＞ チーム医療論	兼任	教授 (学長)	デノ リョウ 傳野 隆一 (71) ＜平成28年4月＞ 保健医療論 内科学
						兼任	教授 (学務部長)	島本 和明 (69) ＜平成28年4月＞ 保健医療論 内科学	兼任	教授 (学務部長)	島本 和明 (71) ＜平成28年4月＞ 保健医療論 内科学
専任	教授	イシ ミヅ 乾 公美 (65) ＜平成27年4月＞ 生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授 (学務部長)	イシ ミヅ 乾 公美 (65) ＜平成27年4月＞ 生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授 (学務部長)	イシ ミヅ 乾 公美 (66) ＜平成27年4月＞ 生理学演習 運動療法学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動経路管理理学療法学	専任	教授 (学務部長)	イシ ミヅ 乾 公美 (68) ＜平成27年4月＞ 生理学演習 運動療法学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動経路管理理学療法学
専任	教授	カハノ ミツヒコ 高橋 光彦 (63) ＜平成27年4月＞ 運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸・循環器障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	カハノ ミツヒコ 高橋 光彦 (63) ＜平成27年4月＞ 運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸・循環器障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	カハノ ミツヒコ 高橋 光彦 (64) ＜平成27年4月＞ 運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸・循環器障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	カハノ ミツヒコ 高橋 光彦 (65) ＜平成27年4月＞ 運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 呼吸・循環器障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀 (60) ＜平成27年4月＞ リハビリテーション論 地域理学療法学 生活環境学 高齢期障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀 (60) ＜平成27年4月＞ リハビリテーション論 地域理学療法学 生活環境学 高齢期障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀 (61) ＜平成27年4月＞ リハビリテーション論 地域理学療法学 生活環境学 高齢期障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀 (62) ＜平成27年4月＞ リハビリテーション論 地域理学療法学 生活環境学 高齢期障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授	マサノ タカコ 坪田 貴子 (69) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	マサノ タカコ 坪田 貴子 (69) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	マサノ タカコ 坪田 貴子 (70) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系)	専任	教授	マサノ タカコ 坪田 貴子 (71) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (日常生活動作学) (ハンドセラピー)
専任	教授	サトウ タカシ 澤田 達二 (66) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活動作学(A・D・L) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ	専任	教授	サトウ タカシ 澤田 達二 (66) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活動作学(A・D・L) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞	担当授業科目名
兼任	准教授	マサキ ナミ 松本 翼由美 (40) ＜平成27年4月＞	心理学 発達心理学
兼任	准教授	ササギ マイ 森口 真衣 (41) ＜平成27年4月＞	倫理学 生命倫理
兼任	准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士 (38) ＜平成27年4月＞	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論
兼任	講師	ニタタ マコ 太田 誠 (55) ＜平成27年4月＞	理学療法評価学（神経系） 理学療法評価学演習（神経系）
兼任	講師	ササキ ナホ 栗科 奈保 (46) ＜平成28年4月＞	理学療法評価学（神経系） 理学療法評価学演習（神経系）
兼任	講師	シマダ ナホ 清水 薫 (40) ＜平成29年4月＞	代術・免疫系障害管理 理学療法
兼任	講師	サカゲチ トキエ 坂口 友康 (35) ＜平成28年4月＞	理学療法評価学（神経系） 理学療法評価学演習（神経系）
兼任	講師	シバ アツシ 沢川 佳彦 (33) ＜平成28年4月＞	理学療法評価学（運動器系） 理学療法評価学演習（運動器系）
兼任	講師	ヤマギチ カズキ 山口 和之 (59) ＜平成30年4月＞	健康政策論
兼任	講師	アサキ アツシ 足立 重敏 (48) ＜平成30年4月＞	健康政策論
兼任	講師	ナダノ 理恵 畑野 理恵 (51) ＜平成28年4月＞	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	スズキ サトコ 鈴木 聡子 (46) ＜平成28年4月＞	災害リハビリテーション
兼任	講師	スギモト ヒロシ 杉本 寿司 (37) ＜平成28年4月＞	ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	サカサハ サトコ 岡田 しげこ (34) ＜平成28年4月＞	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	准教授	マツモト マミ 松本 真由美 <平成27年4月> 心理学 発達心理学
兼任	准教授	モリガチ マイ 森口 風衣 (41) <平成27年4月> 倫理学 生命倫理
兼任	准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士 (38) <平成27年4月> 日本語表現 中国語
兼任	講師	マコト マコト 太田 誠 (55) <平成27年4月> 理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論
兼任	講師	サカキ ナホ 更科 奈保 (46) <平成28年4月> 理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	シメノ 紗良 清水 薫 (40) <平成28年4月> 代謝・免疫系障害看護学 療法学
兼任	講師	サカギ ナホ 坂口 友康 (36) <平成28年4月> 理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	シノガワ シンロ 渋川 佳彦 (33) <平成28年4月> 理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習(運動器系)
兼任	講師	マツグチ カズキ 山口 和之 (59) <平成30年4月> 健康政策論
兼任	講師	フジチ フミロ 足立 重敬 (48) <平成30年4月> 健康政策論
兼任	講師	ナカノ 聖 畑原 聖恵 (51) <平成28年4月> 災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	スズキ リコ 鈴木 聡子 (46) <平成28年4月> 災害リハビリテーション
兼任	講師	ナカモト トシヨシ 杉本 寿司 (37) <平成28年4月> ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	サカハチ シンヒロ 岡田 しげこ (64) <平成28年4月> チーム医療論 地域リハビリテーション学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任＞(予定)年 月＞	担当授業科目名
兼任	准教授	マサキ マサ 松本 真由美 (56) ＜平成27年4月＞	心理学 発達心理学
兼任	准教授	モリガキ マイ 森口 俊衣 (42) ＜平成27年4月＞	倫理学 生命倫理
兼任	准教授	ヤマダ 教士 (39) ＜平成27年4月＞	日本語表現 中国語
兼任	講師	マタ マコ 太田 誠 (56) ＜平成27年4月＞	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論
兼任	講師	サシガ 祐 更利 奈保 (47) ＜平成28年4月＞	理学療法評価学（神経系） 理学療法評価学演習（神経系）
兼任	講師	シメタ 姉妹 清水 薫 (41) ＜平成28年4月＞	代謝・免疫系障害看護学 理学療法学
兼任	講師	サカガキ トモエス 坂口 友康 (37) ＜平成28年4月＞	理学療法評価学（神経系） 理学療法評価学演習（神経系）
兼任	講師	シノ 初 3ヒコ 濱川 佳彦 (34) ＜平成28年4月＞	理学療法評価学（運動器系） 理学療法評価学演習（運動器系）
兼任	講師	マカシ 加々子 山口 和之 (60) ＜平成30年4月＞	健康政策論
兼任	講師	フナチ フミロ 足立 重敏 (49) ＜平成30年4月＞	健康政策論
兼任	講師	ナグサ 理恵 畑原 理恵 (52) ＜平成28年4月＞	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	ススキ タコ 鈴木 聡子 (47) ＜平成28年4月＞	災害リハビリテーション
兼任	講師	スギモト タツ 杉本 寿司 (38) ＜平成28年4月＞	ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	オガサ シゲヒコ 岡田 しげひこ (65) ＜平成28年4月＞	チーム医療論 地域リハビリテーション 学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年令) ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目名
兼任	准教授	マツモト マサ 松本 真由美 (57) ＜平成27年4月＞	心理学 発達心理学
兼任	准教授	モリグチ イ 森口 真衣 (43) ＜平成27年4月＞	倫理学 生命倫理
兼任	准教授	ヤマダ 敬士 山田 敬士 (40) ＜平成27年4月＞	日本語表現 中国語
兼任	講師	マタ タロ 太田 誠 (57) ＜平成27年4月＞	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論 神経筋運動生理学
兼任	講師	ササキ 祐 佐々木 祐 (48) ＜平成28年4月＞	理学療法評価学（神経系） 理学療法評価学演習（神経系）
兼任	講師	シゲタ 祐美 清水 薫 (42) ＜平成28年4月＞	代謝・免疫系障害病理学 薬理学
兼任	講師	サカグチ トモミ 坂口 友康 (38) ＜平成28年4月＞	理学療法評価学（神経系） 理学療法評価学演習（神経系）
兼任	講師	シノ 知子 渋川 佳彦 (35) ＜平成28年4月＞	理学療法評価学（運動器系） 理学療法評価学演習（運動器系）
兼任	講師	ヤマギチ 知子 山口 和之 (61) ＜平成30年4月＞	健康政策論
兼任	講師	フジ タツロ 足立 重敬 (50) ＜平成30年4月＞	健康政策論
兼任	講師	ナガノ 理恵 畑原 理恵 (53) ＜平成28年4月＞	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	スズキ 知子 鈴木 聡子 (48) ＜平成28年4月＞	災害リハビリテーション
兼任	講師	サキモト 寿司 杉本 寿司 (39) ＜平成29年4月＞	ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	サカグチ サトコ 岡田 しげこ (66) ＜平成28年4月＞	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月> 担当授業科目名
兼任	准教授	マツモト マミ 松本 真由美 (58) <平成27年4月> 心理学 発達心理学
兼任	准教授	シノグチ マイ 森口 真衣 (44) <平成27年4月> 倫理学 生命倫理
兼任	准教授	ヤマダ アサキ 山田 敦士 (41) <平成27年4月> 日本語表現 中国語
兼任	講師	イトウ マコ 太田 誠 (58) <平成27年4月> 理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論 神経筋運動生理学 神経筋運動生理学
兼任	講師	シノグチ マコ 清水 薫 (43) <平成29年4月> 代謝・免疫系障害学 理学療法 運動器障害学 理学療法
兼任	講師	サカグチ ヒロユキ 坂口 友康 (39) <平成28年4月> 理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習 (神経系)
兼任	講師	シノグチ ヒロユキ 渋川 佳彦 (36) <平成28年4月> 理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習 (神経系)
兼任	講師	ヤマギシ カズキ 山口 和之 (62) <平成30年4月> 健康政策論
兼任	講師	フジタ アツヒロ 足立 豊数 (51) <平成30年4月> 健康政策論
兼任	講師	ナガノ 理恵 相馬 理恵 (54) <平成29年4月> 災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	スズキ ケイコ 鈴木 聡子 (49) <平成29年4月> 災害リハビリテーション
兼任	講師	スギモト ヒロシ 杉本 昇司 (40) <平成29年4月> ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	サカグチ シノブ 岡田 しげこ (67) <平成29年4月> チーム医療論 地域リハビリテーション 学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞	担当授業科目名
兼任	講師	イダ 幸 石田 ゆき (29) ＜平成27年4月＞	教育学 教育心理学 人間関係論
兼任	講師	イナ 幸 千葉 卓 (71) ＜平成27年4月＞	法学
兼任	講師	イナ 幸 萩原 裕子 (47) ＜平成27年4月＞	英語 I
兼任	講師	イナ 幸 吉田 昌弘 (34) ＜平成27年4月＞	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	イナ 幸 高橋 義信 (54) ＜平成27年4月＞	人間発達学
兼任	講師	イナ 幸 藤野 孝己 (47) ＜平成27年4月＞	病理学
兼任	講師	イナ 幸 岡部 晋彦 (47) ＜平成27年4月＞	栄養学
兼任	講師	イナ 幸 近藤 文衛 (79) ＜平成28年4月＞	内科学
兼任	講師	イナ 幸 山本 泰雄 (53) ＜平成28年4月＞	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	イナ 幸 那須 俊一 (66) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 宮下 宗治 (59) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 小寺 秀一 (51) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 林 恭裕 (64) ＜平成27年4月＞	社会福祉学
兼任	講師	イナ 幸 浅野 友佳子 (40) ＜平成29年4月＞	高次脳機能障害作業 治療学
兼任	講師	イナ 幸 鬼塚 久志 (53) ＜平成29年4月＞	義肢装具作業療法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞	担当授業科目名
兼任	講師	イダ 幸 石田 ゆき (29) ＜平成27年4月＞	教育学 教育心理学 人間関係論
兼任	講師	イナ 幸 千葉 卓 (71) ＜平成27年4月＞	法学
兼任	講師	イナ 幸 萩原 裕子 (47) ＜平成27年4月＞	英語 I
兼任	講師	イナ 幸 吉田 昌弘 (34) ＜平成27年4月＞	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	イナ 幸 高橋 義信 (54) ＜平成27年4月＞	人間発達学
兼任	講師	イナ 幸 藤野 孝己 (47) ＜平成27年4月＞	病理学
兼任	講師	イナ 幸 岡部 晋彦 (47) ＜平成27年4月＞	栄養学
兼任	講師	イナ 幸 近藤 文衛 (79) ＜平成28年4月＞	内科学
兼任	講師	イナ 幸 山本 泰雄 (53) ＜平成28年4月＞	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	イナ 幸 那須 俊一 (66) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 宮下 宗治 (59) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 小寺 秀一 (51) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 林 恭裕 (64) ＜平成27年4月＞	社会福祉学
兼任	講師	イナ 幸 浅野 友佳子 (40) ＜平成29年4月＞	高次脳機能障害作業 治療学
兼任	講師	イナ 幸 鬼塚 久志 (53) ＜平成29年4月＞	義肢装具作業療法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞	担当授業科目名
兼任	講師	イダ 幸 石田 ゆき (30) ＜平成27年4月＞	教育学 教育心理学 人間関係論
兼任	講師	イナ 幸 千葉 卓 (72) ＜平成27年4月＞	法学
兼任	講師	イナ 幸 萩原 裕子 (48) ＜平成27年4月＞	英語 I
兼任	講師	イナ 幸 吉田 昌弘 (35) ＜平成27年4月＞	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	イナ 幸 橋本めぐみ (52) ＜平成28年4月＞	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	イナ 幸 高橋 義信 (55) ＜平成27年4月＞	人間発達学
兼任	講師	イナ 幸 藤野 孝己 (51) ＜平成27年4月＞	病理学
兼任	講師	イナ 幸 岡部 晋彦 (48) ＜平成27年4月＞	栄養学
兼任	講師	イナ 幸 近藤 文衛 (80) ＜平成28年4月＞	内科学
兼任	講師	イナ 幸 山本 泰雄 (54) ＜平成28年4月＞	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	イナ 幸 那須 俊一 (67) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 宮下 宗治 (60) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 小寺 秀一 (52) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 林 恭裕 (65) ＜平成27年4月＞	社会福祉学
兼任	講師	イナ 幸 浅野 友佳子 (41) ＜平成29年4月＞	高次脳機能障害作業 治療学
兼任	講師	イナ 幸 鬼塚 久志 (54) ＜平成29年4月＞	義肢装具作業療法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞	担当授業科目名
兼任	講師	イナ 幸 宮崎 秀子 (64) ＜平成28年4月＞	生活科学
兼任	講師	イナ 幸 石田 ゆき (31) ＜平成27年4月＞	教育学 教育心理学 人間関係論
兼任	講師	イナ 幸 千葉 卓 (73) ＜平成27年4月＞	法学
兼任	講師	イナ 幸 萩原 裕子 (49) ＜平成27年4月＞	英語 I
兼任	講師	イナ 幸 吉田 昌弘 (36) ＜平成27年4月＞	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	イナ 幸 橋本めぐみ (53) ＜平成28年4月＞	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	イナ 幸 高橋 義信 (56) ＜平成27年4月＞	人間発達学
兼任	講師	イナ 幸 藤野 孝己 (52) ＜平成27年4月＞	病理学
兼任	講師	イナ 幸 岡部 晋彦 (49) ＜平成27年4月＞	栄養学
兼任	講師	イナ 幸 近藤 文衛 (81) ＜平成28年4月＞	内科学
兼任	講師	イナ 幸 山本 泰雄 (55) ＜平成28年4月＞	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	イナ 幸 那須 俊一 (68) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 宮下 宗治 (61) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 小寺 秀一 (53) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 林 恭裕 (66) ＜平成27年4月＞	社会福祉学
兼任	講師	イナ 幸 浅野 友佳子 (42) ＜平成29年4月＞	高次脳機能障害作業 治療学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞	担当授業科目名
兼任	講師	イナ 幸 宮崎 秀子 (65) ＜平成29年4月＞	生活科学
兼任	講師	イナ 幸 石田 ゆき (32) ＜平成27年4月＞	教育学 教育心理学 人間関係論
兼任	講師	イナ 幸 千葉 卓 (74) ＜平成27年4月＞	法学
兼任	講師	イナ 幸 萩原 裕子 (50) ＜平成27年4月＞	英語 I
兼任	講師	イナ 幸 吉田 昌弘 (37) ＜平成27年4月＞	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	イナ 幸 橋本めぐみ (54) ＜平成28年4月＞	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	イナ 幸 高橋 義信 (57) ＜平成27年4月＞	人間発達学
兼任	講師	イナ 幸 藤野 孝己 (53) ＜平成27年4月＞	病理学
兼任	講師	イナ 幸 岡部 晋彦 (50) ＜平成27年4月＞	栄養学
兼任	講師	イナ 幸 近藤 文衛 (82) ＜平成28年4月＞	内科学
兼任	講師	イナ 幸 山本 泰雄 (56) ＜平成28年4月＞	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	イナ 幸 那須 俊一 (69) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 宮下 宗治 (62) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 小寺 秀一 (54) ＜平成28年4月＞	障害学特論
兼任	講師	イナ 幸 林 恭裕 (67) ＜平成27年4月＞	社会福祉学
兼任	講師	イナ 幸 浅野 友佳子 (43) ＜平成29年4月＞	高次脳機能障害作業 治療学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月> 担当授業科目名
兼任	講師	山本 健一 (71) <平成27年4月> 統計学	兼任	講師	山本 健一 (71) <平成27年4月> 統計学	兼任	講師	山本 健一 (72) <平成27年4月> 統計学	兼任	講師	山本 健一 (73) <平成27年4月> 統計学 情報科学 物理学	兼任	講師	山本 健一 (74) <平成27年4月> 統計学 情報科学 物理学
兼任	講師	石田 容士 (50) <平成28年4月> カウンセリング論 臨床心理学	兼任	講師	石田 容士 (50) <平成28年4月> カウンセリング論 臨床心理学	兼任	講師	石田 容士 (51) <平成28年4月> カウンセリング論 臨床心理学	兼任	講師	石田 容士 (52) <平成28年4月> カウンセリング論 臨床心理学	兼任	講師	石田 容士 (53) <平成28年4月> カウンセリング論 臨床心理学
兼任	講師	森谷 繁 (72) <平成27年4月> 環境科学												
			兼任	講師	藤井 博臣 (63) <平成27年4月> 環境科学	兼任	講師	藤井 博臣 (65) <平成27年4月> 環境科学	兼任	講師	藤井 博臣 (66) <平成27年4月> 環境科学	兼任	講師	藤井 博臣 (66) <平成27年4月> 環境科学
兼任	講師	山下 浩紀 (51) <平成29年4月> チーム医療論	兼任	講師	山下 浩紀 (51) <平成29年4月> チーム医療論	兼任	講師	山下 浩紀 (52) <平成29年4月> チーム医療論	兼任	講師	山下 浩紀 (53) <平成29年4月> チーム医療論	兼任	講師	山下 浩紀 (54) <平成29年4月> チーム医療論 ボランティア活動
兼任	講師	薄井 明 (56) <平成27年4月> 社会学												
兼任	講師	今井 由恵 (50) <平成28年4月> 音楽	兼任	講師	今井 由恵 (50) <平成28年4月> 音楽	兼任	講師	今井 由恵 (51) <平成28年4月> 音楽	兼任	講師	今井 由恵 (52) <平成28年4月> 音楽	兼任	講師	今井 由恵 (53) <平成28年4月> 音楽
兼任	講師	栗本 瑞恵 (32) <平成27年4月> 北海道史	兼任	講師	栗本 瑞恵 (32) <平成27年4月> 北海道史	兼任	講師	栗本 瑞恵 (33) <平成27年4月> 北海道史						
									兼任	講師	濱口 裕介 (37) <平成29年4月> 北海道史	兼任	講師	濱口 裕介 (38) <平成29年4月> 北海道史
兼任	講師	大内 高雄 (66) <平成28年4月> ボランティア活動	兼任	講師	大内 高雄 (66) <平成28年4月> ボランティア活動	兼任	講師	大内 高雄 (67) <平成28年4月> ボランティア活動	兼任	講師	大内 高雄 (68) <平成28年4月> ボランティア活動			
兼任	講師	英語Ⅱ (51) <平成27年4月>												
			兼任	講師	英語Ⅱ (42) <平成27年4月>	兼任	講師	英語Ⅱ (43) <平成27年4月>	兼任	講師	英語Ⅱ (44) <平成27年4月>	兼任	講師	英語Ⅱ (45) <平成27年4月>
兼任	講師	赤間 征太 (31) <平成28年4月> 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	赤間 征太 (31) <平成28年4月> 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	赤間 征太 (32) <平成28年4月> 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	赤間 征太 (33) <平成28年4月> 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	赤間 征太 (34) <平成28年4月> 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	金 昌震 (41) <平成28年4月> 韓国語	兼任	講師	金 昌震 (41) <平成28年4月> 韓国語	兼任	講師	金 昌震 (42) <平成28年4月> 韓国語	兼任	講師	金 昌震 (43) <平成28年4月> 韓国語	兼任	講師	金 昌震 (44) <平成28年4月> 韓国語
兼任	講師	藤田 修瑠 (31) <平成29年4月> 作業療法治療学特論 (門診分析)	兼任	講師	藤田 修瑠 (31) <平成29年4月> 作業療法治療学特論 (門診分析)	兼任	講師	藤田 修瑠 (32) <平成29年4月> 作業療法治療学特論 (門診分析)						
兼任	講師	池田 官司 (54) <平成28年4月> 精神医学	兼任	講師	池田 官司 (54) <平成28年4月> 精神医学	兼任	講師	池田 官司 (55) <平成28年4月> 精神医学	兼任	講師	池田 官司 (56) <平成28年4月> 精神医学	兼任	講師	池田 官司 (57) <平成28年4月> 精神医学
兼任	講師	坂上 真理 (48) <平成29年4月> 作業療法治療学特論 (治療理論)	兼任	講師	坂上 真理 (48) <平成29年4月> 作業療法治療学特論 (治療理論)	兼任	講師	坂上 真理 (49) <平成29年4月> 作業療法治療学特論 (治療理論)	兼任	講師	坂上 真理 (50) <平成29年4月> 作業療法治療学特論 (治療理論)	兼任	講師	坂上 真理 (51) <平成29年4月> 作業療法治療学特論 (治療理論)

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 年齢、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は消官削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い乾公義を学科長とした。
- ・石橋晃仁講師の就任予定年を1年早め、平成27年4月とした。
- ・大堀具視講師の就任予定年を1年早め、平成28年4月とした。
- ・平成27年4月早川宏子准教授就任。平成27年1月教員審査済。
- ・平成27年4月清田直恵講師就任。平成27年1月教員審査済。
- ・平成27年4月「小児科学」の兼任講師を大久保雄男教授から賀来亨教授に変更。
- ・平成27年4月「環境科学」の兼任講師を森谷繁から藤井博臣に変更。
- ・平成27年4月「社会学」の兼任講師を薄井明講師から林美枝子教授に変更。
- ・平成27年4月「英語Ⅱ」の兼任講師をゼフ・ブルックリンからデイビッド・フレナーに変更。
- ・平成27年4月「軟部組織治療学」「徒手関節治療学」の兼任講師を宮本重範に変更。
- ・平成27年4月「高次脳機能障害学」の兼任講師を境信哉に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「代謝・免疫系障害学療法学」の兼任講師として、加藤新司・菅原啓祐を追加。
- ・兼任講師坂上真理の担当科目に「高齢期障害作業療法学」を追加。

【平成28年度】

- ・平成28年4月八田達夫教授就任。平成28年4月教員審査済。
- ・平成28年4月大堀具視准教授就任。平成28年4月教員審査済。
- ・平成28年4月向井康嗣講師就任。平成28年1月教員審査済。
- ・平成28年4月西山徹講師就任。平成28年1月教員審査済。
- ・澤田雄二教授就任により「作業療法評価学演習（骨・関節系）」の専任講師を坪田貞子教授に変更。
- ・澤田雄二教授就任により「作業療法概論演習」の専任講師を八田達夫教授に変更。
- ・澤田雄二教授就任により「作業療法評価学演習（神経・筋力系）」の専任講師を大堀具視准教授に変更。
- ・澤田雄二教授就任により「日常生活応用学（ADL）」「臨床実習Ⅰ（作業療法）」「臨床実習Ⅱ（作業療法）」「臨床実習Ⅲ（作業療法）」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任講師を岸上博俊准教授に変更。
- ・平成28年4月「保健医療論」の兼任講師を傳野隆一教授から島本和明教授に変更。
- ・平成28年4月「生理学」の兼任講師を福島順子から一瀬信敏に変更。
- ・平成28年4月「整形外科」の兼任講師を横山真蔵から佐々木浩一に変更。
- ・平成28年4月「神経内科学」の兼任講師を近藤文衛から島本和明に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「生活と運動」「健康とスポーツ」の兼任講師として、橋本めぐみを追加。
- ・兼任講師小形和浩の担当科目に「基礎作業学演習（基礎作業分析）」「基礎作業学演習（応用作業分析）」を追加。

【平成29年度】

- ・平成29年4月岸上博俊准教授就任。平成28年8月教員審査済。
- ・平成29年4月松田智恵講師就任。平成29年2月教員審査済。
- ・平成29年4月新開谷深助教授就任。平成29年3月変更書提出済。
- ・平成29年4月清水憲太助教就任。平成29年3月変更書提出済。
- ・乾公義教授の担当授業科目に「運動器障害理学療法学」を追加。平成29年2月教員審査済。
- ・坪田貞子教授の担当授業科目に「作業療法評価学演習（骨・関節系）」を追加。平成28年6月教員審査済。
- ・坪田貞子教授の担当授業科目に「作業療法治療学特論（ハンドセラピー）」を追加。平成28年6月教員審査済。
- ・岸上博俊准教授の担当授業科目に「高齢期障害作業治療学」を追加。平成29年2月教員審査済。
- ・岸上博俊准教授の担当授業科目に「作業療法セミナーⅠ」を追加。平成29年3月教員審査済。
- ・大堀具視准教授の担当授業科目に「福祉環境論」「地域リハビリテーション学」「臨床実習Ⅰ（作業療法）」を追加。平成29年2月教員審査済。
- ・八田達夫教授の担当授業科目に「作業療法概論演習」を追加。平成28年6月教員審査済。
- ・早川宏子准教授就任により「基礎作業学演習（基礎作業分析）」の専任講師を合田志助教授に変更。
- ・早川宏子准教授就任により「基礎作業学演習（応用作業分析）」「作業療法評価学演習（中枢神経系）」「臨床実習Ⅰ（作業療法）」の専任講師を清水憲太助教に変更。
- ・早川宏子准教授就任により「作業療法セミナーⅠ」の専任講師を岸上博俊准教授に変更。
- ・早川宏子准教授就任により「福祉環境論」「地域リハビリテーション学」の専任講師を大堀具視准教授に変更。
- ・学修効果向上のため、「内科学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・学修効果向上のため、「物理学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・学修効果向上のため、「呼吸・循環器障害理学療法学」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・学修効果向上のため、「神経筋促進治療学」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・学修効果向上のため、「義肢装具学療法学」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・学修効果向上のため、「義肢装具作業療法学演習」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・平成29年4月「内科学」の兼任講師を近藤文衛から島本和明に変更。
- ・平成29年4月「精神障害作業治療学」の兼任講師を小形和浩から池田望・河野仁志・森本隆文に変更。
- ・平成29年4月「生活科学」の兼任講師を和田龍彦から宮森芳子に変更。
- ・平成29年4月「情報科学」の兼任講師を和田龍彦から端後一に変更。
- ・平成29年4月「病理学」の兼任講師を藤野準己から土橋恵に変更。
- ・平成29年4月「義肢装具作業療法学」の兼任講師を鬼塚志恵から本道伸弘に変更。
- ・平成29年4月「北海道史」の兼任講師を深田瑞恵から濱口裕介に変更。
- ・平成29年4月「作業療法治療学特論（行動分析）」の科目名を「作業療法治療学特論（ハンドセラピー）」に変更し、講師を兼任講師藤田修晴から坪田貞子教授（専任）に変更。
- ・平成29年4月「高齢期障害作業治療学」の兼任講師を坂上真理から岸上博俊准教授（専任）に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「応急処置法」の兼任講師として、岸上洋子を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「神経筋促進治療学」の兼任講師として、太田誠を追加。

【平成30年度】

- ・平成30年4月及川直樹講師就任。平成30年2月教員審査済。
- ・平成30年7月坂口友康助教就任予定。（審査中）
- ・平成30年4月「小児科学」の講師を賀来亨（兼任）から平間敏恵（兼任）に変更。
- ・平成30年4月「チーム医療論」の講師を傳野隆一（兼任）から明庭圭吾（兼任）に変更。
- ・平成30年4月「代謝・免疫系障害理学療法学」の講師を傳野隆一（兼任）から木村浩一（兼任）に変更。
- ・平成30年4月「理学療法評価学（神経系）」「理学療法評価学演習（神経系）」の兼任講師を更科泰保から浜川佳彦に変更。
- ・平成30年4月「ボランティア活動」の兼任講師を大内高雄から山下浩紀に変更。
- ・学修効果向上のため、「小児科学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・「義肢装具作業療法学」「義肢装具作業療法学演習」の専任講師を坪田貞子教授から及川直樹講師に変更。
- ・「福祉用具学」の専任講師を八田達夫教授から及川直樹講師に変更。
- ・「作業療法評価学演習（骨・関節系）」の専任講師を岸上博俊准教授から及川直樹講師に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「運動器障害理学療法学」の兼任講師として、清水薫を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「作業療法評価学演習（中枢神経系）」の兼任講師として、池田保を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「物理学」の兼任講師として、端後一を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部の専任教員を承認する議会は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することとは出来ません。
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
6人	1人	2人	4人	13人	5人	2人	5人	4人	16人	5人	2人	5人	4人	16人
(5人)	(1人)	(2人)	(1人)	(9人)						[Δ1人]	[1人]	[3人]	[0人]	[3人]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上 記（C））の教員 のうち、定年を延長 して採用する教員数
65 歳	3 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{16}{13} = 123.07\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{3}{16} = 18.75\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	講師	樋室 伸顕	選択	運動療法学演習	①					
			選択	発達障害心理学療法学	①					
			選択	臨床実習Ⅱ（理学療法）	①					
			選択	臨床実習Ⅲ（理学療法）	①					
			必修	卒業研究Ⅰ	①					
			必修	卒業研究Ⅱ	①					
			合計（D）	後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由								
1	教授	澤田 雄二	選択	作業療法学概論演習	①									
			選択	作業療法評価学演習（骨・関節系）	①									
			選択	作業療法評価学演習（神経・筋力系）	①									
			選択	日常生活動作学（ADL）	①									
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①									
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①									
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①									
			必修	卒業研究Ⅰ	①									
			必修	卒業研究Ⅱ	①									
2	准教授	早川 宏子	選択	基礎作業学演習（基礎作業分析）	①									
			選択	基礎作業学演習（応用作業分析）	①									
			選択	作業療法セミナーⅠ	①									
			必修	運動学演習	①									
			必修	地域リハビリテーション学	①									
			選択	福祉住環境論	①									
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①									
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①									
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①									
			必修	卒業研究Ⅰ	①									
			必修	卒業研究Ⅱ	①									
3	講師	清田 直恵	必修	解剖学演習（骨・筋）	①									
			必修	機能解剖学	①									
			必修	生理学演習	①									
			選択	臨床実習Ⅰ（理学療法）	①									
			選択	臨床実習Ⅱ（理学療法）	①									
			選択	臨床実習Ⅲ（理学療法）	①									
			必修	卒業研究Ⅰ	①									
			必修	卒業研究Ⅱ	①									
			合 計（F）					後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人		必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	28	科目	計	28	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	21 科目	選択	21 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	34 科目	計	34 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{4}{13} = 30.76 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		なし								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 交代については、やむを得ないと判断し事前相談を行った。
- ・ 学生には担当教員が変更になった旨、周知徹底した。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	・専門教育科目における専攻ごとの履修方法について、「教育課程等の概要」の「卒業要件及び履修方法」の欄では必修科目と位置付けられている科目が、「設置の趣旨等を記載した書類」では選択科目と位置付けられているかのように記載され不整合が生じており、学生に混乱を与える可能性がある。そのため、学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの授業科目の必修・選択の区分を整理した上で、学生に対して丁寧な履修指導を行うこと。	留意事項 (27) 学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの教育課程進路表を作成し、シラバスに記載し学生に配布。さらに入学生オリエンテーション及び専攻別オリエンテーションにて学生に対し、科目ごとに必須・選択の説明を行い、加えて履修登録の際には、担任教員が立会い指導を行った。 (28) 27年度と同様の対応を行った。 (29) 28年度と同様の対応を行った。 (30) 29年度と同様の対応を行った。	履行済
	・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項 (27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グランド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のマイクロバスを配置済みである。 (28) 引き続き、教育及び学生の課外活動等に支障のないよう努める。 (29) 28年度と同様に対応した。 (30) 29年度と同様に対応した。	履行済
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項 (27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。 (29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。 (30) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。	未履行

	・教員の補充を必要とされた32授業科目については、開設時又は科目開講時までに教員を配置すること。うち、専任教員の配置を必要とされた28授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	留意事項	(27) 32科目中、兼任教員の4科目については、既に配置済みである。専任教員の28科目について、17科目は、1月の教員審査で既に承認を得ている。また1科目は、同じく1月の教員審査の際に兼任可との返答を得て、既に配置済みである。4科目については、3月に専任教員採用等変更書を提出。残りの6科目については、開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。	履行済	
			(28) 未配置科目6科目中、5科目については、1月の教員審査で既に承認を得ている。残りの1科目については開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。		
			(29) 全ての科目について、専任教員を配置済。		
設置計画履行状況調査時 (28年2月)	保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	(28) 平成28年1月12日の執行役員会において「学生募集対策本部」の設置を決議した。 ○設置の目的 専門学校から大学に改組したにもかかわらず入学定員が充足していない。28年度においても定員充足については極めて厳しい状況にある。 質の高い学生を確保するために入学定員の6倍の志願者数をめざし、学生募集戦略の抜本的な見直しを行い、早期に決定して実行することを目的に経営と教学が一体となった「学生募集対策本部」を設置する。 ○メンバー [本部長] 理事長 [副本部長] 学長 [看護学科担当] 学科長 [リハビリテーション学科担当] 学科長 [診療放射線学科担当] 学科長 [大学事務局] 事務局長、広報担当係員2人 (29) 引き続き学生募集対策委員会において、学生確保に努める。 (30) 以下に記載する30年2月に付された改善意見への履行状況のとおりに対応する。	履行済	学生募集対策委員会会議は、過去6回（1/25、2/8、2/17、2/24、3/10、3/18）開催しており、今後も次の事項について継続して検討・実行していく計画である。 ○検討事項 1 学生の確保に関する事項 ① 学生確保に関する基本方針に関する事項 ② 学生募集要項に関する事項 ③ 学生募集に関わる調査及び研究等に関する事項 ④ その他学生の確保に関する事項 2 広報に関する事項 ① 学生募集に係る広報活動に関する事項 ② 各種メディアを利用した広報活動に関する事項 ③ ホームページの企画及び作成に関する事項 ④ 大学案内等の企画及び作成に関する事項 ⑤ その他の広報活動に関する事項 3 適正な入学定員に関する事項

	保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。 (30) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。	未履行	(28) 今回、リハビリテーション学科設置に伴う定年延長の特別措置は、あくまでも例外的な措置であり、定年年齢(65)を超えて採用した専任教員(以下A教員という。)及び採用後4年以内に定年年齢を迎える専任教員(以下B教員という。)については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。 上記特別措置の該当教員については、A教員の該当者は4人、B教員の該当者は2人いる。特例期間が満了する前に教員を補充する計画であり、任用に当たっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮し、教員任用規程に基づいて計画的に進める。																																																
設置計画履行状況調査時 (29年2月)	保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	(29) 現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。(職位はH29.5.1現在、年齢はH30.3.31現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>教授</th><th>准教授</th><th>講師</th><th>助教</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30～39</td><td></td><td></td><td>3</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr> <td>40～49</td><td></td><td>1</td><td></td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr> <td>50～59</td><td></td><td>1</td><td>2</td><td></td><td>3</td></tr> <tr> <td>60～64</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr> <td>65～69</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr> <td>70以上</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr> <td>計</td><td>5</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>16</td></tr> </tbody> </table> 。教員組織編成の将来構想は、退職する教授の後任には、教員任用規程に基づき学内の准教授を教授に昇任するほか、年齢構成を考慮し、50歳代の教授職を公募により採用する。後任の教員の採用に当たっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。また、今後、FDを強化し教員の育成、特に若年の助教、講師の育成に努める。 (30) 29年度と同様に対応した。		教授	准教授	講師	助教	計	30～39			3	2	5	40～49		1		2	3	50～59		1	2		3	60～64	1				1	65～69	3				3	70以上	1				1	計	5	2	5	4	16	未履行	
	教授	准教授	講師	助教	計																																																
30～39			3	2	5																																																
40～49		1		2	3																																																
50～59		1	2		3																																																
60～64	1				1																																																
65～69	3				3																																																
70以上	1				1																																																
計	5	2	5	4	16																																																

設置計画履行状況調査時 (30年2月)	保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	(30) 平成28年1月に設置された「学生募集対策委員会」より全教職員に対し、定員充足に向けた全学的な協力体制の取り組み（高校訪問の実施等）について指示があった。特に学生募集・入試グループに対しては、以下のとおり具体的な事項が示された。 ①教職員一体となった高校訪問の早期実施 ②リハビリテーション学科に特化した高校訪問の早期実施 ③「オープンキャンパス」および「一日体験入学」の企画内容について、学生スタッフの意見を取り込みながら充実を図る ④受験生対象保護者説明会の回数および企画内容の充実 ⑤TVコマーシャルの放映回数を大幅に増やす ⑥推薦入試（後期）日程を導入 ⑦大学入試センター試験利用入試（前期・後期）を新設導入	履行済	
------------------------	--	------	--	-----	--

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 ・一般入学試験 ・推薦入学試験	① ・平成29年度入学試験（平成29年4月入学生）はA0入学試験を2回実施。 ・平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）からA0入学試験を1回実施。 ・平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、大学入試センター試験利用入学試験を導入。 ・平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、一般入学試験および大学入試センター試験利用入学試験において、3学科併願可能な入学試験を実施。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 - a 委員会の設置状況 ・FD委員会 看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・第1回FD委員会 平成29年 6月15日（教員7人、事務職員1人） ・第2回FD委員会 平成30年 1月23日（教員7人、事務職員1人） - c 委員会の審議事項等 ・学生による授業評価アンケートの改訂について ・学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施について ・教育課程の検討について ・教員研修会の実施及び授業方法の開発について	② 実施状況 - a 実施内容 ・学生による授業評価アンケートの改訂 診療放射線学科開設に伴い、これまで看護学科・リハ学科で作成した授業評価アンケート（講義・演習用）と（実習用）の様式について各学科で継続して見直しを行った。 ・学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施 授業評価に関しては、各科目の講義の最終回に実施した。実施方法は科目担当教員がアンケート用紙を配付し、学生が記入後、事務職員が回収にあたるか、または学生がボックスに投函した。集計結果は、各科目担当者に項目ごとの平均値・全平均値・自由記述部分を返却し、あわせて、全科目集計表を添付し、授業改善の参考としてもらうようはたらきかけた。また、全科目集計表・必修―選択科目集計表・基礎教育―専門基礎教育―専門教育科目等、グループごとの集計表とそのグラフを真栄キャンパス・恵み野キャンパス、それぞれに掲示し、学生が授業評価アンケートの結果を閲覧できるようにした。各科目担当教員に授業評価アンケートの集計および自由記述結果を返却し、より良い授業構築へとつながった。 さらに、今年度から各教員からはその内容を受け今後の教育にどう反映させるかを書面（電子データ）で提出してもらい、提出されたものは学生にも公開し、各教員、学生間の双方の意見交流の機会とし、より良い授業構築へとつながった。 看護学科は3年間授業を行なった中で変更や追加が望ましい部分等を加味し、2019年度以降の新カリキュラム再編へ話し合いを行った。FD委員会ではカリキュラム検討会の推移を見守った。 ・教員研修会の実施及び授業方法の開発 教員研修会に関しては、平成29年度は魅力あるシラバスの作成に関する学習会を実施した。 平成29年8月1日（火）14：00～16：00 参加者は公務で不在の教員を除き、全教員の参加があった。研修内容、時期、場所、所要時間について参加者にアンケートを実施した結果、有意義な研修であったという意見が多かった。 - b 実施方法 上記の実施内容に沿って適切に実施。 - c 開催状況（教員の参加状況含む） 2回の教員研修はいずれも公務で不在の教員を除き、全教員の参加があった。
---	--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度（前期・後期）も専任教員科目については継続して学生へのフィードバックを実施することとした。

授業評価アンケート結果に対する科目責任者から学生へのフィードバック（100字から300字以内）について、統一のフォーマットにコメントを掲載し、学生ポータルサイトにPDFで掲載する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無および実施時期

・学期ごとに実施 前期 7～8月 後期 1～2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・学内掲示板及び学生用ポータルサイトでアンケート結果及び学生コメントへのフィードバックを行っている。

前期分：9月 後期分：翌年度の4月

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科及び診療放射線学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。

看護学科は平成29年度が開設後4年目、リハビリテーション学科は設置後3年目、診療放射線学科は設置後2年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、自己点検評価委員会は平成26年度に設置され、平成27年度から活動を始め種々の自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

・本学においては、日本医療大学年報という名称で自己点検評価報告書を作成し、ホームページには当該年度の翌年下半年に掲載している。

b 公表方法

・本学ホームページに公表している。

③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度に日本高等教育評価機構の認証を受審するべく準備を進めている。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (☒ 有 ☐ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (30 年 8 月)

（注）・「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人日本医療大学

(2) 大 学 名 日本医療大学

(3) 大学の位置

〒061-1373
北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号
(〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツシマ ノリアキ) 対 馬 徳 昭 (平成5年4月)		
学長代行	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年4月)	(30) 傳野学長が平成30年3月31日に退任のため、島本総長が学長を代行
学 部 長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年4月)	(30) 傳野学長が平成30年3月31日に退任のため、島本総長が学部長を代行
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 公 美 (平成27年4月)	(27) 設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 学士 (リハビリテーション学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	4年	40人	—	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (—) [—]	—	40人 (—) [—]	—	40人 (—) [—]	—	40人 (—) [—]	—	0.97倍	
志願者数	77人 (—) [—]	—	100人 (—) [—]	—	86人 (—) [—]	—	222 (—) [—]	—		
受験者数	76人 (—) [—]	—	95人 (—) [—]	—	85人 (—) [—]	—	215 (—) [—]	—		
合格者数	58人 (—) [—]	—	62人 (—) [—]	—	61人 (—) [—]	—	165 (—) [—]	—		
B 入学者数	38人 (—) [—]	—	43人 (—) [—]	—	33人 (—) [—]	—	43 (—) [—]	—		
入学定員超過率 B/A	0.95倍		1.07倍		0.82倍		1.07倍			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	38人 [-] (-)	- [-] (-)	44人 [-] (1人)	- [-] (-)	35人 [-] (2人)	- [-] (-)	44人 [-] (1人)	- [-] (-)	
2年次			37人 [-] (-)	- [-] (-)	43人 [-] (2人)	- [-] (-)	34人 [-] (1人)	- [-] (-)	
3年次					34人 [-] (-)	- [-] (-)	41人 [-] (2人)	- [-] (-)	
4年次							31人 [-] (-)	- [-] (-)	
計	38人 [-] (-)		81人 [-] (1人)		112人 [-] (4人)		150人 [-] (4人)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	38 人	0 人	平成27年度	0 人	- 人	
平成28年度	81 人	2 人	平成27年度	2 人	- 人	一身上の都合(1人) 他の教育機関への入学(1人)
			平成28年度	0 人	- 人	
平成29年度	112 人	5 人	平成27年度	3 人	- 人	一身上の都合(3人)
			平成28年度	1 人	- 人	進路変更(1人)
			平成29年度	1 人	- 人	進路変更(1人)
平成30年度	150 人	0 人	平成27年度	0 人	- 人	
			平成28年度	0 人	- 人	
			平成29年度	0 人	- 人	
			平成30年度	0 人	- 人	
合 計	381 人	7 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{38} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{81} = \boxed{2.46} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{112} = \boxed{4.46} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{150} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 礎 教 育 科 目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1後		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								1
	健康とスポーツ	1後		1							1
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前	1								1
	情報科学演習	1前		1					1		
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前	1								1
専 門 基 礎 教 育 科 目	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2								1
	解剖学演習(神経)	1後	1								1
	体表解剖学	1前	1								1
	機能解剖学	1後	1								1
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1			1					
	運動学	2前	4			1					
	運動学演習	2後	1			1			3		
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2前		2							1
	整形外科	2前		2							1
	神経内科学	2前		2							1
	精神医学	2後		2							1
	小児科学	2前		1							1
	障害学特論	2後		2							3
	リハビリテーション論	1後	2			1					
	チーム医療論	3前		1		1					4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
	理学療法概論	1前		1							1
	理学療法概論演習	1後		1							1
	理学療法セミナーⅠ	1後		1							1
	理学療法セミナーⅡ	2後		1							1
	理学療法セミナーⅢ	3前		1							1
	理学療法評価学(運動器系)	2通		1							1
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通		2					1		1
	理学療法評価学(神経系)	2通		1							2

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 礎 教 育 科 目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								2
	健康とスポーツ	1後		1							2
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前	1								1
	情報科学演習	1前		1					1		
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前	1								1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
専 門 基 礎 教 育 科 目	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					2			1
	解剖学演習(神経)	1後	1								1
	体表解剖学	1前	1					1	1		0
	機能解剖学	1後	1					1			
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1			1					
	運動学	2前	4			1					
	運動学演習	2後	1			1			3		
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2後		2							1
	整形外科	2前		2							1
	神経内科学	2前		2							1
	精神医学	2後		2							1
	小児科学	2後		1							1
	障害学特論	2後		2							3
	リハビリテーション論	1後	2			1					
	チーム医療論	3前		1		1					4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
	理学療法概論	1前		1							1
	理学療法概論演習	1後		1							1
	理学療法セミナーⅠ	1後		1				1			
	理学療法セミナーⅡ	2後		1				1			
	理学療法セミナーⅢ	3前		1				1			
	理学療法評価学(運動器系)	2通		1				1			1
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通		2					1		1
	理学療法評価学(神経系)	2通		1							2

専門教育科目	理学療法評価学演習(神経系)	2通	2							2
	臨床判断学(基礎編)	2後	1							
	臨床判断学(応用編)	3後	1							
	運動療法学	2前	1	1						
	運動療法学演習	2後	1		1					
	運動器障害理学療法学	3前	1							1
	運動器障害理学療法演習	3前	1							
	神経障害理学療法学	3前	1		1					
	神経障害理学療法演習	3前	1		1					
	呼吸・循環器障害理学療法学	3前	1	1						
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前	1							1
	発達障害理学療法学	3後	1			1				
	高齢期障害理学療法学	3後	1	1						
	物理療法学	3前	1	1						1
	物理療法学演習	3前	1	1						1
	義肢装具学	3前	1	1						
	義肢装具学演習	3前	1	1						
	日常生活活動基礎学	3前	1							
	神経筋促進治療学	3前	1	1						
	高次脳機能障害学	3後	1							1
	徒手関節治療学	3後	1							1
	スポーツ理学療法学	3後	1							1
	地域理学療法学	3前	1	1			1			2
	生活環境学	3後	1	1						
	臨床実習Ⅰ(理学療法)	2後	1	3			1			
	臨床実習Ⅱ(理学療法)	3後	3	3			2			
	臨床実習Ⅲ(理学療法)	4前	16	3			2			
	リハビリテーション管理学	4後	1		1	1				
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1							1
	応急処置法	3前	1				1			
	軟部組織治療学	3前	1				1			
	ウイメンズヘルスケア論	3前	1				2			
	災害リハビリテーション	3前	1				2			
	地域リハビリテーション学	2前	1							
	地域リハビリテーション学演習	2前	1				1			2
	研究法	3前	1		1					
	卒業研究Ⅰ	3後	1		6					
	卒業研究Ⅱ	4通	2		6					

専門教育科目	理学療法評価学演習(神経系)	2通	2							2
	臨床判断学(基礎編)	2後	1					1		
	臨床判断学(応用編)	3後	1					1		
	運動療法学	2前	1	1						
	運動療法学演習	2後	1					1		
	運動器障害理学療法学	3前	1	1						
	運動器障害理学療法演習	3前	1							1
	神経障害理学療法学	3前	1					1		
	神経障害理学療法演習	3前	1					1		
	呼吸・循環器障害理学療法学	3後	1	1						
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前	1							2
	発達障害理学療法学	3後	1					1		
	高齢期障害理学療法学	3後	1	1						
	物理療法学	3前	1	1	1					1
	物理療法学演習	3前	1	1	1					1
	義肢装具学	3前	1	1	1			1		
	義肢装具学演習	3前	1	1	1			1		
	日常生活活動基礎学	3前	1					1		
	神経筋促進治療学	3後	1	1						
	高次脳機能障害学	3後	1							1
	徒手関節治療学	3後	1							1
	スポーツ理学療法学	3後	1							1
	地域理学療法学	3前	1	1				1		2
	生活環境学	3後	1	1						
	臨床実習Ⅰ(理学療法)	2後	1	3				1		
	臨床実習Ⅱ(理学療法)	3後	3	3				2		
	臨床実習Ⅲ(理学療法)	4前	16	3				2		
	リハビリテーション管理学	4後	1		1	1				
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1							1
	応急処置法	3前	1							2
	軟部組織治療学	3前	1							1
	ウイメンズヘルスケア論	3前	1							2
	災害リハビリテーション	3前	1							2
	地域リハビリテーション学	2前	1				1			
	地域リハビリテーション学演習	2前	1					1		2
	研究法	3前	1		1					
	卒業研究Ⅰ	3後	1		5	2		5		
	卒業研究Ⅱ	4通	2		5	2		5		

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育 科目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								1
	健康とスポーツ	1後		1							1
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前		1							1
	情報科学演習	1前		1					1		
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前		1							1
	生命倫理	1後		1							1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前		1							1
	英語Ⅰ	1前		1							1
	英語Ⅱ	1後		1							1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
専門 基礎 教育 科目	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					1			
	解剖学演習(神経)	1後	1								1
	体表解剖学	1前	1								1
	機能解剖学	1後	1					1			
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1		1			1			
	運動学	2前	4		1						
	運動学演習	2後	1		1				3		
	病理学	1前	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2前		2							1
	整形外科	2前		2							1
	神経内科学	2前		2							1
	精神医学	2後		2							1
	小児科学	2前		1							1
	障害学特論	2後		2							3
専門 基礎 教育 科目	リハビリテーション論	1後	2		1						
	チーム医療論	3前		1							4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
	理学療法概論	1前		1							1
	理学療法概論演習	1後		1							1
	理学療法セミナーⅠ	1後		1				1			
	理学療法セミナーⅡ	2後		1				1			
	理学療法セミナーⅢ	3前		1				1			
	理学療法評価学(運動器系)	2通		1							1
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通		2					1		1
	理学療法評価学(神経系)	2通		1							2
	理学療法評価学演習(神経系)	2通		2							2
	臨床判断学(基礎編)	2後		1					1		
	臨床判断学(応用編)	3後		1					1		
	運動療法学	2前		1		1					
	運動療法学演習	2後		1				1			
	運動器障害理学療法学	3前		1							
	運動器障害理学療法学演習	3前		1							1

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育 科目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								2
	健康とスポーツ	1後		1							2
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前		1							1
	情報科学演習	1前		1					1		
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前		1							1
	生命倫理	1後		1							1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前		1							1
	英語Ⅰ	1前		1							1
	英語Ⅱ	1後		1							1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
専門 基礎 教育 科目	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					2			
	解剖学演習(神経)	1後	1								1
	体表解剖学	1前	1					1			1
	機能解剖学	1後	1					1			
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1		1			1			
	運動学	2前	4		1						
	運動学演習	2後	1		1				3		
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2前		2							1
	整形外科	2前		2							1
	神経内科学	2前		2							1
	精神医学	2後		2							1
	小児科学	2前		1							1
	障害学特論	2後		2							3
専門 基礎 教育 科目	リハビリテーション論	1後	2					1			
	チーム医療論	3前		1				1			4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
	理学療法概論	1前		1							1
	理学療法概論演習	1後		1							1
	理学療法セミナーⅠ	1後		1				1			
	理学療法セミナーⅡ	2後		1				1			
	理学療法セミナーⅢ	3前		1				1			
	理学療法評価学(運動器系)	2通		1				1			1
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通		2					1		1
	理学療法評価学(神経系)	2通		1							2
	理学療法評価学演習(神経系)	2通		2							2
	臨床判断学(基礎編)	2後		1					1		
	臨床判断学(応用編)	3後		1					1		
	運動療法学	2前		1		1					
	運動療法学演習	2後		1				1			
	運動器障害理学療法学	3前		1							
	運動器障害理学療法学演習	3前		1							1

専門教育科目	神経障害理学療法学	3前	1				1			
	神経障害理学療法学演習	3前	1				1			
	呼吸・循環器障害理学療法学	3前	1	1						
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前	1						2	
	発達障害理学療法学	3後	1				1			
	高齢期障害理学療法学	3後	1	1						
	物理療法学	3前	1	1					1	
	物理療法学演習	3前	1	1					1	
	義肢装具学	3前	1	1						
	義肢装具学演習	3前	1	1						
	日常生活活動基礎学	3前	1				1			
	神経筋促通治療学	3前	1	1						
	高次脳機能障害学	3後	1						1	
	徒手関節治療学	3後	1						1	
	スポーツ理学療法学	3後	1						1	
	地域理学療法学	3前	1	1			1		2	
	生活環境学	3後	1	1						
	臨床実習Ⅰ(理学療法)	2後	1	3		2	1			
	臨床実習Ⅱ(理学療法)	3後	3	3		3	2			
	臨床実習Ⅲ(理学療法)	4前	16	3		3	2			
	リハビリテーション管理学	4後	1		1	1				
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1						1	
	応急処置法	3前	1						1	
	軟部組織治療学	3前	1						1	
	ウイメンズヘルスケア論	3前	1						2	
	災害リハビリテーション	3前	1						2	
	地域リハビリテーション学	2前	1		1					
	地域リハビリテーション学演習	2前	1				1		2	
	研究法	3前	1	1						
	卒業研究Ⅰ	3後	1	6	2	3				
	卒業研究Ⅱ	4通	2	6	2	3				

専門教育科目	神経障害理学療法学	3前	1				1			
	神経障害理学療法学演習	3前	1				1			
	呼吸・循環器障害理学療法学	3前	1	1						
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前	1						2	
	発達障害理学療法学	3後	1				1			
	高齢期障害理学療法学	3後	1	1						
	物理療法学	3前	1	1					1	
	物理療法学演習	3前	1	1					1	
	義肢装具学	3前	1	1		1				
	義肢装具学演習	3前	1	1		1				
	日常生活活動基礎学	3前	1				1			
	神経筋促通治療学	3前	1	1						
	高次脳機能障害学	3後	1						1	
	徒手関節治療学	3後	1						1	
	スポーツ理学療法学	3後	1						1	
	地域理学療法学	3前	1	1			1		2	
	生活環境学	3後	1	1						
	臨床実習Ⅰ(理学療法)	2後	1	3		4	1			
	臨床実習Ⅱ(理学療法)	3後	3	3		5	2			
	臨床実習Ⅲ(理学療法)	4前	16	3		5	2			
	リハビリテーション管理学	4後	1		1	1				
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1						1	
	応急処置法	3前	1						1	
	軟部組織治療学	3前	1						1	
	ウイメンズヘルスケア論	3前	1						2	
	災害リハビリテーション	3前	1						2	
	地域リハビリテーション学	2前	1		1					
	地域リハビリテーション学演習	2前	1				1		2	
	研究法	3前	1		1					
	卒業研究Ⅰ	3後	1	6	2	5				
	卒業研究Ⅱ	4通	2	6	2	5				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
基礎教育科目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								2
	健康とスポーツ	1後		1							2
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前	1								1
	情報科学演習	1前		1					1		
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前		1							1
	生命倫理	1後		1							1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前	1								1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
専門基礎教育科目	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					2			
	解剖学演習(神経)	1後	1								1
	体表解剖学	1前	1					1	1		0
	機能解剖学	1後	1					1			
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1			1		1			
	運動学	2前	4			1					
	運動学演習	2後	1			1			3		
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2後	2								1
	整形外科	2前	2								1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学	2後	2								1
	小児科学	2前	1								1
	障害学特論	2後		2							3
	リハビリテーション論	1後	2			1					
	チーム医療論	3前	1			1					4
専門基礎教育科目	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
	理学療法概論	1前		1							1
	理学療法概論演習	1後		1							1
	理学療法セミナーⅠ	1後		1				1			
	理学療法セミナーⅡ	2後		1				1			
	理学療法セミナーⅢ	3前		1				1			
	理学療法評価学(運動器系)	2通		1				1			1
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通		2					1		1
	理学療法評価学(神経系)	2通		1							2
	理学療法評価学演習(神経系)	2通		2							2
	臨床判断学(基礎編)	2後		1				1			
	臨床判断学(応用編)	3後		1				1			
	運動療法学	2前		1		1					
	運動療法学演習	2後		1				1			
	運動器障害理学療法学	3前		1		1					
	運動器障害理学療法学演習	3前		1							1
	神経障害理学療法学	3前		1				1			

専門教育科目	神経障害理学療法学演習	3前	1			1			
	呼吸・循環器障害理学療法学	3後	1		1				
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前	1						2
	発達障害理学療法学	3後	1			1			
	高齢期障害理学療法学	3後	1		1				
	物理療法学	3前	1		1				1
	物理療法学演習	3前	1		1				1
	義肢装具学	3前	1		1		1		
	義肢装具学演習	3前	1		1		1		
	日常生活活動基礎学	3前	1				1		
	神経筋促進治療学	3後	1		1				
	高次脳機能障害学	3後	1						1
	徒手関節治療学	3後	1						1
	スポーツ理学療法学	3後	1						1
	地域理学療法学	3前	1		1			1	2
	生活環境学	3後	1		1				
	臨床実習Ⅰ(理学療法)	2後	1		3		5	1	
	臨床実習Ⅱ(理学療法)	3後	3		3		5	2	
	臨床実習Ⅲ(理学療法)	4前	16		3		5	2	
	リハビリテーション管理学	4後	1			1	1		
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1						1
	応急処置法	3前	1						2
	軟部組織治療学	3前	1						1
	ウイメンズヘルスケア論	3前	1						2
	災害リハビリテーション	3前	1						2
	地域リハビリテーション学	2前	1			1			
	地域リハビリテーション学演習	2前	1					1	2
	研究法	3前	1		1				
	卒業研究Ⅰ	3後	1		5	2	5		
	卒業研究Ⅱ	4通	2		5	2	5		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1)一②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

物理学について 担当教員の都合により、1後から1前へ配当学期を変更
解剖学演習(骨・筋)について 27年1月教員審査済
機能解剖学について 27年1月教員審査済
生理学演習について 27年1月教員審査済
病理学について 担当教員の都合により、1後から1前へ配当学期を変更
作業療法セミナーⅠについて 27年1月教員審査済
福祉住環境論について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 27年1月教員審査済
地域リハビリテーション学について 27年1月教員審査済
卒業研究Ⅰについて 27年1月教員審査済
卒業研究Ⅱについて 27年1月教員審査済

【平成28年度】

生活と運動について 兼任講師追加(28)
健康とスポーツについて 兼任講師追加(28)
解剖学演習(骨・筋)について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
体表解剖学について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
病理学について 担当教員の都合により、1前から1後へ配当学期を変更(28)
作業療法概論演習について 教員変更(28) 担当 八田達夫(教授) 平成28年3月教員審査中
基礎作業学演習(基礎作業分析)について 兼任講師追加(28)
基礎作業学演習(応用作業分析)について 兼任講師追加(28)
作業療法評価学演習(骨・関節系)について 教員変更(28) 担当 坪田貞子(教授) 平成28年3月教員審査中
作業療法評価学演習(神経・筋力系)について 教員変更(28) 担当 大堀具視(准教授) 平成28年3月教員審査中
日常生活適応学(ADL)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
卒業研究Ⅰについて 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
卒業研究Ⅱについて 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可

【平成29年度】

内科学について 学習効果を高めるため、2前から2後へ配当学期を変更(29)
作業療法概論演習について 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
基礎作業学演習(基礎作業分析)について 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加(29) 担当 合田 央志(助教) H29.03変更書提出済
基礎作業学演習(応用作業分析)について 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加(29) 担当 清本 憲太(助教) H29.03変更書提出済
作業療法評価学演習(骨・関節系)について 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
作業療法評価学演習(神経・筋力系)について 担当科目追加(29) 担当 大堀 具視(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
作業療法評価学演習(中枢神経系)について 担当教員を変更するため、担当科目追加(29) 担当 清本 憲太(助教) H29.03変更書提出済
精神障害作業治療学について 兼任講師変更・追加(29)
高齢期障害作業治療学について 非常勤講師が辞退したため、担当科目追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H29.02 教員審査済 判定 可
義肢装具作業療法学について 学習効果を高めるため、3前から3後へ配当学期を変更(29)
義肢装具作業療法学演習について 学習効果を高めるため、3前から3後へ配当学期を変更(29)
日常生活適応学(ADL)について 澤田雄二教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
作業療法治療学特論(ハンドセラピー)について 非常勤講師が辞退したため、担当科目追加(29) 担当 坪田 貞子(教授) H29.02 教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可 担当教員充実のため、担当科目追加(29) 担当 清本 憲太(助教) H29.03変更書提出済
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
応急処置法について 兼任講師追加(29)
卒業研究Ⅰについて 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
卒業研究Ⅱについて 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可

【平成30年度】

小児科学について 学習効果を高めるため、2前から2後へ配当学期を変更(30)
作業療法評価学演習(骨・関節系)について 教員変更(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
義肢装具作業療法学について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
義肢装具作業療法学演習について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
福祉用具学について 教員変更(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
卒業研究Ⅰについて 清田直恵講師の後任として、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
卒業研究Ⅱについて 清田直恵講師の後任として、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	71 科目	0 科目	103 科目	32 科目 [0]	71 科目 [0]	0 科目 [0]	103 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{135} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地) 運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり		
	校 舎 敷 地	29,831㎡ 8,886㎡ 0㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	29,831㎡ 20,945㎡			
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡			
	小 計	43,541㎡ 22,596㎡ 13,710㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	43,541㎡ 34,655㎡			
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡			
	合 計	46,599㎡ 25,654㎡ 16,768㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡ 37,713㎡			
(2) 校 舎	舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり(校舎の総面積の減少については、体育館及び講堂の面積を除いたためであり、建築等設置計画に変更なし)		
		16,060.03㎡ 11,175.86㎡ 5,167.31㎡	0㎡ 3,179.52㎡	0㎡ 2,463.58㎡	16,060.03㎡ 16,818.96㎡ 10,810.41㎡			
		(5,623.13㎡) (4,273.46㎡) (3,055.87㎡)	(8,630.68㎡) (8,386.92㎡) (4,658.96㎡)	(1,806.22㎡) (4,158.58㎡) (3,095.58㎡)	(16,060.03㎡) (16,818.93㎡) (10,810.41㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	11室	11室	10室	1室 (補助職員0人)	情報処理室と共用 (補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		保健医療学部 リハビリテーション学科		15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	(27)図書、学術雑誌、 機械・器具、標本に変 更あり (28)図書、学術雑誌、 変更あり (29)図書、学術雑誌 (総冊数から種に変 更)、機械・器具に変 更あり (30)図書、学術雑誌、 変更あり
	保健医療学部 リハビリテーション学科	9,140 [237] (8,640[173]) (8,484[172]) (8,789[170]) (8,345[163]) (8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [653] (137[31]) (145[40]) (2,158[695]) (2,006[646]) (1,966 [633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (961) (960)	30 (32) (30)	
	計	9,140 [237] (8,640[173]) (8,484[172]) (8,789[170]) (8,345[163]) (8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [653] (137[31]) (145[40]) (2,158[695]) (2,006[646]) (1,966 [633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (960)	30 (32) (30)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	206.61㎡	50席		14,640冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	556.1㎡	テニスコート1面						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当り 研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,994千円 10,102千円	3,000千円	3,000千円
		共 同 研 究 費 等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	29,520千円 33,438千円	3,383千円 2,000千円	2,000千円
	学生 1 人 当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 学 校 名 称	日 本 医 療 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	理学と作業の合算
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	平成26年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
リハビリテーション学科	4	80	-	320	学士 (リハ・リテラシー学)	0.73	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
理学療法専攻	4	40	-	160	学士 (リハ・リテラシー学)	0.97	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
作業療法専攻	4	40	-	160	学士 (リハ・リテラシー学)	0.49	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
診療放射線学科	4	50	-	200	学士 (診療放射線学)	1.08	平成28年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
大学 学 校 名 称	〇 〇 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	該当なし
	年	人	年次 人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜保健医療論学部 リハビリテーション学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成27年度】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼任	教授 (学長)	テノ リョウ 傳野 隆一 (64) ＜平成27年4月＞ 保健医療論 チーム医療論	兼任	教授 (学長)	テノ リョウ 傳野 隆一 (64) ＜平成27年4月＞ 保健医療論 チーム医療論	兼任	教授 (学長)	テノ リョウ 傳野 隆一 (65) ＜平成27年4月＞ チーム医療論	兼任	教授 (学長)	テノ リョウ 傳野 隆一 (66) ＜平成27年4月＞ チーム医療論	兼任	教授 (学長)	テノ リョウ 傳野 隆一 (71) ＜平成28年4月＞ 保健医療論 内科学
専	教授	イノ キミ 乾 公美 (65) ＜平成27年4月＞ 生理学演習 運動療法 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授 (学長)	イノ キミ 乾 公美 (65) ＜平成27年4月＞ 生理学演習 運動療法 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習Ⅳ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授 (学長)	イノ キミ 乾 公美 (66) ＜平成27年4月＞ 生理学演習 運動療法 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習Ⅳ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授 (学長)	イノ キミ 乾 公美 (67) ＜平成27年4月＞ 生理学演習 運動療法 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習Ⅳ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器管理理学療法 学	専	教授 (学長)	イノ キミ 乾 公美 (68) ＜平成27年4月＞ 生理学演習 運動療法 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 臨床実習Ⅳ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器管理理学療法 学
専	教授	タカハシ ミツコ 高橋 光彦 (63) ＜平成27年4月＞ 運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害管理 学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	タカハシ ミツコ 高橋 光彦 (63) ＜平成27年4月＞ 運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害管理 学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	タカハシ ミツコ 高橋 光彦 (64) ＜平成27年4月＞ 運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害管理 学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	タカハシ ミツコ 高橋 光彦 (65) ＜平成27年4月＞ 運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害管理 学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	タカハシ ミツコ 高橋 光彦 (66) ＜平成27年4月＞ 運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害管理 学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀 (60) ＜平成27年4月＞ リハビリテーション 論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害管理理学療法 学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀 (60) ＜平成27年4月＞ リハビリテーション 論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害管理理学療法 学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀 (61) ＜平成27年4月＞ リハビリテーション 論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害管理理学療法 学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀 (62) ＜平成27年4月＞ リハビリテーション 論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害管理理学療法 学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀 (63) ＜平成27年4月＞ リハビリテーション 論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害管理理学療法 学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	ヤマダ ユウコ 山田 貞子 (69) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 義肢装具作業療法演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	ヤマダ ユウコ 山田 貞子 (69) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 義肢装具作業療法演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	ヤマダ ユウコ 山田 貞子 (70) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 義肢装具作業療法演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (骨・関節系)	専	教授	ヤマダ ユウコ 山田 貞子 (71) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 義肢装具作業療法演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (骨・関節系)	専	教授	ヤマダ ユウコ 山田 貞子 (72) ＜平成27年4月＞ 作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 義肢装具作業療法演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (骨・関節系)
専	教授	ヤマダ ユウコ 山田 雄二 (66) ＜平成27年4月＞ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活応用学(A・D・L) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	ヤマダ ユウコ 山田 雄二 (66) ＜平成27年4月＞ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活応用学(A・D・L) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ									

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 担当授業科目名
専 教授	八田 達夫 (62) ＜平成28年4月＞ 発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シンポジウム) 就労支援作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専 教授	八田 達夫 (62) ＜平成28年4月＞ 発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シンポジウム) 就労支援作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専 教授	八田 達夫 (63) ＜平成28年4月＞ 発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シンポジウム) 就労支援作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法概論演習	専 教授	八田 達夫 (64) ＜平成28年4月＞ 発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シンポジウム) 就労支援作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法概論演習	専 教授	八田 達夫 (65) ＜平成28年4月＞ 発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論 (シンポジウム) 就労支援作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法概論演習
専 准教授	大堀 具規 (47) ＜平成28年4月＞ 作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中核神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学	専 准教授	大堀 具規 (47) ＜平成28年4月＞ 作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中核神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学	専 准教授	大堀 具規 (48) ＜平成28年4月＞ 作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中核神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学 作業療法概論演習 (神経・筋力系)	専 准教授	大堀 具規 (49) ＜平成28年4月＞ 作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中核神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学 作業療法概論演習 (神経・筋力系)	専 准教授	大堀 具規 (50) ＜平成28年4月＞ 作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中核神経障害系) 日常生活応用学(動作分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学 作業療法概論演習 (神経・筋力系)
		専 准教授	早川 宏子 (68) ＜平成27年4月＞ 基礎作業学演習(基礎作業分析) 基礎作業学演習(応用作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーション学 福祉性環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専 准教授	早川 宏子 (68) ＜平成27年4月＞ 基礎作業学演習(基礎作業分析) 基礎作業学演習(応用作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーション学 福祉性環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				
専 講師	石橋 晃仁 (48) ＜平成28年4月＞ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ	専 講師	石橋 晃仁 (48) ＜平成28年4月＞ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ	専 講師	石橋 晃仁 (49) ＜平成27年4月＞ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ	専 講師	石橋 晃仁 (50) ＜平成27年4月＞ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ	専 講師	石橋 晃仁 (51) ＜平成27年4月＞ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション 管理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	シロイ フミ 新開谷 深 (39) <平成27年4月> 体系解剖学 情報科学演習
専	助教	木原 由里子 (35) <平成28年4月> 理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーション学演習
専	助教	合田 央志 (44) <平成27年4月> 作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中樞神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)
専	助教	清本 憲太 (33) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習
兼任	講師	合田 央志 (44) <平成27年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習
兼任	教授	材木 久保 啓男 (71) <平成28年4月> 小児科学
兼任	教授	門間 正子 (59) <平成29年4月> チーム医療論
兼任	教授	林 美枝子 (58) <平成27年4月> 文化人類学
兼任	講師	シロイ フミ 新開谷 深 (39) <平成27年4月> 体系解剖学 情報科学演習
専	助教	木原 由里子 (35) <平成28年4月> 理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーション学演習
専	助教	合田 央志 (44) <平成27年4月> 作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中樞神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)
専	助教	清本 憲太 (33) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習
兼任	講師	合田 央志 (44) <平成27年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習
兼任	教授	門間 正子 (59) <平成29年4月> チーム医療論
兼任	教授	林 美枝子 (58) <平成27年4月> 文化人類学 社会学
兼任	講師	シロイ フミ 新開谷 深 (40) <平成27年4月> 体系解剖学 情報科学演習
専	助教	木原 由里子 (36) <平成28年4月> 理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーション学演習
専	助教	合田 央志 (45) <平成27年4月> 作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中樞神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)
専	助教	清本 憲太 (34) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習
兼任	講師	合田 央志 (45) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習
兼任	教授	門間 正子 (60) <平成29年4月> チーム医療論
兼任	教授	林 美枝子 (59) <平成27年4月> 文化人類学 社会学
兼任	講師	シロイ フミ 新開谷 深 (37) <平成28年4月> 理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーション学演習
専	助教	合田 央志 (46) <平成27年4月> 作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中樞神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 基礎作業学演習(基礎作業学分析)
専	助教	清本 憲太 (35) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(基礎作業学分析) 作業療法評価学演習 (中樞神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)
専	助教	清本 憲太 (36) <平成29年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(基礎作業学分析) 作業療法評価学演習 (中樞神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)
専	講師	松川 直樹 (37) <平成30年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 基礎作業学演習(基礎作業学分析) 基礎作業学演習(基礎作業学分析) 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	教授	門間 正子 (62) <平成29年4月> チーム医療論
兼任	教授	林 美枝子 (61) <平成27年4月> 文化人類学 社会学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	ハセト シゲ 濱本 龍哉 (50) <平成29年4月> 地域理学療法	ハセト シゲ 濱本 龍哉 (50) <平成29年4月> 地域理学療法	ハセト シゲ 濱本 龍哉 (51) <平成29年4月> 地域理学療法	ハセト シゲ 濱本 龍哉 (52) <平成29年4月> 地域理学療法	ハセト シゲ 濱本 龍哉 (53) <平成29年4月> 地域理学療法	ハセト シゲ 濱本 龍哉 (53) <平成29年4月> 地域理学療法
兼任	講師	サカキ アキ 小形 和浩 (50) <平成28年4月> 精神障害作業治療	サカキ アキ 小形 和浩 (50) <平成28年4月> 精神障害作業治療	サカキ アキ 小形 和浩 (51) <平成28年4月> 精神障害作業治療 基礎作業学演習(基礎 作業学演習) 基礎作業学演習(応 用作業学演習)			
					イサノ ノブ 池田 望 (52) <平成29年4月> 精神障害作業治療	イサノ ノブ 池田 望 (53) <平成29年4月> 精神障害作業治療	イサノ ノブ 池田 望 (53) <平成29年4月> 精神障害作業治療
					アノ ヒロ 阿野 仁志 (66) <平成29年4月> 精神障害作業治療	アノ ヒロ 阿野 仁志 (67) <平成29年4月> 精神障害作業治療	アノ ヒロ 阿野 仁志 (67) <平成29年4月> 精神障害作業治療
					ミヅノ マサ 森本 隆文 (34) <平成29年4月> 精神障害作業治療	ミヅノ マサ 森本 隆文 (35) <平成29年4月> 精神障害作業治療	ミヅノ マサ 森本 隆文 (35) <平成29年4月> 精神障害作業治療
兼任	講師	ヤマノ シズ 山田 里見 (44) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (中級神経系)	ヤマノ シズ 山田 里見 (44) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (中級神経系)	ヤマノ シズ 山田 里見 (45) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (中級神経系)	ヤマノ シズ 山田 里見 (46) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (中級神経系)	ヤマノ シズ 山田 里見 (47) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (中級神経系)	ヤマノ シズ 山田 里見 (47) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (中級神経系)
兼任	講師	サキモト ノブ 杉本 典子 (47) <平成27年4月> 基礎作業学演習(応 用作業学演習) 地域作業療法	サキモト ノブ 杉本 典子 (47) <平成27年4月> 基礎作業学演習(応 用作業学演習) 地域作業療法	サキモト ノブ 杉本 典子 (48) <平成27年4月> 基礎作業学演習(応 用作業学演習) 地域作業療法	サキモト ノブ 杉本 典子 (49) <平成27年4月> 基礎作業学演習(応 用作業学演習) 地域作業療法	サキモト ノブ 杉本 典子 (50) <平成27年4月> 基礎作業学演習(応 用作業学演習) 地域作業療法	サキモト ノブ 杉本 典子 (50) <平成27年4月> 基礎作業学演習(応 用作業学演習) 地域作業療法
兼任	講師	イサノ シゲ 池田 保 (39) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	イサノ シゲ 池田 保 (39) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	イサノ シゲ 池田 保 (40) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	イサノ シゲ 池田 保 (41) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	イサノ シゲ 池田 保 (42) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中級神経系)	イサノ シゲ 池田 保 (42) <平成28年4月> 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中級神経系)
兼任	講師	イサノ シゲ 伊藤 香織 (50) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	イサノ シゲ 伊藤 香織 (50) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	イサノ シゲ 伊藤 香織 (51) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	イサノ シゲ 伊藤 香織 (52) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	イサノ シゲ 伊藤 香織 (53) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	イサノ シゲ 伊藤 香織 (53) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)
兼任	講師	カネ マサ 金井 正治 (66) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	カネ マサ 金井 正治 (66) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	カネ マサ 金井 正治 (67) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	カネ マサ 金井 正治 (68) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	カネ マサ 金井 正治 (69) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)	カネ マサ 金井 正治 (69) <平成27年4月> 基礎作業学演習(基礎 作業学演習)
兼任	講師	ヤジマ トシ 矢嶋 俊彦 (72) <平成27年4月> 解剖学 解剖学演習(神経)	ヤジマ トシ 矢嶋 俊彦 (72) <平成27年4月> 解剖学 解剖学演習(神経)	ヤジマ トシ 矢嶋 俊彦 (73) <平成27年4月> 解剖学 解剖学演習(神経)	ヤジマ トシ 矢嶋 俊彦 (74) <平成27年4月> 解剖学 解剖学演習(神経)	ヤジマ トシ 矢嶋 俊彦 (75) <平成27年4月> 解剖学 解剖学演習(神経)	ヤジマ トシ 矢嶋 俊彦 (75) <平成27年4月> 解剖学 解剖学演習(神経)
兼任	講師	フクナ ジョウ 福島 順子 (66) <平成27年4月> 生理学	フクナ ジョウ 福島 順子 (66) <平成27年4月> 生理学				
				イサノ ノブ 一瀬 信雄 (45) <平成28年4月> 生理学	イサノ ノブ 一瀬 信雄 (46) <平成28年4月> 生理学	イサノ ノブ 一瀬 信雄 (47) <平成28年4月> 生理学	イサノ ノブ 一瀬 信雄 (47) <平成28年4月> 生理学
兼任	講師	イトビ ミコ 石飛 進子 (64) <平成27年4月> 哲学 論理学 宗教と思想	イトビ ミコ 石飛 進子 (64) <平成27年4月> 哲学 論理学 宗教と思想	イトビ ミコ 石飛 進子 (65) <平成27年4月> 哲学 論理学 宗教と思想	イトビ ミコ 石飛 進子 (66) <平成27年4月> 哲学 論理学 宗教と思想	イトビ ミコ 石飛 進子 (67) <平成27年4月> 哲学 論理学 宗教と思想	イトビ ミコ 石飛 進子 (67) <平成27年4月> 哲学 論理学 宗教と思想
兼任	講師	カネ マサ 中林 秀和 (66) <平成27年4月> 生物学	カネ マサ 中林 秀和 (66) <平成27年4月> 生物学	カネ マサ 中林 秀和 (67) <平成27年4月> 生物学	カネ マサ 中林 秀和 (68) <平成27年4月> 生物学	カネ マサ 中林 秀和 (69) <平成27年4月> 生物学	カネ マサ 中林 秀和 (69) <平成27年4月> 生物学
兼任	講師	カネ マサ 和田 龍彦 (71) <平成27年4月> 物理学 生活科学 情報科学	カネ マサ 和田 龍彦 (71) <平成27年4月> 物理学 生活科学 情報科学	カネ マサ 和田 龍彦 (72) <平成27年4月> 物理学 生活科学 情報科学	カネ マサ 和田 龍彦 (73) <平成27年4月> 物理学 生活科学 情報科学	カネ マサ 和田 龍彦 (74) <平成27年4月> 物理学 生活科学 情報科学	カネ マサ 和田 龍彦 (74) <平成27年4月> 物理学 生活科学 情報科学

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年 月＞ 担当授業科目名
兼任	講師 石田 ゆき (29) ＜平成27年4月＞ 教育学 教育心理学 人間関係論	兼任	講師 石田 ゆき (29) ＜平成27年4月＞ 教育学 教育心理学 人間関係論	兼任	講師 石田 ゆき (30) ＜平成27年4月＞ 教育学 教育心理学 人間関係論	兼任	講師 石田 ゆき (31) ＜平成27年4月＞ 教育学 教育心理学 人間関係論	兼任	講師 石田 ゆき (32) ＜平成27年4月＞ 教育学 教育心理学 人間関係論
兼任	講師 千葉 卓 (71) ＜平成27年4月＞ 法学	兼任	講師 千葉 卓 (71) ＜平成27年4月＞ 法学	兼任	講師 千葉 卓 (72) ＜平成27年4月＞ 法学	兼任	講師 千葉 卓 (73) ＜平成27年4月＞ 法学	兼任	講師 千葉 卓 (74) ＜平成27年4月＞ 法学
兼任	講師 萩原 裕子 (47) ＜平成27年4月＞ 英語 I	兼任	講師 萩原 裕子 (47) ＜平成27年4月＞ 英語 I	兼任	講師 萩原 裕子 (48) ＜平成27年4月＞ 英語 I	兼任	講師 萩原 裕子 (49) ＜平成27年4月＞ 英語 I	兼任	講師 萩原 裕子 (50) ＜平成27年4月＞ 英語 I
兼任	講師 吉田 昌弘 (34) ＜平成27年4月＞ 生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師 吉田 昌弘 (34) ＜平成27年4月＞ 生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師 吉田 昌弘 (35) ＜平成27年4月＞ 生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師 吉田 昌弘 (36) ＜平成27年4月＞ 生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師 吉田 昌弘 (37) ＜平成27年4月＞ 生活と運動 健康とスポーツ
				兼任	講師 根本めぐみ (52) ＜平成26年4月＞ 生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師 根本めぐみ (53) ＜平成26年4月＞ 生活と運動 健康とスポーツ	兼任	講師 根本めぐみ (54) ＜平成26年4月＞ 生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師 高橋 義徳 (54) ＜平成27年4月＞ 人間発達学	兼任	講師 高橋 義徳 (54) ＜平成27年4月＞ 人間発達学	兼任	講師 高橋 義徳 (55) ＜平成27年4月＞ 人間発達学	兼任	講師 高橋 義徳 (56) ＜平成27年4月＞ 人間発達学	兼任	講師 高橋 義徳 (57) ＜平成27年4月＞ 人間発達学
兼任	講師 藤野 孝己 (47) ＜平成27年4月＞ 病理学	兼任	講師 藤野 孝己 (48) ＜平成27年4月＞ 病理学	兼任	講師 藤野 孝己 (49) ＜平成27年4月＞ 病理学				
						兼任	講師 土橋 恵 (28) ＜平成26年4月＞ 病理学	兼任	講師 土橋 恵 (29) ＜平成26年4月＞ 病理学
兼任	講師 岡部 晋彦 (47) ＜平成27年4月＞ 栄養学	兼任	講師 岡部 晋彦 (47) ＜平成27年4月＞ 栄養学	兼任	講師 岡部 晋彦 (48) ＜平成27年4月＞ 栄養学	兼任	講師 岡部 晋彦 (49) ＜平成27年4月＞ 栄養学	兼任	講師 岡部 晋彦 (50) ＜平成27年4月＞ 栄養学
兼任	講師 近藤 文南 (79) ＜平成28年4月＞ 内科学	兼任	講師 近藤 文南 (79) ＜平成28年4月＞ 内科学	兼任	講師 近藤 文南 (80) ＜平成28年4月＞ 内科学				
兼任	講師 山本 泰雄 (53) ＜平成28年4月＞ 運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法	兼任	講師 山本 泰雄 (53) ＜平成28年4月＞ 運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法	兼任	講師 山本 泰雄 (54) ＜平成28年4月＞ 運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法	兼任	講師 山本 泰雄 (55) ＜平成28年4月＞ 運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法	兼任	講師 山本 泰雄 (56) ＜平成28年4月＞ 運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師 那須 俊一 (66) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 那須 俊一 (66) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 那須 俊一 (67) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 那須 俊一 (68) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 那須 俊一 (69) ＜平成28年4月＞ 障害学特論
兼任	講師 宮下 宗治 (59) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 宮下 宗治 (59) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 宮下 宗治 (60) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 宮下 宗治 (61) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 宮下 宗治 (62) ＜平成28年4月＞ 障害学特論
兼任	講師 小寺 秀一 (51) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 小寺 秀一 (51) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 小寺 秀一 (52) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 小寺 秀一 (53) ＜平成28年4月＞ 障害学特論	兼任	講師 小寺 秀一 (54) ＜平成28年4月＞ 障害学特論
兼任	講師 林 森裕 (64) ＜平成27年4月＞ 社会福祉学	兼任	講師 林 森裕 (64) ＜平成27年4月＞ 社会福祉学	兼任	講師 林 森裕 (65) ＜平成27年4月＞ 社会福祉学	兼任	講師 林 森裕 (66) ＜平成27年4月＞ 社会福祉学	兼任	講師 林 森裕 (67) ＜平成27年4月＞ 社会福祉学
兼任	講師 浅野 友佳子 (40) ＜平成29年4月＞ 高次脳機能障害作業 治療学	兼任	講師 浅野 友佳子 (40) ＜平成29年4月＞ 高次脳機能障害作業 治療学	兼任	講師 浅野 友佳子 (41) ＜平成29年4月＞ 高次脳機能障害作業 治療学	兼任	講師 浅野 友佳子 (42) ＜平成29年4月＞ 高次脳機能障害作業 治療学	兼任	講師 浅野 友佳子 (43) ＜平成29年4月＞ 高次脳機能障害作業 治療学
兼任	講師 鬼塚 久志 (53) ＜平成29年4月＞ 義肢装具作業療法	兼任	講師 鬼塚 久志 (53) ＜平成29年4月＞ 義肢装具作業療法	兼任	講師 鬼塚 久志 (54) ＜平成29年4月＞ 義肢装具作業療法				
						兼任	講師 本道 伸弘 (39) ＜平成29年4月＞ 義肢装具作業療法	兼任	講師 本道 伸弘 (40) ＜平成29年4月＞ 義肢装具作業療法
兼任	講師 端 俊一 (71) ＜平成27年4月＞ 統計学	兼任	講師 端 俊一 (71) ＜平成27年4月＞ 統計学	兼任	講師 端 俊一 (72) ＜平成27年4月＞ 統計学	兼任	講師 端 俊一 (73) ＜平成27年4月＞ 統計学 情報科学 倫理学	兼任	講師 端 俊一 (74) ＜平成27年4月＞ 統計学 情報科学 倫理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	石田 容士 (50) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学
兼任	講師	森谷 繁 (72) <平成27年4月>	環境科学
兼任	講師	山下 浩紀 (51) <平成28年4月>	チーム医療論
兼任	講師	薄井 明 (56) <平成27年4月>	社会学
兼任	講師	今井 由恵 (50) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	栗本 瑞恵 (32) <平成27年4月>	北海道史
兼任	講師	大内 高雄 (66) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	エフ・ブルガツ (51) <平成27年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	赤間 杜太 (31) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	金 昌賢 (41) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	藤田 修靖 (31) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (行動分析)
兼任	講師	池田 智司 (54) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	坂上 真理 (46) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論)
兼任	講師	三宮 孝太 (35) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)
兼任	講師	芹田 馨 (84) <平成28年4月>	応急処置法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	石田 容士 (50) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学
兼任	講師	藤井 博広 (63) <平成27年4月>	環境科学
兼任	講師	山下 浩紀 (51) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	講師	今井 由恵 (50) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	栗本 瑞恵 (32) <平成27年4月>	北海道史
兼任	講師	大内 高雄 (66) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	ディビッド・フレ (42) <平成27年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	赤間 杜太 (31) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	金 昌賢 (41) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	藤田 修靖 (32) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (行動分析)
兼任	講師	池田 智司 (54) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	坂上 真理 (46) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論)
兼任	講師	三宮 孝太 (35) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)
兼任	講師	芹田 馨 (84) <平成29年4月>	応急処置法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	石田 容士 (51) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学
兼任	講師	藤井 博広 (64) <平成27年4月>	環境科学
兼任	講師	山下 浩紀 (52) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	講師	今井 由恵 (51) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	栗本 瑞恵 (33) <平成27年4月>	北海道史
兼任	講師	大内 高雄 (67) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	ディビッド・フレ (43) <平成27年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	赤間 杜太 (32) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	金 昌賢 (42) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	藤田 修靖 (32) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (行動分析)
兼任	講師	池田 智司 (55) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	坂上 真理 (46) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論)
兼任	講師	三宮 孝太 (36) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)
兼任	講師	芹田 馨 (85) <平成29年4月>	応急処置法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	石田 容士 (52) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学
兼任	講師	藤井 博広 (65) <平成27年4月>	環境科学
兼任	講師	山下 浩紀 (53) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	講師	今井 由恵 (52) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	大内 高雄 (68) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	ディビッド・フレ (44) <平成27年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	赤間 杜太 (33) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	金 昌賢 (43) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	池田 智司 (56) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	坂上 真理 (50) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論)
兼任	講師	三宮 孝太 (37) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)
兼任	講師	芹田 馨 (86) <平成29年4月>	応急処置法
兼任	講師	芹田 淳子 (74) <平成29年4月>	応急処置法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	石田 容士 (53) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学
兼任	講師	藤井 博広 (66) <平成27年4月>	環境科学
兼任	講師	山下 浩紀 (54) <平成29年4月>	チーム医療論 ボランティア活動
兼任	講師	今井 由恵 (53) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	大内 高雄 (69) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	ディビッド・フレ (45) <平成27年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	赤間 杜太 (34) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	金 昌賢 (44) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	池田 智司 (57) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	坂上 真理 (51) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論)
兼任	講師	三宮 孝太 (38) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)
兼任	講師	芹田 馨 (87) <平成29年4月>	応急処置法
兼任	講師	芹田 淳子 (75) <平成29年4月>	応急処置法

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>
職名	職名	職名	職名	職名	職名
担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任 講師	久野 研二 (48) <平成28年4月> 地域リハビリテーション学演習※	兼任 講師	久野 研二 (48) <平成28年4月> 地域リハビリテーション学演習※	兼任 講師	久野 研二 (50) <平成28年4月> 地域リハビリテーション学演習※
兼任 講師	尾山 陽平 (36) <平成29年4月> 呼吸リハビリテーション特論	兼任 講師	尾山 陽平 (36) <平成29年4月> 呼吸リハビリテーション特論	兼任 講師	尾山 陽平 (38) <平成29年4月> 呼吸リハビリテーション特論
兼任 講師	横串 寛敏 (64) <平成28年4月> 整形外科学	兼任 講師	横串 寛敏 (64) <平成28年4月> 整形外科学		
				兼任 講師	佐々木浩一 (45) <平成28年4月> 整形外科学
兼任 講師	鈴木 昭治 (67) <平成28年3月> 神経内科学	兼任 講師	鈴木 昭治 (67) <平成28年3月> 神経内科学		
兼任 講師	宮本 重範 (73) <平成29年4月> 軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任 講師	宮本 重範 (73) <平成29年4月> 軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任 講師	宮本 重範 (75) <平成29年4月> 軟部組織治療学 徒手関節治療学
兼任 講師	境 信哉 (48) <平成29年4月> 高次脳機能障害学	兼任 講師	境 信哉 (48) <平成29年4月> 高次脳機能障害学	兼任 講師	境 信哉 (50) <平成29年4月> 高次脳機能障害学
兼任 講師	加藤 新司 (45) <平成29年4月> 代謝・免疫系障害管理 学療法	兼任 講師	加藤 新司 (45) <平成29年4月> 代謝・免疫系障害管理 学療法	兼任 講師	加藤 新司 (47) <平成29年4月> 代謝・免疫系障害管理 学療法
兼任 講師	菅原 啓祐 (38) <平成29年4月> 代謝・免疫系障害管理 学療法	兼任 講師	菅原 啓祐 (38) <平成29年4月> 代謝・免疫系障害管理 学療法	兼任 講師	菅原 啓祐 (40) <平成29年4月> 代謝・免疫系障害管理 学療法
				兼任 講師	明庭 孝喜 (29) <平成30年4月> 代謝・免疫系障害管理 学療法
				兼任 講師	木村 浩一 (不明) <平成30年4月> チーム医療論
				兼任 講師	平地 敬重 (70) <平成30年4月> 小児科学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い乾公美を学科長とした。
- ・石橋晃仁講師の就任予定年月を1年早め、平成27年4月とした。
- ・大堀具視講師の就任予定年月を1年早め、平成28年4月とした。
- ・平成27年4月早川宏子准教授就任。平成27年1月教員審査済。
- ・平成27年4月清田直恵講師就任。平成27年1月教員審査済。
- ・平成27年4月「小児科学」の兼任講師を大久保岩男教授から賀来亨教授に変更。
- ・平成27年4月「環境科学」の兼任講師を森谷繁から藤井博雄に変更。
- ・平成27年4月「社会学」の兼任講師を薄井明講師から林美枝子教授に変更。
- ・平成27年4月「英語Ⅱ」の兼任講師をゼフ・ブルックリンからデビッド・フレナーに変更。
- ・平成27年4月「軟部組織治療学」「徒手関節治療学」の兼任講師を宮本重範に変更。
- ・平成27年4月「高次脳機能障害学」の兼任講師を境信哉に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「代謝・免疫系障害学療法学」の兼任講師として、加藤新司・菅原啓祐を追加。
- ・兼任講師坂上真理の担当科目に「高齢期障害作業療法学」を追加。

【平成28年度】

- ・平成28年4月八田達夫教授就任。平成28年4月教員審査済。
- ・平成28年4月大堀具視准教授就任。平成28年4月教員審査済。
- ・平成28年4月向井康詞講師就任。平成28年1月教員審査済。
- ・平成28年4月西山徹講師就任。平成28年1月教員審査済。
- ・澤田雄二教授就任により「作業療法評価学演習（骨・関節系）」の専任講師を坪田貞子教授に変更。
- ・澤田雄二教授就任により「作業療法概論演習」の専任講師を八田達夫教授に変更。
- ・澤田雄二教授就任により「作業療法評価学演習（神経・筋力系）」の専任講師を大堀具視准教授に変更。
- ・澤田雄二教授就任により「日常生活応用学（ADL）」「臨床実習Ⅰ（作業療法）」「臨床実習Ⅱ（作業療法）」「臨床実習Ⅲ（作業療法）」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任講師を岸上博俊准教授に変更。
- ・平成28年4月「保健医療論」の兼任講師を傳野隆一教授から島本和明教授に変更。
- ・平成28年4月「生理学」の兼任講師を福島順子から一瀬信哉に変更。
- ・平成28年4月「整形外科学」の兼任講師を横串算敏から佐々木浩一に変更。
- ・平成28年4月「神経内科学」の兼任講師を近藤文術から島本和明に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「生活と運動」「健康とスポーツ」の兼任講師として、橋本めぐみを追加。
- ・兼任講師小形和浩の担当科目に「基礎作業学演習（基礎作業分析）」「基礎作業学演習（応用作業分析）」を追加。

【平成29年度】

- ・平成29年4月岸上博俊准教授就任。平成28年8月教員審査済み。
- ・平成29年4月松田智恵講師就任。平成29年2月教員審査済み。
- ・平成29年4月新開谷深助教授就任。平成29年3月変更書提出済。
- ・平成29年4月清水憲太助教就任。平成29年3月変更書提出済。
- ・乾公美教授の担当授業科目に「運動器障害理学療法学」を追加。平成29年2月教員審査済。
- ・坪田貞子教授の担当授業科目に「作業療法評価学演習（骨・関節系）」を追加。平成28年6月教員審査済。
- ・坪田貞子教授の担当授業科目に「作業療法治療学特論（ハンドセラピー）」を追加。平成28年6月教員審査済。
- ・岸上博俊准教授の担当授業科目に「高齢期障害作業療法学」を追加。平成29年2月教員審査済。
- ・岸上博俊准教授の担当授業科目に「作業療法セミナーⅠ」を追加。平成29年3月教員審査済。
- ・大堀具視准教授の担当授業科目に「福祉住環境論」「地域リハビリテーション学」「臨床実習Ⅰ（作業療法）」を追加。平成29年2月教員審査済。
- ・八田達夫教授の担当授業科目に「作業療法概論演習」を追加。平成28年6月教員審査済。
- ・早川宏子准教授就任により「基礎作業学演習（基礎作業分析）」の専任講師を合田央志助教に変更。
- ・早川宏子准教授就任により「基礎作業学演習（応用作業分析）」「作業療法評価学演習（中枢神経系）」「臨床実習Ⅰ（作業療法）」の専任講師を清水憲太助教に変更。
- ・早川宏子准教授就任により「作業療法セミナーⅠ」の専任講師を岸上博俊准教授に変更。
- ・早川宏子准教授就任により「福祉住環境論」「地域リハビリテーション学」の専任講師を大堀具視准教授に変更。
- ・学修効果向上のため、「内科学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・学修効果向上のため、「物理学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・学修効果向上のため、「呼吸・循環器障害理学療法学」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・学修効果向上のため、「神経筋促進治療学」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・学修効果向上のため、「義肢装具作業療法学」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・学修効果向上のため、「義肢装具作業療法学演習」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・平成29年4月「内科学」の兼任講師を近藤文術から島本和明に変更。
- ・平成29年4月「精神障害作業療法学」の兼任講師を小形和浩から池田望・河野仁志・森本隆仁に変更。
- ・平成29年4月「生活科学」の兼任講師を和田龍彦から宮森芳子に変更。
- ・平成29年4月「情報科学」の兼任講師を和田龍彦から端俊一に変更。
- ・平成29年4月「病理学」の兼任講師を藤野雄一から土橋恵に変更。
- ・平成29年4月「義肢装具作業療法学」の兼任講師を鬼塚久志から本道伸弘に変更。
- ・平成29年4月「北海道史」の兼任講師を栗本瑞恵から濱口裕介に変更。
- ・平成29年4月「作業療法治療学特論（行動分析）」の科目名を「作業療法治療学特論（ハンドセラピー）」に変更し、講師を兼任講師藤田修靖から坪田貞子教授（専任）に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「応急処置法」の兼任講師として、岸田洋子を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「神経筋促進治療学」の兼任講師として、太田誠を追加。

【平成30年度】

- ・平成30年4月及川直樹講師就任。平成30年2月教員審査済。
- ・平成30年7月坂口友康助教就任予定。（審査中）
- ・平成30年4月「小児科学」の講師を賀来亨（兼任）から平間敏憲（兼任）に変更。
- ・平成30年4月「チーム医療論」の講師を傳野隆一（兼任）から明庭圭吾（兼任）に変更。
- ・平成30年4月「代謝・免疫系障害理学療法学」の講師を傳野隆一（兼任）から木村浩一（兼任）に変更。
- ・平成30年4月「理学療法評価学（神経系）」「理学療法評価学演習（神経系）」の兼任講師を更科奈保から洪川佳彦に変更。
- ・平成30年4月「ボランティア活動」の兼任講師を大内高雄から山下治紀に変更。
- ・学修効果向上のため、「小児科学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・「義肢装具作業療法学」「義肢装具作業療法学演習」の専任講師を坪田貞子教授から及川直樹講師に変更。
- ・「福祉用具学」の専任講師を八田達夫教授から及川直樹講師に変更。
- ・「作業療法評価学演習（骨・関節系）」の専任講師を岸上博俊准教授から及川直樹講師に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「運動器障害理学療法学」の兼任講師として、清水薫を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「作業療法評価学演習（中枢神経系）」の兼任講師として、池田保を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「物理学」の兼任講師として、端俊一を追加。

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することには出来ません。

・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
6人	1人	2人	4人	13人	5人	2人	5人	4人	16人	5人	2人	5人	4人	16人
(5人)	(1人)	(2人)	(1人)	(9人)						[Δ1人]	[1人]	[3人]	[0人]	[3人]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、
 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上 記（C））の教員 のうち、定年を延 長して採用する教員数
65	3	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C) = $\frac{16}{13} = 123.07\%$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = $\frac{3}{16} = 18.75\%$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	講師	榎室 伸顕	選択	運動療法学演習	①			
			選択	発達障害心理学療法学	①			
			選択	臨床実習Ⅱ（理学療法）	①			
			選択	臨床実習Ⅲ（理学療法）	①			
			必修	卒業研究Ⅰ	①			
			必修	卒業研究Ⅱ	①			
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人		必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
			選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	6 科目	計	6 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	澤田 雄二	選択	作業療法学概論演習	①					
			選択	作業療法科演習（骨・関節系）	①					
			選択	作業療法科演習（神経・筋力系）	①					
			選択	日常生活動作学（ADL）	①					
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①					
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①					
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①					
			必修	卒業研究Ⅰ	①					
			必修	卒業研究Ⅱ	①					
2	准教授	早川 宏子	選択	基礎作業学演習（基礎作業分析）	①					
			選択	基礎作業学演習（応用作業分析）	①					
			選択	作業療法セミナーⅠ	①					
			必修	運動学演習	①					
			必修	地域リハビリテーション学	①					
			選択	福祉住環境論	①					
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①					
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①					
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①					
			必修	卒業研究Ⅰ	①					
			必修	卒業研究Ⅱ	①					
3	講師	清田 直恵	必修	解剖学演習（骨・筋）	①					
			必修	機能解剖学	①					
			必修	生理学演習	①					
			選択	臨床実習Ⅰ（理学療法）	①					
			選択	臨床実習Ⅱ（理学療法）	①					
			選択	臨床実習Ⅲ（理学療法）	①					
			必修	卒業研究Ⅰ	①					
			必修	卒業研究Ⅱ	①					
合 計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人		必修	11 科目	必修	11 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
			選択	17 科目	選択	17 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	28 科目	計	28 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	21 科目	選択	21 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	34 科目	計	34 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{13} = 30.76 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		なし							
合 計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 交代については、やむを得ないと判断し事前相談を行った。
- ・ 学生には担当教員が変更になった旨、周知徹底した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	・専門教育科目における専攻ごとの履修方法について、「教育課程等の概要」の「卒業要件及び履修方法」の欄では必修科目と位置付けられている科目が、「設置の趣旨等を記載した書類」では選択科目と位置付けられているかのように記載され不整合が生じており、学生に混乱を与える可能性がある。そのため、学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの授業科目の必修・選択の区分を整理した上で、学生に対して丁寧な履修指導を行うこと。	留意事項 (27) 学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの教育課程進路表を作成し、シラバスに記載し学生に配布。さらに入学生オリエンテーション及び専攻別オリエンテーションにて学生に対し、科目ごとに必須・選択の説明を行い、加えて履修登録の際には、担任教員が立会い指導を行った。 (28) 27年度と同様の対応を行った。 (29) 28年度と同様の対応を行った。 (30) 29年度と同様の対応を行った。	履行済
	・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項 (27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グランド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のマイクロバスを配置済みである。 (28) 引き続き、教育及び学生の課外活動等に支障のないよう努める。 (29) 28年度と同様に対応した。 (30) 29年度と同様に対応した。	履行済
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項 (27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。 (29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。 (30) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。	未履行

	・教員の補充を必要とされた32授業科目については、開設時又は科目開講時までに教員を配置すること。うち、専任教員の配置を必要とされた28授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	留意事項	(27) 32科目中、兼任教員の4科目については、既に配置済みである。専任教員の28科目について、17科目は、1月の教員審査で既に承認を得ている。また1科目は、同じく1月の教員審査の際に兼任可との返答を得て、既に配置済みである。4科目については、3月に専任教員採用等変更書を提出。残りの6科目については、開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。 (28) 未配置科目6科目中、5科目については、1月の教員審査で既に承認を得ている。残りの1科目については開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。 (29) 全ての科目について、専任教員を配置済。	履行済	
設置計画履行状況調査時 (28年2月)	保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	(28) 平成28年1月12日の執行役員会において「学生募集対策本部」の設置を決議した。 ○設置の目的 専門学校から大学に改組したにもかかわらず入学定員が充足していない。28年度においても定員充足については極めて厳しい状況にある。 質の高い学生を確保するために入学定員の6倍の志願者数をめざし、学生募集戦略の抜本的な見直しを行い、早期に決定して実行することを目的に経営と教学が一体となった「学生募集対策本部」を設置する。 ○メンバー [本部長] 理事長 [副本部長] 学長 [看護学科担当] 学科長 [リハビリテーション学科担当] 学科長 [診療放射線学科担当] 学科長 [大学事務局] 事務局長、広報担当係員2人 (29) 引き続き学生募集対策委員会において、学生確保に努める。 (30) 以下に記載する30年2月に付された改善意見への履行状況のとおりに対応する。	履行済	学生募集対策委員会会議は、過去6回(1/25、2/8、2/17、2/24、3/10、3/18)開催しており、今後も次の事項について継続して検討・実行していく計画である。 ○検討事項 1 学生の確保に関する事項 ① 学生確保に関する基本方針に関する事項 ② 学生募集要項に関する事項 ③ 学生募集に関わる調査及び研究等に関する事項 ④ その他学生の確保に関する事項 2 広報に関する事項 ① 学生募集に係る広報活動に関する事項 ② 各種メディアを利用した広報活動に関する事項 ③ ホームページの企画及び作成に関する事項 ④ 大学案内等の企画及び作成に関する事項 ⑤ その他の広報活動に関する事項 3 適正な入学定員に関する事項

	保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。 (30) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。	未履行	(28) 今回、リハビリテーション学科設置に伴う定年延長の特別措置は、あくまでも例外的な措置であり、定年年齢(65)を超えて採用した専任教員(以下A教員という。)及び採用後4年以内に定年年齢を迎える専任教員(以下B教員という。)については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。 上記特例措置の該当教員については、A教員の該当者は4人、B教員の該当者は2人いる。特例期間が満了する前に教員を補充する計画であり、任用に当たっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮し、教員任用規程に基づいて計画的に進める。																																																
設置計画履行状況調査時 (29年2月)	保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	(29) 現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。(職位はH29.5.1現在、年齢はH30.3.31現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>教授</th><th>准教授</th><th>講師</th><th>助教</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30～39</td><td></td><td></td><td>3</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr> <td>40～49</td><td></td><td>1</td><td></td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr> <td>50～59</td><td></td><td>1</td><td>2</td><td></td><td>3</td></tr> <tr> <td>60～64</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr> <td>65～69</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr> <td>70以上</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr> <td>計</td><td>5</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>16</td></tr> </tbody> </table> 。教員組織編成の将来構想は、退職する教授の後任には、教員任用規程に基づき学内の准教授を教授に昇任するほか、年齢構成を考慮し、50歳代の教授職を公募により採用する。後任の教員の採用に当たっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。また、今後も、FDを強化し教員の育成、特に若年の助教、講師の育成に努める。 (30) 29年度と同様に対応した。		教授	准教授	講師	助教	計	30～39			3	2	5	40～49		1		2	3	50～59		1	2		3	60～64	1				1	65～69	3				3	70以上	1				1	計	5	2	5	4	16	未履行	
	教授	准教授	講師	助教	計																																																
30～39			3	2	5																																																
40～49		1		2	3																																																
50～59		1	2		3																																																
60～64	1				1																																																
65～69	3				3																																																
70以上	1				1																																																
計	5	2	5	4	16																																																

設置計画履行状況調査時 (30年2月)	保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	(30) 平成28年1月に設置された「学生募集対策委員会」より全教職員に対し、定員充足に向けた全学的な協力体制の取り組み（高校訪問の実施等）について指示があった。特に学生募集・入試グループに対しては、以下のとおり具体的な事項が示された。 ①教職員一体となった高校訪問の早期実施 ②リハビリテーション学科に特化した高校訪問の早期実施 ③「オープンキャンパス」および「一日体験入学」の企画内容について、学生スタッフの意見を取り込みながら充実を図る ④受験生対象保護者説明会の回数および企画内容の充実 ⑤TVコマーシャルの放映回数を大幅に増やす ⑥推薦入試（後期）日程を導入 ⑦大学入試センター試験利用入試（前期・後期）を新設導入	履行済	
--------------------------------	---	-------------	---	------------	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 ・一般入学試験 ・推薦入学試験	① ・平成29年度入学試験（平成29年4月入学生）はA0入学試験を2回実施。 ・平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）からA0入学試験を1回実施。 ・平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、大学入試センター試験利用入学試験を導入。 ・平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、一般入学試験および大学入試センター試験利用入学試験において、3学科併願可能な入学試験を実施。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 - a 委員会の設置状況 ・FD委員会 - 看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・第1回FD委員会 平成29年 6月15日（教員7人、事務職員1人） ・第2回FD委員会 平成30年 1月23日（教員7人、事務職員1人） - c 委員会の審議事項等 ・学生による授業評価アンケートの改訂について ・学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施について ・教育課程の検討について ・教員研修会の実施及び授業方法の開発について	② 実施状況 - a 実施内容 ・学生による授業評価アンケートの改訂 診療放射線学科開設に伴い、これまで看護学科・リハ学科で作成した授業評価アンケート（講義・演習用）と（実習用）の様式について各学科で継続して見直しを行った。 ・学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施 授業評価に関しては、各科目の講義の最終回に実施した。実施方法は科目担当教員がアンケート用紙を配付し、学生が記入後、事務職員が回収にあたるか、または学生がボックスに投函した。集計結果は、各科目担当者に項目ごとの平均値・全平均値・自由記述部分を返却し、あわせて、全科目集計表を添付し、授業改善の参考としてもらうようはたらきかけた。また、全科目集計表・必修選択科目集計表・基礎教育—専門基礎教育—専門教育科目等、グループごとの集計表とそのグラフを真栄キャンパス・恵み野キャンパス、それぞれに掲示し、学生が授業評価アンケートの結果を閲覧できるようにした。各科目担当教員に授業評価アンケートの集計および自由記述結果を返却し、より良い授業構築へとつながった。 さらに、今年度から各教員からはその内容を受け今後の教育にどう反映させるかを書面（電子データ）で提出してもらい、提出されたものは学生にも公開し、各教員、学生間の双方の意見交流の機会とし、より良い授業構築へとつながった。 看護学科は3年間授業を行なった中で変更や追加が望ましい部分等を加味し、2019年度以降の新カリキュラム再編へ話し合いを行った。FD委員会ではカリキュラム検討会の推移を見守った。 ・教員研修会の実施及び授業方法の開発 教員研修会に関しては、平成29年度は魅力あるシラバスの作成に関する学習会を実施した。 平成29年8月1日（火）14：00～16：00 参加者は公務で不在の教員を除き、全教員の参加があった。研修内容、時期、場所、所要時間について参加者にアンケートを実施した結果、有意義な研修であったという意見が多かった。 - b 実施方法 上記の実施内容に沿って適切に実施。 - c 開催状況（教員の参加状況含む） 2回の教員研修はいずれも公務で不在の教員を除き、全教員の参加があった。
--	---

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度（前期・後期）も専任教員科目については継続して学生へのフィードバックを実施することとした。

授業評価アンケート結果に対する科目責任者から学生へのフィードバック（100字から300字以内）について、統一のフォーマットにコメントを掲載し、学生ポータルサイトにPDFで掲載する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無および実施時期

・ 学期ごとに実施 前期 7～8月 後期 1～2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・ 学内掲示板及び学生用ポータルサイトでアンケート結果及び学生コメントへのフィードバックを行っている。

前期分：9月 後期分：翌年度の4月

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科及び診療放射線学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。看護学科は平成29年度が開設後4年目、リハビリテーション学科は設置後3年目、診療放射線学科は設置後2年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、自己点検評価委員会は平成26年度に設置され、平成27年度から活動を始め種々の自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

・ 本学においては、日本医療大学年報という名称で自己点検評価報告書を作成し、ホームページには当該年度の翌年下半期に掲載している。

b 公表方法

・ 本学ホームページに公表している。

③ 認証評価を受ける計画

・ 平成31年度に日本高等教育評価機構の認証を受審するべく準備を進めている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ） ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 30 年 8 月 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人日本医療大学

(2) 大 学 名

日本医療大学

(3) 大学の位置

〒061-1373

北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号

(〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツシマ ノリアキ) 対 馬 徳 昭 (平成5年4月)		
学長代行	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年4月)	(30) 傳野学長が平成30年3月31日に退任のため、島本総長が学長を代行
学 部 長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年4月)	(30) 傳野学長が平成30年3月31日に退任のため、島本総長が学部長を代行
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 公 美 (平成27年4月)	(27) 設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合（平成30年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻 学士 (リハビリテーション学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	4年	40人	—	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (—) [—]	—	40人 (—) [—]	—	40人 (—) [—]	—	40人 (—) [—]	—	0.49倍	
志願者数	22人 (—) [—]	—	45人 (—) [—]	—	31人 (—) [—]	—	180 (—) [—]	—		
受験者数	22人 (—) [—]	—	45 (—) [—]	—	31人 (—) [—]	—	173 (—) [—]	—		
合格者数	22人 (—) [—]	—	39人 (—) [—]	—	28人 (—) [—]	—	162 (—) [—]	—		
B 入学者数	22人 (—) [—]	—	26人 (—) [—]	—	13人 (—) [—]	—	25 (—) [—]	—		
入学定員超過率 B/A	0.37倍		0.65倍		0.32倍		0.62倍			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	15人 [-] (-)	- [-] (-)	26人 [-] (-)	- [-] (-)	13人 [-] (-)	- [-] (-)	26人 [-] (1人)	- [-] (-)	
2年次			15人 [-] (-)	- [-] (-)	26人 [-] (1人)	- [-] (-)	11人 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					14人 [-] (-)	- [-] (-)	24人 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							13人 [-] (-)	- [-] (-)	
計							74人 [-] (1人)	- [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成27年度	15 人	0 人	平成27年度	0 人	- 人	
平成28年度	41 人	1 人	平成27年度	0 人	- 人	
			平成28年度	1 人	- 人	一身上の都合(1人)
平成29年度	53 人	4 人	平成27年度	1 人	- 人	一身上の都合(1人)
			平成28年度	1 人	- 人	進路変更(1人)
			平成29年度	2 人	- 人	一身上の都合(2人)
平成30年度	74 人	0 人	平成27年度	0 人	- 人	
			平成28年度	0 人	- 人	
			平成29年度	0 人	- 人	
			平成30年度	0 人	- 人	
合 計	183 人	5 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国入学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{41} = \boxed{2.43} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{53} = 7.54\%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{74} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育 科目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1後		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								1
	健康とスポーツ	1後		1							1
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前		1							1
	情報科学演習	1前		1					1		1
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前		1							1
	生命倫理	1後		1							1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前		1							1
	英語 I	1前		1							1
	英語 II	1後		1							1
	英語 III	2前		1							1
	英語 IV	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
専門 基礎 教育 科目	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2								1
	解剖学演習(神経)	1後									1
	体表解剖学	1前	1								1
	機能解剖学	1後	1								1
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1			1					1
	運動学	2前	4			1					1
	運動学演習	2後	1			1			3		1
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2前		2							1
	整形外科	2前		2							1
	神経内科学	2前		2							1
	精神医学	2後		2							1
	小児科学	2前		1							1
	障害学特論	2後		2							3
	リハビリテーション論	1後	2			1					1
	チーム医療論	3前		1		1					4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育 科目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								2
	健康とスポーツ	1後		1							2
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前		1							1
	情報科学演習	1前		1					1		1
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前		1							1
	生命倫理	1後		1							1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前		1							1
	英語 I	1前		1							1
	英語 II	1後		1							1
	英語 III	2前		1							1
	英語 IV	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
専門 基礎 教育 科目	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2						2		1
	解剖学演習(神経)	1後									1
	体表解剖学	1前	1					1	1		0
	機能解剖学	1後	1					1			1
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1			1					1
	運動学	2前	4			1					1
	運動学演習	2後	1			1			3		1
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2前		2							1
	整形外科	2前		2							1
	神経内科学	2前		2							1
	精神医学	2後		2							1
	小児科学	2後		1							1
	障害学特論	2後		2							3
	リハビリテーション論	1後	2			1					1
	チーム医療論	3前		1		1					4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3

専 門 教 育 科 目	作業療法概論	1前	1	1			
	作業療法概論演習	1後	1	1		1	
	基礎作業学演習 (基礎作業分析)	1前	1				2
	基礎作業学演習 (応用作業分析)	1後	1				1
	作業療法セミナーⅠ	1後	1				
	作業療法セミナーⅡ	2後	1	1			
	作業療法セミナーⅢ	3前	1		1		
	作業療法評価学	2前	1	1			
	作業療法評価学演習 (基礎評価)	2前	1			1	1
	作業療法評価学演習 (骨・関節系)	2前	1	1		1	1
	作業療法評価学演習 (神経・筋力系)	2後	2	1		2	1
	作業療法評価学演習 (中枢神経系)	2後				1	1
	身体障害作業治療学 (中枢神経障害系)	3通	2		1		
	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害系)	3前	1	1			1
	精神障害作業治療学	3通	2				1
	発達障害作業治療学	3通	2	1			
	高齢期障害作業治療学	3通	2				1
	高次脳機能障害作業治療学	3前	1				1
	義肢装具作業治療学	3前	1	1			1
	義肢装具作業治療学演習	3前	1	1			1
	日常生活適応学(ADL)	3前	2	1			
	日常生活適応学(動作分析)	3後	2		1		
	福祉用具学	3後	1	1			
	就労支援作業治療学	3後	1	1			
	作業療法治療学特論 (治療理論)	3後	1				1
	作業療法治療学特論 (シーティング)	3後	1	1			
	作業療法治療学特論 (行動分析)	3後	1				1
	地域作業療法学	3前	1				1
	福祉住環境論	3後	1				
	臨床実習Ⅰ(作業療法)	2後	2	3		1	
臨床実習Ⅱ(作業療法)	3後	3	3		2		
臨床実習Ⅲ(作業療法)	4前	16	3		2		
リハビリテーション管理学	4後	1		1	1		
呼吸リハビリテーション特論	3後	1				1	
応急処置法	3前	1				1	
軟部組織治療学	3前	1				1	
ウイメンズヘルスケア論	3前	1				2	
災害リハビリテーション	3前	1				2	
地域リハビリテーション学	2前	1					
地域リハビリテーション学演習	2前	1			1	2	
研究法	3前	1	1				
卒業研究Ⅰ	3後	1	6				
卒業研究Ⅱ	4通	2	6				

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	
基礎教育科目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								1
	健康とスポーツ	1後		1							1
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前	1								1
	情報科学演習	1前		1					1		1
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前	1								1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
専門基礎教育科目	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2				1				1
	解剖学演習(神経)	1後	1								1
	体表解剖学	1前	1								1
	機能解剖学	1後	1				1				1
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1			1		1			1
	運動学	2前	4			1					1
	運動学演習	2後	1			1			3		1
	病理学	1前	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2前		2							1
	整形外科	2前		2							1
	神経内科学	2前		2							1
	精神医学	2後		2							1
	小児科学	2前		1							1
	障害学特論	2後		2						3	1
基礎教育科目	リハビリテーション論	1後	2			1					1
	チーム医療論	3前	1			1					4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
	作業療法概論	1前		1		1					1
	作業療法概論演習	1後		1		1			1		1
	基礎作業学演習(基礎作業分析)	1前		1					1		3
	基礎作業学演習(応用作業分析)	1後		1					1		2
	作業療法セミナーⅠ	1後		1		1					1
	作業療法セミナーⅡ	2後		1		1					1
	作業療法セミナーⅢ	3前		1		1			1		1
	作業療法評価学	2前		1		1					1
	作業療法評価学演習(基礎評価)	2前		1					1		1
	作業療法評価学演習(骨・関節系)	2前		1		1			1		1
	作業療法評価学演習(神経・筋力系)	2後		2		1			2		1
	作業療法評価学演習(中枢神経系)	2後		2					1		1
基礎教育科目	身体障害者作業治療学(中枢神経障害系)	3通		2		1			1		1
	身体障害者作業治療学(運動器・内部障害系)	3前		1		1					1

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	
基礎教育科目	心理学	1 2	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								2
	健康とスポーツ	1後		1							2
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前	1								1
	情報科学演習	1前		1					1		1
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前	1								1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
専門基礎教育科目	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					2			1
	解剖学演習(神経)	1後	1								1
	体表解剖学	1前	1					1			1
	機能解剖学	1後	1					1			1
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1			1		1			1
	運動学	2前	4			1					1
	運動学演習	2後	1			1			3		1
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2前		2							1
	整形外科	2前		2							1
	神経内科学	2前		2							1
	精神医学	2後		2							1
	小児科学	2前		1							1
	障害学特論	2後		2						3	1
基礎教育科目	リハビリテーション論	1後	2			1					1
	チーム医療論	3前	1			1					4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
	作業療法概論	1前		1		1					1
	作業療法概論演習	1後		1		1			1		1
	基礎作業学演習(基礎作業分析)	1前		1					1		3
	基礎作業学演習(応用作業分析)	1後		1					1		2
	作業療法セミナーⅠ	1後		1		1					1
	作業療法セミナーⅡ	2後		1		1					1
	作業療法セミナーⅢ	3前		1		1			1		1
	作業療法評価学	2前		1		1					1
	作業療法評価学演習(基礎評価)	2前		1					1		1
	作業療法評価学演習(骨・関節系)	2前		1		1			1		1
	作業療法評価学演習(神経・筋力系)	2後		2		0		1	2		1
	作業療法評価学演習(中枢神経系)	2後		2					1		1
基礎教育科目	身体障害者作業治療学(中枢神経障害系)	3通		2		1			1		1
	身体障害者作業治療学(運動器・内部障害系)	3前		1		1					1

専門教育科目	精神障害作業治療学	3通	2						1
	発達障害作業治療学	3通	2	1					
	高齢期障害作業治療学	3通	2						1
	高次脳機能障害作業治療学	3前	1						1
	義肢装具作業療法学	3前	1	1					1
	義肢装具作業療法学演習	3前	1	1					
	日常生活適応学 (ADL)	3前	2	1					
	日常生活適応学 (動作分析)	3後	2		1				
	福祉用具学	3後	1	1					
	就労支援作業療法学	3後	1	1					
	作業療法治療学特論 (治療理論)	3後	1						1
	作業療法治療学特論 (シーティング)	3後	1	1					
	作業療法治療学特論 (行動分析)	3後	1						1
	地域作業療法学	3前	1						1
	福祉住環境論	3後	1		1				
	臨床実習Ⅰ (作業療法)	2後	2	3	1			1	
	臨床実習Ⅱ (作業療法)	3後	3	3	2			2	
	臨床実習Ⅲ (作業療法)	4前	16	3	2			2	
	リハビリテーション管理学	4後	1		1	1			
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1						1
	応急処置法	3前	1						1
	軟部組織治療学	3前	1						1
	ウィメンズヘルスケア論	3前	1						2
	災害リハビリテーション	3前	1						2
	地域リハビリテーション学	2前	1		1				
	地域リハビリテーション学演習	2前	1					1	2
	研究法	3前	1		1				
	卒業研究Ⅰ	3後	1		6	2	3		
	卒業研究Ⅱ	4通	2		6	2	3		

専門教育科目	精神障害作業治療学	3通	2						1
	発達障害作業治療学	3通	2	1					
	高齢期障害作業治療学	3通	2						1
	高次脳機能障害作業治療学	3前	1						1
	義肢装具作業療法学	3前	1	1					1
	義肢装具作業療法学演習	3前	1	1					
	日常生活適応学 (ADL)	3前	2	1					
	日常生活適応学 (動作分析)	3後	2		1				
	福祉用具学	3後	1	1					
	就労支援作業療法学	3後	1	1					
	作業療法治療学特論 (治療理論)	3後	1						1
	作業療法治療学特論 (シーティング)	3後	1	1					
	作業療法治療学特論 (行動分析)	3後	1						1
	地域作業療法学	3前	1						1
	福祉住環境論	3後	1		1				
	臨床実習Ⅰ (作業療法)	2後	2	3	2			1	
	臨床実習Ⅱ (作業療法)	3後	3	3	2			2	
	臨床実習Ⅲ (作業療法)	4前	16	3	2			2	
	リハビリテーション管理学	4後	1		1	1			
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1						1
	応急処置法	3前	1						1
	軟部組織治療学	3前	1						1
	ウィメンズヘルスケア論	3前	1						2
	災害リハビリテーション	3前	1						2
	地域リハビリテーション学	2前	1		1				
	地域リハビリテーション学演習	2前	1					1	2
	研究法	3前	1		1				
	卒業研究Ⅰ	3後	1		6	2	5		
	卒業研究Ⅱ	4通	2		6	2	5		

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	心理学	1前	1								1
	発達心理学	1後		1							1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生活科学	1後		1							1
	環境科学	1前		1							1
	生活と運動	1後	1								2
	健康とスポーツ	1後		1							2
	統計学	1後		1							1
	情報科学	1前	1								1
	情報科学演習	1前		1					1		
	人間発達学	2後	2								1
	倫理学	1前	1								1
	生命倫理	1後	1								1
	哲学	1後		1							1
	論理学	1前		1							1
	宗教と思想	2前		1							1
	人間関係論	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	社会学	1後		1							1
	音楽	2後		1							1
	法学	1前		1							1
	教育学	1前		1							1
	北海道史	1前		1							1
	ボランティア活動	2後		1							1
	日本語表現	1前	1								1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅳ	3前		1							1
	中国語	1後		1							1
	韓国語	2前		1							1
専門基礎教育科目	解剖学	1前	4								1
	解剖学演習(骨・筋)	1前	2					2			
	解剖学演習(神経)	1後	1								1
	体表解剖学	1前	1					1	1		0
	機能解剖学	1後	1					1			
	生理学	1前	4								1
	生理学演習	2前	1		1			1			
	運動学	2前	4		1						
	運動学演習	2後	1		1				3		
	病理学	1後	2								1
	栄養学	1前		2							1
	臨床心理学	2前		2							1
	カウンセリング論	2後		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	内科学	2後	2								1
	整形外科	2前	2								1
	神経内科学	2前	2								1
	精神医学	2後	2								1
	小児科学	2前	1								1
	障害学特論	2後		2							3
	リハビリテーション論	1後	2		1						
	チーム医療論	3前	1		1						4
	保健医療論	2後		1							1
	社会福祉学	1後		1							1
	健康政策論	4後		1							3
	作業療法概論	1前		1		1					
	作業療法概論演習	1後		1		1	1		1		
	基礎作業学演習(基礎作業分析)	1前		1			0		1		3
	基礎作業学演習(応用作業分析)	1後		1			0		1		2
	作業療法セミナーⅠ	1後		1			1				
	作業療法セミナーⅡ	2後		1		1					
	作業療法セミナーⅢ	3前		1			1				
	作業療法評価学	2前		1		1					
	作業療法評価学演習(基礎評価)	2前		1					1		1
	作業療法評価学演習(骨・関節系)	2前		1		1	1		1		1
	作業療法評価学演習(神経・筋力系)	2後		2		0	2		2		1
	作業療法評価学演習(中枢神経系)	2後		2					2		1
	身体障害作業治療学(中枢神経障害系)	3通		2			1				

専 門 教 育 科 目	身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系)	3前	1		1				1
	精神障害者作業治療学	3通	2						3
	発達障害者作業治療学	3通	2		1				
	高齢期障害者作業治療学	3通	2			1			0
	高次脳機能障害者作業治療学	3前	1						1
	義肢装具作業療法	3後	1		1				1
	義肢装具作業療法演習	3後	1		1				
	日常生活適応学 (ADL)	3前	2		0	1			
	日常生活適応学 (動作分析)	3後	2			1			
	福祉用具学	3後	1		1				
	就労支援作業療法	3後	1		1				
	作業療法治療学特論 (治療理論)	3後	1						1
	作業療法治療学特論 (シーティング)	3後	1		1				
	作業療法治療学特論 (ハンドセラピー)	3後	1		1				0
	地域作業療法	3前	1						1
	福祉住環境論	3後	1			1			
	臨床実習Ⅰ (作業療法)	2後	2		2	2		2	
	臨床実習Ⅱ (作業療法)	3後	3		2	2		2	
	臨床実習Ⅲ (作業療法)	4前	16		2	2		2	
	リハビリテーション管理学	4後	1			1	1		
	呼吸リハビリテーション特論	3後	1						1
	応急処置法	3前	1						2
	軟部組織治療学	3前	1						1
	ウイメンズヘルスケア論	3前	1						2
	災害リハビリテーション	3前	1						2
	地域リハビリテーション学	2前	1			1			
	地域リハビリテーション学演習	2前	1					1	2
	研究法	3前	1		1				
	卒業研究Ⅰ	3後	1		5	2	5		
	卒業研究Ⅱ	4通	2		5	2	5		

- (注)・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - ・その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1)一②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

物理学について 担当教員の都合により、1後から1前へ配当学期を変更
解剖学演習(骨・筋)について 27年1月教員審査済
機能解剖学について 27年1月教員審査済
生理学演習について 27年1月教員審査済
病理学について 担当教員の都合により、1後から1前へ配当学期を変更
作業療法セミナーⅠについて 27年1月教員審査済
福祉住環境論について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 27年1月教員審査済
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 27年1月教員審査済
地域リハビリテーション学について 27年1月教員審査済
卒業研究Ⅰについて 27年1月教員審査済
卒業研究Ⅱについて 27年1月教員審査済

【平成28年度】

生活と運動について 兼任講師追加(28)
健康とスポーツについて 兼任講師追加(28)
解剖学演習(骨・筋)について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
体表解剖学について 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
病理学について 担当教員の都合により、1前から1後へ配当学期を変更(28)
作業療法概論演習について 教員変更(28) 担当 八田達夫(教授) 平成28年3月教員審査中
基礎作業学演習(基礎作業分析)について 兼任講師追加(28)
基礎作業学演習(応用作業分析)について 兼任講師追加(28)
作業療法評価学演習(骨・関節系)について 教員変更(28) 担当 坪田貞子(教授) 平成28年3月教員審査中
作業療法評価学演習(神経・筋力系)について 教員変更(28) 担当 大堀具視(准教授) 平成28年3月教員審査中
日常生活適応学(ADL)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 教員変更(28) 担当 岸上博俊(教授) 平成28年3月教員審査中
卒業研究Ⅰについて 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可
卒業研究Ⅱについて 教員追加(28) 担当 向井康詞(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可 担当 西山徹(講師) 平成28年1月教員審査済 判定可

【平成29年度】

内科学について 学習効果を高めるため、2前から2後へ配当学期を変更(29)
作業療法概論演習について 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
基礎作業学演習(基礎作業分析)について 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加(29) 担当 合田 央志(助教) H29.03変更書提出済
基礎作業学演習(応用作業分析)について 早川宏子准教授の後任として、担当科目追加(29) 担当 清本 憲太(助教) H29.03変更書提出済
作業療法評価学演習(骨・関節系)について 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
作業療法評価学演習(神経・筋力系)について 担当科目追加(29) 担当 大堀 具視(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
作業療法評価学演習(中枢神経系)について 担当教員を変更するため、担当科目追加(29) 担当 清本 憲太(助教) H29.03変更書提出済
精神障害作業治療学について 兼任講師変更・追加(29)
高齢障害作業治療学について 非常勤講師が辞退したため、担当科目追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H29.02 教員審査済 判定 可
義肢装具作業療法学について 学習効果を高めるため、3前から3後へ配当学期を変更(29)
義肢装具作業療法学演習について 学習効果を高めるため、3前から3後へ配当学期を変更(29)
日常生活適応学(ADL)について 澤田雄二教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
作業療法治療学特論(ハンドセラピー)について 非常勤講師が辞退したため、担当科目追加(29) 担当 坪田 貞子(教授) H29.02 教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可 担当教員充実のため、担当科目追加(29) 担当 清本 憲太(助教) H29.03変更書提出済
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
応急処置法について 兼任講師追加(29)
卒業研究Ⅰについて 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可
卒業研究Ⅱについて 澤田教授・早川准教授の後任として、教員追加(29) 担当 岸上 博俊(准教授) H28.08 教員審査済 判定 可

【平成30年度】

小児科学について 学習効果を高めるため、2前から2後へ配当学期を変更(30)
作業療法評価学演習(骨・関節系)について 教員変更(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
義肢装具作業療法学について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
義肢装具作業療法学演習について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
福祉用具学について 教員変更(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅰ(作業療法)について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅱ(作業療法)について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
臨床実習Ⅲ(作業療法)について 担当教員充実のため、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
卒業研究Ⅰについて 清田直恵講師の後任として、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可
卒業研究Ⅱについて 清田直恵講師の後任として、教員追加(30) 担当 及川直樹(講師) 平成30年1月教員審査済 判定 可

- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	68 科目	0 科目	100 科目	32 科目 [0]	68 科目 [0]	0 科目 [0]	100 科目 [0]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, []内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{135} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地) 運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり
	校 舎 敷 地	29,831㎡ 8,886㎡ 0㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	29,831㎡ 20,945㎡	
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡	
	小 計	43,541㎡ 22,596㎡ 13,710㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	43,541㎡ 34,655㎡	
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡	
	合 計	46,599㎡ 25,654㎡ 16,768㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡ 37,713㎡	
(2) 校 舎	専 用	16,060.03㎡ 11,175.86㎡ 5,167.31㎡	0㎡ 3,179.52㎡	0㎡ 2,463.58㎡	16,060.03㎡ 16,818.96㎡ 10,810.41㎡	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり(校舎の総面積の減少については、体育館及び講堂の面積を除いたためであり、建築等設置計画に変更なし)
		(5,623.13㎡) (4,273.46㎡) (3,055.87㎡)	(8,630.68㎡) (8,386.92㎡) (4,658.96㎡)	(1,806.22㎡) (4,158.58㎡) (3,095.58㎡)	(16,060.03㎡) (16,818.93㎡) (10,810.41㎡)	
(3) 教 室 等	講 義 室	11室	11室	10室	1室 (補助職員0人)	語学学習施設 情報処理室と共用 (補助職員0人)
	演 習 室					
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数	
		保健医療学部 リハビリテーション学科			15 室	
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点
	保健医療学部 リハビリテーション学科	9,140 [237] (8,640[173]) (8,484[172]) (8,789[170]) (8,345[163]) (8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [653] (137[31]) (145[40]) (2,158[695]) (2,006[646]) (1,966 [633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (961) (960)
	計	9,140 [237] (8,640[173]) (8,484[172]) (8,789[170]) (8,345[163]) (8,330 [157])	(145[40]) 2,011 [653] (137[31]) (145[40]) (2,158[695]) (2,006[646]) (1,966 [633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (962) (960)
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数	
		206.61㎡	50席		14,640冊	
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			
		556.1㎡	テニスコート1面			

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	9,994千円 ~~10,102千円~~	3,000千円	3,000千円
		共 同 研 究 費 等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	29,520千円 ~~33,438千円~~	3,383千円 ~~2,000千円~~	2,000千円
	学生 1 人 当り納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称		日 本 医 療 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	理 学 と 作 業 の 合 算
保健医療学部	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	平成26年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
リハビリテーション学科	4	80	-	320	学士 (リハビリテーション学)	0.73	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.97	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.49	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
診療放射線学科	4	50	-	200	学士 (診療放射線学)	1.08	平成28年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
大学 の 名 称		〇 〇 短 期 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	該 当 な し
	年	人	年次 人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜保健医療論学部 リハビリテーション学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成27年度】		【平成28年度】		【平成29年度】		【平成30年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年 月＞	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年 月＞	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年 月＞	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年 月＞	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年 月＞
兼任	教授 (学長) 藤野 隆一 (64) ＜平成27年4月＞	兼任	教授 (学長) 藤野 隆一 (64) ＜平成27年4月＞	兼任	教授 (学長) 藤野 隆一 (65) ＜平成27年4月＞	兼任	教授 (学長) 藤野 隆一 (66) ＜平成27年4月＞	兼任	教授 (学長) 藤野 隆一 (66) ＜平成27年4月＞
	保健医療論 チーム医療論		保健医療論 チーム医療論		チーム医療論		チーム医療論		チーム医療論
				兼任	教授 (60) 島本 和明 ＜平成28年4月＞	兼任	教授 (70) 島本 和明 ＜平成28年4月＞	兼任	教授 (71) 島本 和明 ＜平成28年4月＞
					保健医療論		保健医療論 内科学		保健医療論 内科学
専任	教授 伊賀 公美 (65) ＜平成27年4月＞	専任	教授 (学長) 伊賀 公美 (65) ＜平成27年4月＞	専任	教授 (学長) 伊賀 公美 (66) ＜平成27年4月＞	専任	教授 (学長) 伊賀 公美 (67) ＜平成27年4月＞	専任	教授 (学長) 伊賀 公美 (68) ＜平成27年4月＞
	生理学演習 運動療法 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		生理学演習 運動療法 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		生理学演習 運動療法 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		生理学演習 運動療法 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器障害看護学療法 学		生理学演習 運動療法 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 運動器障害看護学療法 学
専任	教授 高橋 光彦 (63) ＜平成27年4月＞	専任	教授 高橋 光彦 (63) ＜平成27年4月＞	専任	教授 高橋 光彦 (64) ＜平成27年4月＞	専任	教授 高橋 光彦 (65) ＜平成27年4月＞	専任	教授 高橋 光彦 (66) ＜平成27年4月＞
	運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害看護学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害看護学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害看護学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害看護学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		運動学 運動学演習 物理療法 物理療法演習 呼吸・循環器障害看護学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授 伊賀 秀紀 (60) ＜平成27年4月＞	専任	教授 伊賀 秀紀 (60) ＜平成27年4月＞	専任	教授 伊賀 秀紀 (61) ＜平成27年4月＞	専任	教授 伊賀 秀紀 (62) ＜平成27年4月＞	専任	教授 伊賀 秀紀 (63) ＜平成27年4月＞
	リハビリテーション論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害看護学療法 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		リハビリテーション論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害看護学療法 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		リハビリテーション論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害看護学療法 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		リハビリテーション論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害看護学療法 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		リハビリテーション論 地域理学療法 生活環境学 高齢期障害看護学療法 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	教授 坪田 貞子 (69) ＜平成27年4月＞	専任	教授 坪田 貞子 (69) ＜平成27年4月＞	専任	教授 坪田 貞子 (70) ＜平成27年4月＞	専任	教授 坪田 貞子 (71) ＜平成27年4月＞	専任	教授 坪田 貞子 (72) ＜平成27年4月＞
	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学特論 (骨・関節系)		作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学特論 (骨・関節系)		作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害者作業治療学 (運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法 学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学特論 (骨・関節系)
専任	教授 澤田 雄二 (66) ＜平成27年4月＞	専任	教授 澤田 雄二 (66) ＜平成27年4月＞						
	作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活動作学(A DL) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		作業療法概論演習 作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 日常生活動作学(A DL) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
専任	助教	木原 由里子 (35) <平成28年4月>	理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域別リハビリテーション学演習
専任	助教	合田 央志 (44) <平成27年4月>	理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中級神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)
専任	助教	清本 憲太 (33) <平成29年4月>	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習
兼任	講師	清本 憲太 (33) <平成28年4月>	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習
兼任	教授	大久保 岩男 (71) <平成28年4月>	小児科学
兼任	教授	實安 孝 (70) <平成28年4月>	小児科学
兼任	教授	門間 正子 (59) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	教授	林 美枝子 (58) <平成27年4月>	文化人類学
兼任	准教授	松本 真由美 (55) <平成27年4月>	心理学 発達心理学
兼任	准教授	森口 眞衣 (41) <平成27年4月>	倫理学 生命倫理
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
専任	助教	木原 由里子 (36) <平成28年4月>	理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域別リハビリテーション学演習
専任	助教	合田 央志 (44) <平成27年4月>	理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中級神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)
専任	助教	清本 憲太 (34) <平成29年4月>	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習
兼任	講師	清本 憲太 (34) <平成28年4月>	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習
兼任	教授	實安 孝 (71) <平成28年4月>	小児科学
兼任	教授	門間 正子 (61) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	教授	林 美枝子 (60) <平成27年4月>	文化人類学 社会学
兼任	准教授	松本 真由美 (57) <平成27年4月>	心理学 発達心理学
兼任	准教授	森口 眞衣 (42) <平成27年4月>	倫理学 生命倫理
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
専任	助教	木原 由里子 (37) <平成28年4月>	理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域別リハビリテーション学演習
専任	助教	合田 央志 (46) <平成27年4月>	理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中級神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)
専任	助教	清本 憲太 (35) <平成29年4月>	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(応用作業分析) 作業療法評価学演習 (中級神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)
専任	助教	清本 憲太 (36) <平成29年4月>	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習 基礎作業学演習(応用作業分析) 作業療法評価学演習 (中級神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法)
兼任	教授	及川 直樹 (37) <平成30年4月>	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 臨床器具作業療法 臨床器具作業療法 演習 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	教授	門間 正子 (62) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	教授	林 美枝子 (61) <平成27年4月>	文化人類学 社会学
兼任	准教授	松本 真由美 (58) <平成27年4月>	心理学 発達心理学
兼任	准教授	森口 眞衣 (44) <平成27年4月>	倫理学 生命倫理

専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	准教授	山田 教士 (38) <平成27年4月>	日本語表現 中国語
兼任	講師	太田 誠 (55) <平成27年4月>	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論
兼任	講師	更科 泰保 (46) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	清水 薫 (40) <平成29年4月>	代謝・免疫系障害理学療法
兼任	講師	坂口 友康 (35) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	沢川 佳彦 (33) <平成28年4月>	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習(運動器系)
兼任	講師	山口 和之 (59) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	足立 重敏 (48) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	畑原 理恵 (51) <平成29年4月>	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	鈴木 聡子 (46) <平成29年4月>	災害リハビリテーション
兼任	講師	杉本 寿司 (37) <平成29年4月>	ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	岡田しげひこ (64) <平成28年4月>	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習
兼任	講師	児玉 健宏 (38) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師	濱本 龍哉 (50) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師	小形 和浩 (50) <平成28年4月>	精神障害作業治療学
専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	准教授	山田 教士 (38) <平成27年4月>	日本語表現 中国語
兼任	講師	太田 誠 (55) <平成27年4月>	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論
兼任	講師	更科 泰保 (46) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	清水 薫 (40) <平成29年4月>	代謝・免疫系障害理学療法
兼任	講師	坂口 友康 (35) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	沢川 佳彦 (33) <平成28年4月>	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習(運動器系)
兼任	講師	山口 和之 (59) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	足立 重敏 (48) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	畑原 理恵 (51) <平成29年4月>	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	鈴木 聡子 (46) <平成29年4月>	災害リハビリテーション
兼任	講師	杉本 寿司 (37) <平成29年4月>	ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	岡田しげひこ (64) <平成28年4月>	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習
兼任	講師	児玉 健宏 (38) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師	濱本 龍哉 (50) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師	小形 和浩 (50) <平成28年4月>	精神障害作業治療学
専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	准教授	山田 教士 (39) <平成27年4月>	日本語表現 中国語
兼任	講師	太田 誠 (56) <平成27年4月>	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論
兼任	講師	更科 泰保 (47) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	清水 薫 (41) <平成29年4月>	代謝・免疫系障害理学療法
兼任	講師	坂口 友康 (37) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	沢川 佳彦 (34) <平成28年4月>	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習(運動器系)
兼任	講師	山口 和之 (60) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	足立 重敏 (49) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	畑原 理恵 (52) <平成29年4月>	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	鈴木 聡子 (47) <平成29年4月>	災害リハビリテーション
兼任	講師	杉本 寿司 (38) <平成29年4月>	ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	岡田しげひこ (65) <平成28年4月>	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習
兼任	講師	児玉 健宏 (39) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師	濱本 龍哉 (51) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師	小形 和浩 (51) <平成28年4月>	精神障害作業治療学 高次脳機能学演習(高次脳機能分析) 脳神経学演習(応用作業分析)
専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	准教授	山田 教士 (40) <平成27年4月>	日本語表現 中国語
兼任	講師	太田 誠 (57) <平成27年4月>	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論 神経筋伝達治療学
兼任	講師	更科 泰保 (48) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	清水 薫 (42) <平成29年4月>	代謝・免疫系障害理学療法
兼任	講師	坂口 友康 (38) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	沢川 佳彦 (35) <平成28年4月>	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習(運動器系)
兼任	講師	山口 和之 (61) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	足立 重敏 (50) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	畑原 理恵 (53) <平成29年4月>	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	鈴木 聡子 (48) <平成29年4月>	災害リハビリテーション
兼任	講師	杉本 寿司 (39) <平成29年4月>	ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	岡田しげひこ (66) <平成28年4月>	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習
兼任	講師	児玉 健宏 (40) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師	濱本 龍哉 (52) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師	小形 和浩 (51) <平成28年4月>	精神障害作業治療学
専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	准教授	山田 教士 (41) <平成27年4月>	日本語表現 中国語
兼任	講師	太田 誠 (58) <平成27年4月>	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論 神経筋伝達治療学
兼任	講師	更科 泰保 (49) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	清水 薫 (43) <平成29年4月>	代謝・免疫系障害理学療法
兼任	講師	坂口 友康 (39) <平成28年4月>	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習(神経系)
兼任	講師	沢川 佳彦 (36) <平成28年4月>	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習(運動器系)
兼任	講師	山口 和之 (62) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	足立 重敏 (51) <平成30年4月>	健康政策論
兼任	講師	畑原 理恵 (54) <平成29年4月>	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	鈴木 聡子 (49) <平成29年4月>	災害リハビリテーション
兼任	講師	杉本 寿司 (40) <平成29年4月>	ウィメンズヘルスケア論
兼任	講師	岡田しげひこ (67) <平成28年4月>	チーム医療論 地域リハビリテーション学演習
兼任	講師	児玉 健宏 (41) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師	濱本 龍哉 (53) <平成29年4月>	地域理学療法
兼任	講師		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年＞ 月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山田 里見 (44) ＜平成28年4月＞	兼任	講師	山田 里見 (44) ＜平成28年4月＞	兼任	講師	山田 里見 (45) ＜平成28年4月＞	兼任	講師	山田 里見 (46) ＜平成28年4月＞	兼任	講師	山田 里見 (47) ＜平成28年4月＞
		作業療法評価学演習 (基礎評価)			作業療法評価学演習 (基礎評価)			作業療法評価学演習 (基礎評価)			作業療法評価学演習 (基礎評価)			作業療法評価学演習 (基礎評価)
		作業療法評価学演習 (中枢神経系)			作業療法評価学演習 (中枢神経系)			作業療法評価学演習 (中枢神経系)			作業療法評価学演習 (中枢神経系)			作業療法評価学演習 (中枢神経系)
兼任	講師	杉本 典子 (47) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	杉本 典子 (47) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	杉本 典子 (48) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	杉本 典子 (49) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	杉本 典子 (50) ＜平成27年4月＞
		基礎作業学演習(応用作業分析)			基礎作業学演習(応用作業分析)			基礎作業学演習(応用作業分析)			基礎作業学演習(応用作業分析)			基礎作業学演習(応用作業分析)
		地域作業療法学			地域作業療法学			地域作業療法学			地域作業療法学			地域作業療法学
兼任	講師	池田 保 (39) ＜平成28年4月＞	兼任	講師	池田 保 (39) ＜平成28年4月＞	兼任	講師	池田 保 (40) ＜平成28年4月＞	兼任	講師	池田 保 (41) ＜平成28年4月＞	兼任	講師	池田 保 (42) ＜平成28年4月＞
		作業療法評価学演習 (骨・関節系)			作業療法評価学演習 (骨・関節系)			作業療法評価学演習 (骨・関節系)			作業療法評価学演習 (骨・関節系)			作業療法評価学演習 (骨・関節系)
		作業療法評価学演習 (神経・筋力系)			作業療法評価学演習 (神経・筋力系)			作業療法評価学演習 (神経・筋力系)			作業療法評価学演習 (神経・筋力系)			作業療法評価学演習 (神経・筋力系)
兼任	講師	伊藤 香織 (50) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	伊藤 香織 (50) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	伊藤 香織 (51) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	伊藤 香織 (52) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	伊藤 香織 (53) ＜平成27年4月＞
		基礎作業学演習(基礎作業分析)			基礎作業学演習(基礎作業分析)			基礎作業学演習(基礎作業分析)			基礎作業学演習(基礎作業分析)			基礎作業学演習(基礎作業分析)
兼任	講師	金井 正治 (66) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	金井 正治 (66) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	金井 正治 (67) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	金井 正治 (68) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	金井 正治 (69) ＜平成27年4月＞
		基礎作業学演習(基礎作業分析)			基礎作業学演習(基礎作業分析)			基礎作業学演習(基礎作業分析)			基礎作業学演習(基礎作業分析)			基礎作業学演習(基礎作業分析)
兼任	講師	矢嶋 俊彦 (72) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	矢嶋 俊彦 (72) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	矢嶋 俊彦 (73) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	矢嶋 俊彦 (74) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	矢嶋 俊彦 (75) ＜平成27年4月＞
		解剖学 解剖学演習(神経)			解剖学 解剖学演習(神経)			解剖学 解剖学演習(神経)			解剖学 解剖学演習(神経)			解剖学 解剖学演習(神経)
兼任	講師	福島 順子 (66) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	福島 順子 (66) ＜平成27年4月＞									
		生理学			生理学									
兼任	講師	石飛 道子 (64) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	石飛 道子 (64) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	石飛 道子 (65) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	石飛 道子 (66) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	石飛 道子 (67) ＜平成27年4月＞
		哲学 論理学 宗教と思想			哲学 論理学 宗教と思想			哲学 論理学 宗教と思想			哲学 論理学 宗教と思想			哲学 論理学 宗教と思想
兼任	講師	中林 秀和 (66) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	中林 秀和 (66) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	中林 秀和 (67) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	中林 秀和 (68) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	中林 秀和 (69) ＜平成27年4月＞
		生物学			生物学			生物学			生物学			生物学
兼任	講師	和田 龍彦 (71) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	和田 龍彦 (71) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	和田 龍彦 (72) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	和田 龍彦 (73) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	和田 龍彦 (74) ＜平成27年4月＞
		物理学 生活科学 情報科学			物理学 生活科学 情報科学			物理学 生活科学 情報科学			物理学 生活科学 情報科学			物理学 生活科学 情報科学
兼任	講師	石田 ゆき (29) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	石田 ゆき (29) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	石田 ゆき (30) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	石田 ゆき (31) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	石田 ゆき (32) ＜平成27年4月＞
		教育学 教育心理学 人間関係論			教育学 教育心理学 人間関係論			教育学 教育心理学 人間関係論			教育学 教育心理学 人間関係論			教育学 教育心理学 人間関係論
兼任	講師	千葉 卓 (71) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	千葉 卓 (71) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	千葉 卓 (72) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	千葉 卓 (73) ＜平成27年4月＞	兼任	講師	千葉 卓 (74) ＜平成27年4月＞
		法学			法学			法学			法学			法学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	井ノ上 裕子 (47) <平成27年4月>	英語 I
兼任	講師	吉田 昌弘 (34) <平成27年4月>	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	高橋 義信 (54) <平成27年4月>	人間発達学
兼任	講師	藤野 孝己 (47) <平成27年4月>	病理学
兼任	講師	岡部 晋彦 (47) <平成27年4月>	栄養学
兼任	講師	近藤 文衛 (79) <平成28年4月>	内科学
兼任	講師	山本 泰雄 (53) <平成28年4月>	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	那須 俊一 (66) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	宮下 泉治 (59) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	小寺 秀一 (51) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	林 恭裕 (64) <平成27年4月>	社会福祉学
兼任	講師	浅野 友佳子 (40) <平成29年4月>	高次脳機能障害作業 治療学
兼任	講師	鬼塚 久志 (53) <平成29年4月>	義肢装具作業療法
兼任	講師	那須 俊一 (71) <平成27年4月>	統計学
兼任	講師	石田 容士 (50) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学
兼任	講師	森谷 繁 (72) <平成27年4月>	環境科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	井ノ上 裕子 (47) <平成27年4月>	英語 I
兼任	講師	吉田 昌弘 (34) <平成27年4月>	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	高橋 義信 (54) <平成27年4月>	人間発達学
兼任	講師	藤野 孝己 (47) <平成27年4月>	病理学
兼任	講師	岡部 晋彦 (47) <平成27年4月>	栄養学
兼任	講師	近藤 文衛 (79) <平成28年4月>	内科学
兼任	講師	山本 泰雄 (53) <平成28年4月>	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	那須 俊一 (66) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	宮下 泉治 (59) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	小寺 秀一 (51) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	林 恭裕 (64) <平成27年4月>	社会福祉学
兼任	講師	浅野 友佳子 (40) <平成29年4月>	高次脳機能障害作業 治療学
兼任	講師	鬼塚 久志 (53) <平成29年4月>	義肢装具作業療法
兼任	講師	那須 俊一 (71) <平成27年4月>	統計学
兼任	講師	石田 容士 (50) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	井ノ上 裕子 (47) <平成27年4月>	英語 I
兼任	講師	吉田 昌弘 (34) <平成27年4月>	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	高橋 義信 (54) <平成27年4月>	人間発達学
兼任	講師	藤野 孝己 (47) <平成27年4月>	病理学
兼任	講師	岡部 晋彦 (47) <平成27年4月>	栄養学
兼任	講師	近藤 文衛 (79) <平成28年4月>	内科学
兼任	講師	山本 泰雄 (53) <平成28年4月>	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	那須 俊一 (66) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	宮下 泉治 (59) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	小寺 秀一 (51) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	林 恭裕 (64) <平成27年4月>	社会福祉学
兼任	講師	浅野 友佳子 (40) <平成29年4月>	高次脳機能障害作業 治療学
兼任	講師	鬼塚 久志 (53) <平成29年4月>	義肢装具作業療法
兼任	講師	那須 俊一 (71) <平成27年4月>	統計学
兼任	講師	石田 容士 (50) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	井ノ上 裕子 (49) <平成27年4月>	英語 I
兼任	講師	吉田 昌弘 (36) <平成27年4月>	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	高橋 義信 (55) <平成27年4月>	人間発達学
兼任	講師	藤野 孝己 (51) <平成27年4月>	病理学
兼任	講師	岡部 晋彦 (48) <平成27年4月>	栄養学
兼任	講師	近藤 文衛 (80) <平成28年4月>	内科学
兼任	講師	山本 泰雄 (54) <平成28年4月>	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	那須 俊一 (67) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	宮下 泉治 (61) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	小寺 秀一 (53) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	林 恭裕 (65) <平成27年4月>	社会福祉学
兼任	講師	浅野 友佳子 (42) <平成29年4月>	高次脳機能障害作業 治療学
兼任	講師	鬼塚 久志 (54) <平成29年4月>	義肢装具作業療法
兼任	講師	那須 俊一 (72) <平成27年4月>	統計学
兼任	講師	石田 容士 (51) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	井ノ上 裕子 (50) <平成27年4月>	英語 I
兼任	講師	吉田 昌弘 (37) <平成27年4月>	生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	高橋 義信 (56) <平成27年4月>	人間発達学
兼任	講師	藤野 孝己 (52) <平成27年4月>	病理学
兼任	講師	岡部 晋彦 (50) <平成27年4月>	栄養学
兼任	講師	近藤 文衛 (81) <平成28年4月>	内科学
兼任	講師	山本 泰雄 (55) <平成28年4月>	運動器障害理学療法 学演習 スポーツ理学療法
兼任	講師	那須 俊一 (68) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	宮下 泉治 (62) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	小寺 秀一 (54) <平成28年4月>	障害学特論
兼任	講師	林 恭裕 (66) <平成27年4月>	社会福祉学
兼任	講師	浅野 友佳子 (43) <平成29年4月>	高次脳機能障害作業 治療学
兼任	講師	鬼塚 久志 (55) <平成29年4月>	義肢装具作業療法
兼任	講師	那須 俊一 (73) <平成27年4月>	統計学 情報科学 数学
兼任	講師	石田 容士 (53) <平成28年4月>	カウンセリング論 臨床心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	ヤマダ コタ 山下 浩紀 (51) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	講師	ナカノ マチ 中野 明 (56) <平成27年4月>	社会学
兼任	講師	イシイ シエ 石井 由恵 (50) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	クニト ミヅエ 栗本 瑞恵 (32) <平成27年4月>	北海道史
兼任	講師	オウチ ユウ 大内 高雄 (66) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	セツ・ブルックリン (51) <平成27年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	アサキ ユウ 赤間 征太 (31) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	シム チョウ 金 昌震 (41) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	フジタ マチ 藤田 修靖 (31) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (行動分析)
兼任	講師	イサノ ヒロ 池田 官司 (54) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	サカエ マチ 坂上 真理 (48) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法 学
兼任	講師	サニタ ユウ 三宮 孝太 (35) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害 系)
兼任	講師	ササキ マチ 芹田 馨 (84) <平成29年4月>	応急救護法
兼任	講師	クニ カンジ 久野 研二 (48) <平成28年4月>	地域リハビリテー ション学演習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	ナカノ マチ 中野 明 (56) <平成27年4月>	環境科学
兼任	講師	ヤマダ コタ 山下 浩紀 (51) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	講師	イシイ シエ 石井 由恵 (50) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	クニト ミヅエ 栗本 瑞恵 (32) <平成27年4月>	北海道史
兼任	講師	オウチ ユウ 大内 高雄 (66) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	イシイ シエ 石井 由恵 (50) <平成27年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	アサキ ユウ 赤間 征太 (31) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	シム チョウ 金 昌震 (41) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	フジタ マチ 藤田 修靖 (31) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (行動分析)
兼任	講師	イサノ ヒロ 池田 官司 (54) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	サカエ マチ 坂上 真理 (48) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法 学
兼任	講師	サニタ ユウ 三宮 孝太 (35) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害 系)
兼任	講師	ササキ マチ 芹田 馨 (84) <平成29年4月>	応急救護法
兼任	講師	クニ カンジ 久野 研二 (48) <平成28年4月>	地域リハビリテー ション学演習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	ナカノ マチ 中野 明 (56) <平成27年4月>	環境科学
兼任	講師	ヤマダ コタ 山下 浩紀 (51) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	講師	イシイ シエ 石井 由恵 (50) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	クニト ミヅエ 栗本 瑞恵 (32) <平成27年4月>	北海道史
兼任	講師	オウチ ユウ 大内 高雄 (66) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	イシイ シエ 石井 由恵 (50) <平成28年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	アサキ ユウ 赤間 征太 (31) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	シム チョウ 金 昌震 (41) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	フジタ マチ 藤田 修靖 (31) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (行動分析)
兼任	講師	イサノ ヒロ 池田 官司 (54) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	サカエ マチ 坂上 真理 (48) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法 学
兼任	講師	サニタ ユウ 三宮 孝太 (35) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害 系)
兼任	講師	ササキ マチ 芹田 馨 (84) <平成29年4月>	応急救護法
兼任	講師	クニ カンジ 久野 研二 (48) <平成28年4月>	地域リハビリテー ション学演習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	ナカノ マチ 中野 明 (56) <平成27年4月>	環境科学
兼任	講師	ヤマダ コタ 山下 浩紀 (51) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	講師	イシイ シエ 石井 由恵 (50) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	クニト ミヅエ 栗本 瑞恵 (32) <平成27年4月>	北海道史
兼任	講師	オウチ ユウ 大内 高雄 (66) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	イシイ シエ 石井 由恵 (50) <平成28年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	アサキ ユウ 赤間 征太 (31) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	シム チョウ 金 昌震 (41) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	フジタ マチ 藤田 修靖 (31) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (行動分析)
兼任	講師	イサノ ヒロ 池田 官司 (54) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	サカエ マチ 坂上 真理 (48) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法 学
兼任	講師	サニタ ユウ 三宮 孝太 (35) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害 系)
兼任	講師	ササキ マチ 芹田 馨 (84) <平成29年4月>	応急救護法
兼任	講師	クニ カンジ 久野 研二 (48) <平成28年4月>	地域リハビリテー ション学演習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年 月>	担当授業科目名
兼任	講師	ナカノ マチ 中野 明 (56) <平成27年4月>	環境科学
兼任	講師	ヤマダ コタ 山下 浩紀 (51) <平成29年4月>	チーム医療論
兼任	講師	イシイ シエ 石井 由恵 (50) <平成28年4月>	音楽
兼任	講師	クニト ミヅエ 栗本 瑞恵 (32) <平成27年4月>	北海道史
兼任	講師	オウチ ユウ 大内 高雄 (66) <平成28年4月>	ボランティア活動
兼任	講師	イシイ シエ 石井 由恵 (50) <平成28年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	アサキ ユウ 赤間 征太 (31) <平成28年4月>	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	シム チョウ 金 昌震 (41) <平成28年4月>	韓国語
兼任	講師	フジタ マチ 藤田 修靖 (31) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (行動分析)
兼任	講師	イサノ ヒロ 池田 官司 (54) <平成28年4月>	精神医学
兼任	講師	サカエ マチ 坂上 真理 (48) <平成29年4月>	作業療法治療学特論 (治療理論) 高齢期障害作業療法 学
兼任	講師	サニタ ユウ 三宮 孝太 (35) <平成29年4月>	身体障害作業治療学 (運動器・内部障害 系)
兼任	講師	ササキ マチ 芹田 馨 (84) <平成29年4月>	応急救護法
兼任	講師	クニ カンジ 久野 研二 (48) <平成28年4月>	地域リハビリテー ション学演習※

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い乾公美を学科長とした。
- ・石橋晃仁講師の就任予定年月を1年早め、平成27年4月とした。
- ・大堀具視講師の就任予定年月を1年早め、平成28年4月とした。
- ・平成27年4月早川宏子准教授就任。平成27年1月教員審査済。
- ・平成27年4月清田直恵講師就任。平成27年1月教員審査済。
- ・平成27年4月「小児科学」の兼任講師を大久保岩男教授から賀来亨教授に変更。
- ・平成27年4月「環境科学」の兼任講師を森谷繁から藤井博臣に変更。
- ・平成27年4月「社会学」の兼任講師を薄井明講師から林美枝子教授に変更。
- ・平成27年4月「英語Ⅱ」の兼任講師をゼフ・ブルックリンからデイビッド・フレナーに変更。
- ・平成27年4月「軟部組織治療学」「徒手関節治療学」の兼任講師を宮本重範に変更。
- ・平成27年4月「高次脳機能障害学」の兼任講師を境信哉に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「代謝・免疫障害学療法学」の兼任講師として、加藤新司・菅原啓祐を追加。
- ・兼任講師坂上真理の担当科目に「高齢期障害作業療法学」を追加。

【平成28年度】

- ・平成28年4月八田達夫教授就任。平成28年4月教員審査済。
- ・平成28年4月大堀具視准教授就任。平成28年4月教員審査済。
- ・平成28年4月向井康嗣講師就任。平成28年1月教員審査済。
- ・平成28年4月西山徹講師就任。平成28年1月教員審査済。
- ・澤田雄二教授就任により「作業療法評価学演習（骨・関節系）」の専任講師を坪田貞子教授に変更。
- ・澤田雄二教授就任により「作業療法概論演習」の専任講師を八田達夫教授に変更。
- ・澤田雄二教授就任により「作業療法評価学演習（神経・筋力系）」の専任講師を大堀具視准教授に変更。
- ・澤田雄二教授就任により「日常生活適応学（ADL）」「臨床実習Ⅰ（作業療法）」「臨床実習Ⅱ（作業療法）」「臨床実習Ⅲ（作業療法）」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の専任講師を岸上博俊教授に変更。
- ・平成28年4月「保健医療論」の兼任講師を傳野隆一教授から島本和明教授に変更。
- ・平成28年4月「生理学」の兼任講師を福島順子から一瀬信哉に変更。
- ・平成28年4月「整形外科」の兼任講師を横手真樹から佐々木浩一に変更。
- ・平成28年4月「神経内科学」の兼任講師を近藤文衛から島本和明に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「生活と運動」「健康とスポーツ」の兼任講師として、橋本めぐみを追加。
- ・兼任講師小形和浩の担当科目に「基礎作業学演習（基礎作業分析）」「基礎作業学演習（応用作業分析）」を追加。

【平成29年度】

- ・平成29年4月岸上博俊准教授就任。平成28年8月教員審査済。
- ・平成29年4月松田智恵講師就任。平成29年2月教員審査済。
- ・平成29年4月新開谷深助教授就任。平成29年3月変更書提出済。
- ・平成29年4月清水憲太助教就任。平成29年3月変更書提出済。
- ・乾公美教授の担当授業科目に「運動器障害学療法学」を追加。平成29年2月教員審査済。
- ・坪田貞子教授の担当授業科目に「作業療法評価学演習（骨・関節系）」を追加。平成28年6月教員審査済。
- ・坪田貞子教授の担当授業科目に「作業療法治療学特論（ハンドセラピー）」を追加。平成28年6月教員審査済。
- ・岸上博俊教授の担当授業科目に「高齢期障害作業療法学」を追加。平成29年2月教員審査済。
- ・岸上博俊教授の担当授業科目に「作業療法セミナーⅠ」を追加。平成29年3月教員審査済。
- ・大堀具視准教授の担当授業科目に「福祉住環境論」「地域リハビリテーション学」「臨床実習Ⅰ（作業療法）」を追加。平成29年2月教員審査済。
- ・八田達夫教授の担当授業科目に「作業療法概論演習」を追加。平成28年6月教員審査済。
- ・早川宏子准教授就任により「基礎作業学演習（基礎作業分析）」の専任講師を合田央志助教に変更。
- ・早川宏子准教授就任により「基礎作業学演習（応用作業分析）」「作業療法評価学演習（中枢神経系）」「臨床実習Ⅰ（作業療法）」の専任講師を清水憲太助教に変更。
- ・早川宏子准教授就任により「作業療法セミナーⅠ」の専任講師を岸上博俊教授に変更。
- ・早川宏子准教授就任により「福祉住環境論」「地域リハビリテーション学」の専任講師を大堀具視准教授に変更。
- ・学修効果向上のため、「内科学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・学修効果向上のため、「物理学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・学修効果向上のため、「呼吸・循環器障害学療法学」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・学修効果向上のため、「神経筋促進治療学」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・学修効果向上のため、「義肢装具作業療法学」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・学修効果向上のため、「義肢装具作業療法学演習」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・平成29年4月「内科学」の兼任講師を近藤文衛から島本和明に変更。
- ・平成29年4月「精神障害作業療法学」の兼任講師を小形和浩から池田望・河野仁志・森本陸文に変更。
- ・平成29年4月「生活科学」の兼任講師を和田龍彦から宮森芳子に変更。
- ・平成29年4月「情報科学」の兼任講師を和田龍彦から端俊一に変更。
- ・平成29年4月「病理学」の兼任講師を藤野孝己から土橋恵に変更。
- ・平成29年4月「義肢装具作業療法学」の兼任講師を鬼塚久志から本道伸弘に変更。
- ・平成29年4月「北海道史」の兼任講師を栗本瑞恵から濱口裕介に変更。
- ・平成29年4月「作業療法治療学特論（行動分析）」の科目名を「作業療法治療学特論（ハンドセラピー）」に変更し、講師を兼任講師藤田修晴から坪田貞子教授（専任）に変更。
- ・平成29年4月「高齢期障害作業療法学」の兼任講師を坂上真理から岸上博俊教授（専任）に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「応急処置法」の兼任講師として、坪田洋子を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「神経筋促進治療学」の兼任講師として、太田誠を追加。

【平成30年度】

- ・平成30年4月及川直樹講師就任。平成30年2月教員審査済。
- ・平成30年7月坂口友康助教就任予定。（審査中）
- ・平成30年4月「小児科学」の講師を賀来亨（兼任）から平間敬敏（兼任）に変更。
- ・平成30年4月「チーム医療論」の講師を傳野隆一（兼任）から明庭圭吾（兼任）に変更。
- ・平成30年4月「代謝・免疫障害学療法学」の講師を傳野隆一（兼任）から木村浩一（兼任）に変更。
- ・平成30年4月「理学療法評価学（神経系）」「理学療法評価学演習（神経系）」の兼任講師を更科奈保から渋谷佳彦に変更。
- ・平成30年4月「ボランティア活動」の兼任講師を大内高雄から山下浩紀に変更。
- ・学修効果向上のため、「小児科学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・「義肢装具作業療法学」「義肢装具作業療法学演習」の専任講師を坪田貞子教授から及川直樹講師に変更。
- ・「福祉用具学」の専任講師を八田達夫教授から及川直樹講師に変更。
- ・「作業療法評価学演習（骨・関節系）」の専任講師を岸上博俊教授から及川直樹講師に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「運動器障害学療法学」の兼任講師として、清水薫を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「作業療法評価学演習（中枢神経系）」の兼任講師として、池田保を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「物理学」の兼任講師として、端俊一を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を重要とする場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
6人	1人	2人	4人	13人	5人	2人	5人	4人	16人	5人	2人	5人	4人	16人
(5人)	(1人)	(2人)	(1人)	(9人)						[Δ1人]	[1人]	[3人]	[0人]	[3人]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、
 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記 (B)）の教員 のうち、定年を延長 して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）。
 および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{13} = 123.07\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{3}{16} = 18.75\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	講師	橘室 伸顕	選択	運動療法学演習	①					
			選択	発達障害心理学療法学	①					
			選択	臨床実習Ⅱ（理学療法）	①					
			選択	臨床実習Ⅲ（理学療法）	①					
			必修	卒業研究Ⅰ	①					
			必修	卒業研究Ⅱ	①					
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	澤田 雄二	選択	作業療法学概論演習	①								
			選択	作業療法科概論演習（骨・関節系）	①								
			選択	作業療法科概論演習（神経・感覚系）	①								
			選択	日常生活適応学（ADL）	①								
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①								
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①								
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①								
			必修	卒業研究Ⅰ	①								
			必修	卒業研究Ⅱ	①								
2	准教授	早川 宏子	選択	基礎作業学演習（基礎作業分析）	①								
			選択	基礎作業学演習（応用作業分析）	①								
			選択	作業療法セミナーⅠ	①								
			必修	運動学演習	①								
			必修	地域リハビリテーション学	①								
			選択	福祉住環境論	①								
			選択	臨床実習Ⅰ（作業療法）	①								
			選択	臨床実習Ⅱ（作業療法）	①								
			選択	臨床実習Ⅲ（作業療法）	①								
			必修	卒業研究Ⅰ	①								
3	講師	濱田 直恵	必修	解剖学演習（骨・筋）	①								
			必修	機能解剖学	①								
			必修	生理学演習	①								
			選択	臨床実習Ⅰ（理学療法）	①								
			選択	臨床実習Ⅱ（理学療法）	①								
			選択	臨床実習Ⅲ（理学療法）	①								
			必修	卒業研究Ⅰ	①								
			必修	卒業研究Ⅱ	①								
			合 計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
3	人	必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	28	科目	計	28	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
4	人	必修	13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	21 科目	選択	21 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	34 科目	計	34 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{13} = 30.76 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		なし								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 交代については、やむを得ないと判断し事前相談を行った。
- ・ 学生には担当教員が変更になった旨、周知徹底した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	・専門教育科目における専攻ごとの履修方法について、「教育課程等の概要」の「卒業要件及び履修方法」の欄では必修科目と位置付けられている科目が、「設置の趣旨等を記載した書類」では選択科目と位置付けられているかのように記載され不整合が生じており、学生に混乱を与える可能性がある。そのため、学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの授業科目の必修・選択の区分を整理した上で、学生に対して丁寧な履修指導を行うこと。	留意事項 (27) 学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの教育課程進路表を作成し、シラバスに記載し学生に配布。さらに入学生オリエンテーション及び専攻別オリエンテーションにて学生に対し、科目ごとに必須・選択の説明を行い、加えて履修登録の際には、担任教員が立会い指導を行った。 (28) 27年度と同様の対応を行った。 (29) 28年度と同様の対応を行った。 (30) 29年度と同様の対応を行った。	履行済
	・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項 (27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グラウンド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のマイクロバスを配置済みである。 (28) 引き続き、教育及び学生の課外活動等に支障のないよう努める。 (29) 28年度と同様に対応した。 (30) 29年度と同様に対応した。	履行済
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項 (27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。 (29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。 (30) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。	未履行

	・教員の補充を必要とされた32授業科目については、開設時又は科目開講時までに教員を配置すること。うち、専任教員の配置を必要とされた28授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	留意事項	(27) 32科目中、兼任教員の4科目については、既に配置済みである。専任教員の28科目について、17科目は、1月の教員審査で既に承認を得ている。また1科目は、同じく1月の教員審査の際に兼任可との返答を得て、既に配置済みである。4科目については、3月に専任教員採用等変更書を提出。残りの6科目については、開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。 (28) 未配置科目6科目中、5科目については、1月の教員審査で既に承認を得ている。残りの1科目については開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。 (29) 全ての科目について、専任教員を配置済。	履行済	
設置計画履行状況調査時 (28年2月)	保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	(28) 平成28年1月12日の執行役員会において「学生募集対策本部」の設置を決議した。 ○設置の目的 専門学校から大学に改組したにもかかわらず入学定員が充足していない。28年度においても定員充足については極めて厳しい状況にある。 質の高い学生を確保するために入学定員の6倍の志願者数をめざし、学生募集戦略の抜本的な見直しを行い、早期に決定して実行することを目的に経営と教学が一体となった「学生募集対策本部」を設置する。 ○メンバー [本部長] 理事長 [副本部長] 学長 [看護学科担当] 学科長 [リハビリテーション学科担当] 学科長 [診療放射線学科担当] 学科長 [大学事務局] 事務局長、広報担当係員2人 (29) 引き続き学生募集対策委員会において、学生確保に努める。 (30) 以下に記載する30年2月に付された改善意見への履行状況のとおりに対応する。	履行済	学生募集対策委員会会議は、過去6回（1/25、2/8、2/17、2/24、3/10、3/18）開催しており、今後も次の事項について継続して検討・実行していく計画である。 ○検討事項 1 学生の確保に関する事項 ① 学生確保に関する基本方針に関する事項 ② 学生募集要項に関する事項 ③ 学生募集に関わる調査及び研究等に関する事項 ④ その他学生の確保に関する事項 2 広報に関する事項 ① 学生募集に係る広報活動に関する事項 ② 各種メディアを利用した広報活動に関する事項 ③ ホームページの企画及び作成に関する事項 ④ 大学案内等の企画及び作成に関する事項 ⑤ その他の広報活動に関する事項 3 適正な入学定員に関する事項

	保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。 (30) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。	未履行	(28) 今回、リハビリテーション学科設置に伴う定年延長の特別措置は、あくまでも例外的な措置であり、定年年齢(65)を超えて採用した専任教員(以下A教員という。)及び採用後4年以内に定年年齢を迎える専任教員(以下B教員という。)については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。 上記特別措置の該当教員については、A教員の該当者は4人、B教員の該当者は2人いる。特例期間が満了する前に教員を補充する計画であり、任用に当たっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮し、教員任用規程に基づいて計画的に進める。																																																
設置計画履行状況調査時 (29年2月)	保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見	(29) 現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。(職位はH29. 5. 1現在、年齢はH30. 3. 31現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>教授</th><th>准教授</th><th>講師</th><th>助教</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30～39</td><td></td><td></td><td>3</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr> <td>40～49</td><td></td><td>1</td><td></td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr> <td>50～59</td><td></td><td>1</td><td>2</td><td></td><td>3</td></tr> <tr> <td>60～64</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr> <td>65～69</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr> <td>70以上</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr> <td>計</td><td>5</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>16</td></tr> </tbody> </table> 。教員組織編製の将来構想は、退職する教授の後任には、教員任用規程に基づき学内の准教授を教授に昇任するほか、年齢構成を考慮し、50歳代の教授職を公募により採用する。後任の教員の採用に当たっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。また、今後も、FDを強化し教員の育成、特に若年の助教、講師の育成に努める。 (30) 29年度と同様に対応した。		教授	准教授	講師	助教	計	30～39			3	2	5	40～49		1		2	3	50～59		1	2		3	60～64	1				1	65～69	3				3	70以上	1				1	計	5	2	5	4	16	未履行	
	教授	准教授	講師	助教	計																																																
30～39			3	2	5																																																
40～49		1		2	3																																																
50～59		1	2		3																																																
60～64	1				1																																																
65～69	3				3																																																
70以上	1				1																																																
計	5	2	5	4	16																																																

設置計画履行状況調査時 (30年2月)	保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	(30) 平成28年1月に設置された「学生募集対策委員会」より全教職員に対し、定員充足に向けた全学的な協力体制の取り組み（高校訪問の実施等）について指示があった。特に学生募集・入試グループに対しては、以下のとおり具体的な事項が示された。 ①教職員一体となった高校訪問の早期実施 ②リハビリテーション学科に特化した高校訪問の早期実施 ③「オープンキャンパス」および「一日体験入学」の企画内容について、学生スタッフの意見を取り込みながら充実を図る ④受験生対象保護者説明会の回数および企画内容の充実 ⑤TVコマーシャルの放映回数を大幅に増やす ⑥推薦入試（後期）日程を導入 ⑦大学入試センター試験利用入試（前期・後期）を新設導入	履行済	
------------------------	--	------	--	-----	--

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 ・一般入学試験 ・推薦入学試験	① ・平成29年度入学試験（平成29年4月入学生）はA0入学試験を2回実施。 ・平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）からA0入学試験を1回実施。 ・平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、大学入試センター試験利用入学試験を導入。 ・平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、一般入学試験および大学入試センター試験利用入学試験において、3学科併願可能な入学試験を実施。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 - a 委員会の設置状況 ・FD委員会 看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・第1回FD委員会 平成29年 6月15日（教員7人、事務職員1人） ・第2回FD委員会 平成30年 1月23日（教員7人、事務職員1人） - c 委員会の審議事項等 ・学生による授業評価アンケートの改訂について ・学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施について ・教育課程の検討について ・教員研修会の実施及び授業方法の開発について	② 実施状況 - a 実施内容 ・学生による授業評価アンケートの改訂 診療放射線学科開設に伴い、これまで看護学科・リハ学科で作成した授業評価アンケート（講義・演習用）と（実習用）の様式について各学科で継続して見直しを行った。 ・学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施 授業評価に関しては、各科目の講義の最終回に実施した。実施方法は科目担当教員がアンケート用紙を配付し、学生が記入後、事務職員が回収にあたるか、または学生がボックスに投函した。集計結果は、各科目担当者に項目ごとの平均値・全平均値・自由記述部分を返却し、あわせて、全科目集計表を添付し、授業改善の参考としてもらうようはたらきかけた。また、全科目集計表・必修選択科目集計表・基礎教育—専門基礎教育—専門教育科目等、グループごとの集計表とそのグラフを真栄キャンパス・恵み野キャンパス、それぞれに掲示し、学生が授業評価アンケートの結果を閲覧できるようにした。各科目担当教員に授業評価アンケートの集計および自由記述結果を返却し、より良い授業構築へとつながった。 さらに、今年度から各教員からはその内容を受け今後の教育にどう反映させるかを書面（電子データ）で提出してもらい、提出されたものは学生にも公開し、各教員、学生間の双方の意見交流の機会とし、より良い授業構築へとつながった。 看護学科は3年間授業を行なった中で変更や追加が望ましい部分等を加味し、2019年度以降の新カリキュラム再編へ話し合いを行った。FD委員会ではカリキュラム検討会の推移を見守った。 ・教員研修会の実施及び授業方法の開発 教員研修会に関しては、平成29年度は魅力あるシラバスの作成に関する学習会を実施した。 平成29年8月1日（火）14：00～16：00 参加者は公務で不在の教員を除き、全教員の参加があった。研修内容、時期、場所、所要時間について参加者にアンケートを実施した結果、有意義な研修であったという意見が多かった。 - b 実施方法 上記の実施内容に沿って適切に実施。 - c 開催状況（教員の参加状況含む） 2回の教員研修はいずれも公務で不在の教員を除き、全教員の参加があった。
---	--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度（前期・後期）も専任教員科目については継続して学生へのフィードバックを実施することとした。

授業評価アンケート結果に対する科目責任者から学生へのフィードバック（100字から300字以内）について、統一のフォーマットにコメントを掲載し、学生ポータルサイトにPDFで掲載する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無および実施時期

・学期ごとに実施 前期 7～8月 後期 1～2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・学内掲示板及び学生用ポータルサイトでアンケート結果及び学生コメントへのフィードバックを行っている。
前期分：9月 後期分：翌年度の4月

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科及び診療放射線学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。

看護学科は平成29年度が開設後4年目、リハビリテーション学科は設置後3年目、診療放射線学科は設置後2年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、自己点検評価委員会は平成26年度に設置され、平成27年度から活動を始め種々の自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

・本学においては、日本医療大学年報という名称で自己点検評価報告書を作成し、ホームページには当該年度の翌年下半年に掲載している。

b 公表方法

・本学ホームページに公表している。

③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度に日本高等教育評価機構の認証を受審するべく準備を進めている。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有) ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (30 年 8 月)

（注）・「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。